

表紙デザイン: マリー・フラニガン
ステンドグラス: セント・アン教会、
セント・ジョアキム礼拝堂、フロリダ州ネイプルズ
許可を得て使用

ニヒル オブスタット、インプリマーチュア ダ
ニエル カーディナル ディナルド
ガルベストーン-ヒューストン大司教区

2023 年 5 月 16 日

マリア堅信礼の 同伴者

ポール・イー・クランリー

マリア マリア、私の信仰を守ってください!

プレゼンテーション スライドの無料コピー:

<https://mailchi.mp/marianconfirmationcompanion/mcc-pdf>

ISBN 978-1-7377607-0-2

著作権 © 2021 ポール・イー・克蘭リー無断
転載を禁じます。

聖マクシミリアン・コルベ(1894-1941)

「私たちの目的は、無原罪の聖母のために世界を勝ち取ることであり、それをできるだけ早く実現することである。」

聖ファウスティナ・コヴァルスカ(1905-1938)

「魂の真の偉大さは、神を愛し、神の御前でへりくだり、自分自身を完全に忘れ、自分を何者でもないと信じることにある。なぜなら、主は偉大だからであるが、主は謙虚な者だけを喜ばせ、高慢な者には常に反対されるからである。」 聖ファウスティナの聖母

聖ヨハネ・パウロ2世(1920-2005)

「世界を母の汚れなき御心に奉獻することは、御子の十字架の下に戻ることを意味する。それは、この世界を救い主の刺し貫かれた御心に聖別し、救いの源そのものに戻ることを意味する。」

コンテンツ

ページ

| | |
|-------------------|------|
| 導入: | 1. |
| 第1週。受胎告知 | 14. |
| 第2週。訪問 | 18. |
| 第3週。イエスの誕生 | 23. |
| 第4週。神殿でのプレゼンテーション | 28. |
| 第5週。神殿でイエスを見つける | 33. |
| 第6週。イエスの洗礼 | 38. |
| 第7週。カナの婚宴 | 43. |
| 第8週。王国の宣言 | 48. |
| 第9週。変容 | 53. |
| 第10週。最後の晩餐 | 58. |
| 第11週。庭での苦悩 | 64. |
| 第12週。柱での鞭打ち | 69. |
| 第13週。とげの冠 | 74. |
| 第14週。十字架を背負う | 78. |
| 第15週。十字架刑 | 83. |
| 第16週。復活 | 89. |
| 第17週。天国への昇天 | 95. |
| 第18週。聖霊の降臨 | 101. |
| 第19週。聖母マリアの天上昇天 | 107. |

| | |
|-----------------|------|
| 第20週。天の女王マリアの戴冠 | 112. |
| 奉献の日 | 118. |
| 別れ | 119. |
| 付録 | 122. |
| 参考文献 | 137. |
| 謝辞 | 140. |
| 著者について | 141. |
| ロザリオの祈り | 145. |
| ロザリオ図 | 147. |

導入

目的

外は真っ暗です！私たちの社会とすべての組織は、ユダヤ教とキリスト教の伝統と道徳を急速に失いつつあります。破壊のペースは急速に加速しており、これは差し迫った大惨事の明らかな兆候です。毎週ミサに出席するカトリック教徒の数、聖体における主の真の臨在を信じる人の数、教会で結婚する人の数、生まれて洗礼を受ける赤ちゃんの数、真の信仰を受け入れる若者の数はすべて急速に減少しています。堅信式プログラムを強化しなければなりません。なぜなら、この秘跡は、若者が家を出て現代の異教の闇に入る前に、真のカトリック信仰を彼らに教える最後のチャンスだからです。

どうすればこうした傾向を変えることができるのでしょうか。聖マクシミリアン・コルベは答えました。「**私たちは世界を無原罪の聖母に奉獻しなければなりません。そして、それをできるだけ早く行わなければなりません。**」(1) この本は、聖マクシミリアンの言葉を再び蘇らせようとする試みです。

カトリックの堅信式プログラムには 2 つの段階があり、1 つは教室で、もう 1 つはスポンサーとともに自宅で行われます。高校の青少年省で 20 年間働き、このプロセスを通じて 4 人の子供たちを支援してきた中で、スポンサーは候補者を指導して健全な信仰の習慣を通してカトリックの信仰を生き生きとさせる方法についてほとんど指導を受けていないことに気づきました。この本は、堅信式候補者とスポンサーが、このプロセスに天の母を招き入れ、その神の子イエスと私たちを結びつける方法を学ぶためのガイドです。私たちは一緒にロザリオの祈り方を学び、ロザリオに記された聖書の真理を理解し、聖母マリアへの奉獻の原則を理解します。聖霊の助けを借りて、私たちは聖母マリアから、何よりも神を愛し、隣人を自分自身のように愛する方法を学びます。カトリックの信仰が生き生きと生涯続くためには、聖母マリアが私たちのパーソナルトレーナーおよび仲間にならなければなりません。まず、聖母マリアが私たちを愛したように聖母マリアを愛する方法を私たちに教え、次に、2つの偉大な戒律の完璧なモデルである聖母マリアの汚れなき御心の愛を模倣する方法を教えます。この過程で、候補者は堅信礼の秘跡を受ける準備

として多くの神の恵みを受けます。

マリアを通してイエスに献身する

イエスは十二使徒に宣教師としての仕事を教えていたとき、こう言われました。「あなたがたを受け入れる人は、わたしを受け入れ、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのである。」(マタイによる福音書 10:40) イエスは、母親であり継父である聖ヨセフが生まれる前に初めて経験した真理を彼らに教えていました。大天使ガブリエルの命令に従って、聖ヨセフがマリアを家に迎え入れたとき、聖ヨセフはイエスを自分の心と家にも迎え入れ、驚くほど新しい方法を神を体験しました。私たちはこれを**聖ヨセフの秘密の聖母マリアの祝福**と呼んでいます。ヘロデ王がイエスを殺そうとしていたため、彼は大天使ガブリエルから、エジプトに3年間隠れてイエスとマリアを守るように命じられたため、このことを秘密にして生涯を過ごしました。

スポンサーとともに堅信の秘跡の準備をする次の 20 週間の間、私たちは、初めて聖母マリアを心や家に受け入れた後、イエス、父、聖霊も受け入れた新約聖書の多くの聖徒たちの物語を学んでいきます。あなたもこの真理を体験し、教会が聖母マリアの奉獻と呼ぶこの偉大な祝福を受けることができます。

マリア奉獻は、聖母マリアの手に使われて聖なる目的のために私たち自身を際立たせることを可能にする伝統的なカトリックの献身です。イエスは十字架からマリアを天の母として私たちに与えてくださいました。マリアへの奉獻は、私たちが毎日クリスチャンとしての生活を送る上でのパーソナルトレーナーとなる許可をマリアに与えます。私たちは彼女のパートナーとなり、私たちの魂と他の人々の魂をイエスのもとにもたらしめます。

マリアを通してイエスに奉獻されたことにより、マリアの完璧な母性愛は、私たちがマリアを愛し神を愛することを学ぶのに役立ちます。聖マクシミリアン・コルベは私たちに教えてくださいました。「**無原罪の聖母を愛せよ。彼女に打ち明けて、遠慮なく自分を彼女に捧げよ。彼女自身があなたの代わりにそうするように、特に彼女が神を愛するように神を愛することによって、すべてを行うように努めよ。**」

マリアを通してイエスに奉献されたことにより、マリアの完璧な母性愛は、私たちがマリアを愛し神を愛することを学ぶのに役立ちます。聖マクシミリアン・コルベは私たちに教えてくださいました。「**無原罪の聖母を愛せよ。彼女に打ち明けて、遠慮なく自分を彼女に捧げよ。彼女自身があなたの代わりにそうするように、特に彼女が神を愛するように神を愛することによって、すべてを行うように努めよ。**」

終わりを心に留めて

まずは「終わり」を意識してみましょう。(47) 神は愛ですので、神のようになり、永遠に神と共にいるためには、私たちは神が愛するように愛する方法を継続的に学ばなければなりません。これは難しい課題ですが、誰が私たちに教えてくれるのでしょうか？

まずは、私たちの母親からです！ 神は、地球に生まれたすべての魂が、次の世界である天国に勝利を収める方法を学ぶことができるように、犠牲的な母の愛に浸るよう定められました。子供の頃、私たちはまず母親から、母親を愛し、私たちに対する母親の大きな犠牲的な愛に倣うことを教えられます。これは私たちに第二の大きな戒め「隣人を自分のように愛しなさい」を教えています。私たちの母親は、私たちを自分自身のように愛する専門家です。なぜなら、私たちは母親の中で完全に形成されているからです。同時に、彼女は私たちに最初の大きな戒め「何よりも神を愛せよ」も教えています。なぜなら、イエスは次のように言われたからです。そこで、王は答えます。『**はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである**』（マタイの福音書 25:40）したがって、母親が私たちを愛していると同時にイエスをも愛しているのです。(2)

地上の母親から学びたいという意向が大きくなりすぎると、私たちは天の母親から学ぶために十分に謙虚で柔和でなければなりません。聖母マリアの愛は2つの偉大な戒めを完全に反映しています。彼女はイエスを自分自身のように愛しており、イエスは彼女の主であり救い主です。私たちに天国に入る方法を教える上で、母親と聖母マリアほど優れた模範はありません。神はこの「道」を設計し、それを主張しました。母親の親密かつ犠牲的な貢献なしでは、私たちはこの世に誕生していなかったのです！

最初の母親であるイブは、アダムの「助け手」として創造されました。彼女の2つの最も重要な役割は、アダムが新しい命を生み出すのを助けることと、家族が永遠の命を保持できるように助けることでした。良い母親は、最初の役割を果たしながら、2番目の役割も果たします。おそらくそれが、サタンが最初に

エバを攻撃した理由です。これがサタンが聖母マリアを恐れる理由でもある
かもしれません。彼は、私たちの教会が彼女のことを「母性の調停」と名付けて
いる彼女の完全な犠牲の愛を通して、神がどのようにして私たちの魂を救っ
てくださっているかを十分に理解しています。(7)

これら 2 つの重要な役割のために、イブとマリアは罪を持たずに創造され、神の完璧な侍女でした。アダムとエバは従わなかったので、罪に陥ったのです。時が満ちると、神は若い処女マリア、神の新しいイブを通して、ご自分の独り子を新しいアダムとして遣わされました。マリアはこの計画に率直に「はい」と答え、私たち全員の「助け人」になりました。「わたしは主のはしめです。お言葉どおり、この身に成りますように。」(ルカによる福音書 1:38) 聖母マリアは、堅信の秘跡に向けて私たちを準備するために、私たちの伴侶兼パーソナルトレーナーであることを望んでいます。神は完璧なクリスチャンのモデルとしてマリアを私たちに与えてくださいました。ですから、毎日彼女に「はい」と答えましょう。聖マクシミリアン・コルベは私たちにこう伝えます。「完璧に成長したいなら、自分だけでは前進できません。案内が必要だ。だから、神のもとに行くときは、マリアを通して、マリアとともに歩みなさい。」(3)

最も聖なるロザリオ

子は、母親が繰り返し優しい模範を示すことで愛を学びます。つまり、母親が徹底する優しい愛の言葉や、愛を示す優しい行動です。子は母親を見真似することで、他の人を愛する方法についての知識を高めていくのです。彼女の愛情深い視線、笑顔、優しい言葉、そして歌さえも。子供は話を聞きながら、彼女とコミュニケーションをとる方法を学び、最終的に最初の言葉を言うようになります。なんとも喜ばしいことでしょう！ こうした忍耐強い繰り返しの行動を通じて、子は徐々に母親の愛情深い心を模倣することを学びます。母親の繰り返しは学習にとって重要です。子どもがより上手にコミュニケーションをとる方法を学べば、子どもや他の家族に対する愛についてさらに詳しく教えることができます。何よりも、彼女はわが子を愛するのと同じくらい自分を愛する方法をわが子に教えたいと願っています。これが黄金律です。「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」(マタイによる福音書 7:12)

母親が愛の言葉を絶えず繰り返し、それを適切に言い返すように子に教えるのと同じように、マリアも私たちに神の言葉で話し、ロザリオの祈りを通し、神の言葉を聞く方法を教えてください。

彼女は子供たちに、聖書の奥義の言葉や瞑想を通して神とコミュニケーションをとるように教えています。ロザリオは教皇ピオ十二世によって「福音全体の要約」と呼ばれています。(4) 20 の不思議は、新約聖書の最初の 4 冊を年代順に紹介し、マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの 4 人の福音記者の視点からイエス、マリア、ヨセフの生涯を熟考す

ることを可能にします。聖母マリアの祈り(聖書では天使の挨拶としても知られています)をそれぞれの不思議のごとに 10 回唱えると、ちょうどリズムが私たちを歌の中で運んでくれるように、祈りに集中し続けることができます。この一連の万歳の祈りは、「キリストへの絶え間ない賛美」と呼ばれています。(4) 聖母マリアは、その優しい汚れなき御心を通してイエスを愛するのと同じように、イエスを愛する方法を私たちに教えておられます。ロザリオの神秘を深く考えることは、父、子、聖霊がマリアを愛するように、私たちにマリアを愛することも教えます。

今から何世紀も前に、マリアは聖ドミニコと聖シモン・ストックにこのロザリオの祈りを奇跡的に与えました。彼女は聖ドミニコに、ロザリオの祈りなしでは魂を回心させることはできないと言いました。彼女は、他の多くの幻影の中でこれを肯定し続け、私たちにそれを祈るように繰り返し求めました。聖徒たちはそれを唱え、世話をする人たちにロザリオを教えてきました。一度正しく祈ることを学べば、私たちは聖母マリアへの愛情のこもった贈り物として一生祈り続けるでしょう。彼女はそれを深く好み、多くの迷子の子供たちを改心させるためにも私たちの祈りを必要としています。

聖ヨハネ・パウロ二世は、祈りと犠牲を組み合わせるほど強力なものはないと述べました。「犠牲と結びついた祈りは、人類の歴史の中で最も強力な力である。」

(5) これが、マリアが私たちにロザリオを与えた最大の理由です。主の犠牲と組み合わせられた祈りでもあるミサの後、ロザリオは私たちが祈ることのできる最も力強い祈りなのです。

ロザリオを祈るとき、私たちはとりとめのない考えに非常に気を取られ、自分が言っている言葉や考えている謎に心を戻そうと絶えず格闘していることに気づくことがあります。それをマラソンに例える人もいます。ロザリオを言い終えたら、聖パウロとともにこう言えます。「わたしは、戦いを立派に戦い抜き、決められた道を走りとおし、信仰を守り抜きました。」(テモテへの手紙二 4:7)

これから 20 週間にわたり、堅信スポンサーおよび/またはご家族と一緒に、毎日少なくとも 10 回ロザリオを声に出して祈るという犠牲を払うようにしてください。堅信の準備をする際に聖霊に対して心を開くことができるように祈ってください。他の人と一緒にそれを祈ることは、私たちの献身と忠実さを強化し、私たち全員の責任を保ちます。スポンサーと直接会うことができない場合は、携帯電話やコンピュータなどの電子メディアを使用して、ロザリオと瞑想と一緒に声に出して祈ることができます。聖母マリアへの愛の具体的なしるしとして、この祈りを毎日の習慣にしてください。そうすれば、堅信の日にこの祈りから強力な恵みを経験するでしょう。「どんな恵みを経験できるの？」とあなたは尋ねるかもしれません。付録のロザリオを祈る人への 15 の約束をお読みください。

聖ヨセフの秘密のマリアの祝福

聖ヨセフは神の御心を即座に受け入れたことで、神への大きな信頼と信頼を示しました。夢の中で、大天使ガブリエルは彼に、マリアとまだ生まれていないイエスを自分の家に迎えるように指示しました。この行為は、神とマリアに対する大きな強さ、愛、人格を示しています。その見返りに、ジョセフは生涯を経て天国へ向かう霊的な旅において、素晴らしい伴侶であり助け仲間を受け取りました。マリアが彼の心と家庭に入った後、聖ヨセフは彼自身、驚くほど新しい方法、つまり神の幼児として神と出会いました。インマヌエル！神は私たちと共におられる！

神の御子の誕生の際に彼は何という不思議な体験をしたことでしょうか。ベツレヘムまでの百マイルの旅、奇跡の星の導き、牛の避難所として使われていた洞窟での誕生、貧しい羊飼いと三人の東方賢者の歓迎パーティー、この子の真の姿を天が確認した。彼は起こったすべての出来事にとても畏怖の念を抱いていたに違ひありません。その後、ヘロデ王が乳児を殺そうとしているため、すべてを捨ててイエスとマリアをエジプトに連れて行くように大天使に言われた後、彼は再び大きな勇気と強さを示しました。彼はエジプトにて移民大工として家族のために新しい生活を築きました。3年後、天使は彼に、家に帰っても安全だと告げました。その後も彼は愛情をもってイエスを育てました。彼は何年にもわたって彼を導き、守り、養ったのです。

おそらく、聖ヨセフは家族をヘロデから3年間隠した後、残りの生涯をかけて子供の神聖な身分を秘密にしておくよう注意したと思われます。

聖ヨセフの物語は聖書で語られていますが、彼の言葉は何も記録されていません。しかし、彼はこの大きな秘密を心の中に抱えていました。彼はマリアを彼の心と家庭に迎え入れましたが、決して以前と同じではありませんでした。聖ヨセフの秘密のマリアンの祝福は、私たち一人一人に当てはまる普遍的な方法で表現できます：**マリアを彼の心と家庭に迎え入れた後、彼は驚くほど新しい方法で神と出会いました。**彼の経験は、のちにイエスご自身が使徒たちを教えたことによって裏付けられました。「**あなたがたを受け入れる人は、わたしを受け入れ、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのである。**」(マタイによる福音書 10:40) このように、ヨセフはマリアを受け入れたとき、イエスを受け入れたのです。

これが今日の私たちにどのように当てはまるか考えてみてください。聖ヨセフもマリアも生涯を通じて性的に貞淑であったにもかかわらず、マリアの夫としての聖ヨセフの経験は、いつの時代も新郎の経験とよく似ています。新郎は、新婦を自分の心と家庭に迎え入れた後、生まれたばかりの子供の顔を見て神の存在を発見します「**神は言われた。『我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。』**」(創世記 1:26) 古代においては、子供の性別と同様に、正確な出生時刻は常に驚きでした。新しい父親は子供の顔を見つめて、「私はこの子を自分の手で作ったわけではない」と認めます。彼の妻も、この子は自分の手で作られたものではないことに同意します。なぜなら、イブが最初の子の後に次のように宣言したように、乳児は神ご自身から彼らへの奇跡的な贈り物だからです。「**わたしは主によって男子を得た。**」(創世記 4:1) 神が彼らの家を訪れましたが、人生は決して以前と同じではありません。この子供は、今後何年にもわたって、夫婦に信じられないほどの新しい経験、新しい希望、新しい喜び、そして新しい愛をもたらすでしょう。すべては、新しい夫が新しい妻を自分の心と家庭に受け入れ、全身全霊で彼女を心から愛したからです。来るべきメシアについてのこの聖書の一節を振り返り、その普遍的な意味を深く考えてみましょう。「**見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエル(神は共にいるという意味)と呼ばれる。」**」(マタイによる福音書 1:23)

今後20週間にわたって、私たちは新約聖書の聖典を探求し、マリアを心と家庭に受け入れた後、**聖ヨセフの秘密のマリアの祝福**を経験した人々の他の多くの例を明らかにします。その中には、聖エリザベス、その子の洗礼者聖ヨハネ、夫のゼカリヤ、ベツレヘムの羊飼いたち、 マギ、神殿の家にいるシメオンとアンナ、カナでの結婚パーティー、ベタニヤのマリア(マグダラのマリア)、妹のマルタ、弟のラザロ、メアリーは聖母マリアの妹、エマオに向かう二人の弟子、そして使徒たちも含まれます。イエスは、最後の晩餐では聖体のパンとぶどう酒として、復活祭の朝には復活の主として、ペンテコステの日曜日には聖霊の風と炎として12人に現れました。ペテロ、ヤコブ、ヨハネもまた、山頂の雲の中で父なる神に会い、イエスが変容され、変容の際に太陽のように輝いているのを見ました。最初に洗礼者ヨハネと一緒にいた使徒たちは、ヨルダン川で洗礼を受けたイエスが水から上がるのを見ました。そのとき天が開き、鳩が現れ、神の声が聞こえました。聖金曜日に聖ヴェロニカとマリアとともに十字架の下に集まった人々は、イエスが認識できないほど傷ついた姿を悲しく見ました。マリアを心と家庭に迎え入れたすべての人にとって、**「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。」**(ヨハネによる福音書1:14) これはまさにマリア自身が大天使ガブリエルを家と心に迎え入れ、神の使者に「はい」と答えたときに起こったことです。

聖ヨセフは、私たち一人一人が彼の配偶者からのこの素晴らしい驚くべき祝福を経験することを望んでおり、彼がそうしたように彼女を私たちの心と家に招き入れるようお願いしています。この偉大なマリアの祝福はさまざまな形をとるかもしれませんが、それは常に予期せぬ驚きであり、常に天から新しい神聖な命をもたらしてくれます。それが、彼女の最大の称号が「神の母マリア」である理由であり、彼女はこの家庭的なもてなしの徳を通して、心の中に抱く神をすべての人間の愛情関係にもたらしめます。一般的に、母親は愛する家族全員の家と心に常に新しい命を吹き込んでいます。これが母親の仕事なのです。

私たちは皆、聖ヨセフが私たちを導き、彼の配偶者マリアとその息子イエスを個人的に知る旅において私たちを守ってくださることに頼るべきです。

最後に、私たちが驚くような新しい方法で神を体験するとき、聖ヨセフはそれを秘密にしてほしくないのです。私たちが個人的なストーリーを共有しなければ、決して語られることはありません。新しい体験を友達や家族と共有しましょう。良い知らせなので。エマニュエル！ 堅信の準備をしながら、この素晴らしい驚くべき祝福を受けられるように毎日祈ってください。

聖ヨセフよ、あなたは大天使ガブリエルの命令により、マリアを自分の心と家に招き入れました。あなたはすぐに、生まれたばかりの幼い息子イエスとして、驚くほど新しい方法で神を発見しました。マリアを私の心と家に迎え入れたいと思います。あなたがしてくれたように彼女を愛する方法を教えてください、そうすれば私も人生で新たに神を経験するでしょう。最後に、あなたが聖家族を守ってくれたように、私と私の家族をあらゆる悪から守ってください。アーメン。

マリア奉獻の自然的かつ精神的な論理

母親は、自分の子供を自分自身のように愛することに自然と長けています。なぜなら、子供は多くの点で自分自身だからです。子供は母親の中で完全に形成されました。地球上で、子供とのこのユニークで個人的な愛の関係を持つ人は他にいません。したがって、家族の中で、母親は第二の偉大な戒律「隣人を自分自身のように愛しなさい」の最も熟練した教師です。” (6, #1954-1960)

- 母親は、生まれながらにして、全身全霊、全身全霊で我が子を愛する達人です。なぜなら、我が子は母親の体内で完全に形成されるだけでなく、母親は生まれる前の9か月間、我が子と心の一体感を育んできたからです。母親の全身全霊、全身全霊は、この子を育てるために9か月間、完全に注がれています。我が子を愛する母親を注意深く観察すると、彼女が全身全霊、全身全霊、全身全霊、全身全霊で我が子を本当に愛していることがわかります。

新米の母親に全身全霊で子供を愛しているかと尋ねると、彼女は「もちろんです！」と答えるでしょう。イエスはこう教えました。「**わたしの名のためにこのような子供の一人を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしではなくて、わたしをお遣わしになった方を受け入れるのである。**」(マルコによる福音書 9:37)したがって、家族の中で、母親は第一の偉大な戒律の最も熟練した教師である。「**心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。**」(マルコによる福音書 12:30)

- イエスは私たちにこの二つの偉大な戒めの重要性を教えてくださいました：**「律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。」**(マタイによる福音書 Mt. 22:40)「永遠の命を受けるには何をすればよいのですか？」とイエスに尋ねた若者に、イエスはこう言いました。**「それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」**(ルカによる福音書 10:28) このように、母親には特別な賜物があります。それは、家族全員を永遠の命へと導くカリスマを授かることです。母親は、イエスの新しい戒めを子供たち一人一人に真摯に伝えることができます。**「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」**(ヨハネによる福音書 13:34) カトリックの教理問答ではこう言っています。「この新しい戒めは他の戒めを全て要約し、神の意志全体を表現しています。」(6, #2822)
- 「この新しい戒律は他の戒律を要約し、神の意志全体を表現しています。」母性についてのこの考察から、神がアダムの「助け手」としてイブを創造した本来の目的は、少なくとも2つあったことがわかります。それは、アダムが地上に新しい命を生み出すのを助けること(家族に隣人を自分と同じように愛することを教えること)と、何よりも神の愛を体現することです。聖ヨハネ・パウロ2世は、「男性は心の一致に向けて前進するために、個人的な関係に戻るために女性の助けを必要としている」と述べました。(7) これは、イエスが死に際に御母を私たちの母として与えてくださった聖書の言葉によって裏付けられています。同じように、新しいイブとしてのマリアの目的は、私たちが永遠の命を得られるよう、2つの偉大な戒律を教えることでした。このように、神は、生まれたすべての人が犠牲的な母の愛、慈悲、真実、美しさの洗礼を受け、それぞれの魂に恵みの中で生き、天国に戻る方法を教えることを意図したのです。神は、私たちの世界にやって来るすべての魂が真の故郷と真の創造主のもとに帰れるようにしたいと願っています。サタンはこれを知っており、これを憎み、隠しています。

悪魔はこの計画を知っており、そのため、黙示録に出て、生まれた子供を食い尽くそうと待ち構えている赤い竜に描かれているように、母性に対する攻撃のすべてを標的としています。(黙示録 12:1-6) 私たちの教会が非難してきたあらゆる社会悪を見れば、それぞれが母性、父性、そして家族を通して魂を天国に導くこのプロセスに対する攻撃であることがわかります。神は、この2つの偉大な戒律を母親の心に、そして最も完璧には聖母マリアの心に置いたようです。したがって、私たちが毎日マリアを心と家に招き入れ、彼女から神と隣人を愛する方法を学ぶとき、私たちは天国に行つて永遠に父とともに暮らすチャンスを実際にしているのです。

私たちの精神的な母となることを毎日許すことです。これには、ほとんどの人にとって障害となる、大きな謙虚さと愛が必要です。奉獻により、私たちは、母親が自分の子供一人一人と自然に行うように、マリアと心の一致を形成できます。母親と子供の心の一致は、出産後何年もの間、母親が子供を胸に抱きしめていることにはっきりと表れています。母親は、家族全員が見えるように、子供の全身に自分の心の一致を物理的に刻み込んでいます。私たちは、お母さんが子供たちを愛するのを見て、優しく愛することを学ぶのではないのでしょうか。

カルカッタの聖テレサによる聖母マリア奉獻は、この心の交換に焦点を当てています。私たちはマリアに心を捧げ、マリアは私たちに汚れなき御心を与えてくれます。マザー・テレサは、このことを2つの非常にシンプルな祈りで表現しています。「マリアよ、あなたの心を私に貸してください」そして「マリアよ、あなたの最も清らかな心の中に私を守ってください」。聖人は**義務のリスト**(付録を参照)の中で、私たち全員がマリアの心に入り、彼女の内なる生活を共有する権利を持っていると教えました。(1)

主は常に「彼女と共に」おられるので、私たちがマリアと心を合わせるとき、私たちは主の神聖な聖心を体験します。イエスはまた、私たちにこう約束しています。「**二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。**」(マタイによる福音書 18:20) 父なる神が彼女を御子イエスの母として選び、イエスが十字架の上から彼女を私たちの母として差し出したのであれば、私たちは人生において神の存在をさらに感じることにつながるこの素晴らしい贈り物を喜んで受け取るべきです。(9)

マリアを通してイエスに献身する:20週間の計画

この計画は、教区ベースの秘跡堅信式プログラムに代わるものではなく、それを補強するものです。このプログラムでは、あなたとあなたのスポンサーは、スポンサーや家族と一緒に、毎日少なくとも1つのロザリオの秘跡を声に出して唱えながら、ロザリオの20の秘跡のそれぞれに1週間を費やすことが求められます。直接会うことができない場合は、電話またはコンピューターで仮想的に会ってください。毎週1回、ロザリオの秘義1つと戒律1つについて瞑想し、提案された質問についてスポンサーと話し合います。さらに、毎週、マリア奉獻の原則を紹介して、熟考してきます。「第一」の原則については、この紹介ですでに説明しました。それは、インマヌエル、つまり神は私たちとともにあるということです。私たちは毎回のアヴェ・マリアで「主はあなたと共におられます。」と言います。また、4つの秘跡セットのそれぞれについて、4つの異なる奉獻の祈りを用いて、毎日マリアを通してイエスに自分自身を奉獻するよう求められています。これにより、聖母マリアは聖霊を通してあなたと個人的な関係を築き始める許可をすぐに得ることになります。聖母マリアは、誠実な候補者と後見人が堅信礼の恩恵に心を開き、驚くほど新しい方法で聖霊を体験できるように十分に準備します。これにより、あなたは活気に満ちた成熟したカトリックのクリスチャン生活を送ることができるようになります。

洗礼の約束の更新

この旅を始める前に、洗礼の誓いを新たにし、悔い改めの心を持っていることを自分自身とイエスに思い出させましょう。(付録を参照)

これはイエスが私たちに大いなる慈悲を注ぐ許可を与えるものです。私たちは堅信式で司教とともにこれを行います。今日からこの更新を行うことで準備しましょう。マリア様はとも喜んでくださり、私たちが約束したことを実行できるように助けてくださるでしょう。

最初の誓約

私たち一人一人が、聖母マリアに全身全霊を捧げ、堅信式の準備としてこの儀式の日々の犠牲の規律に従うことを、以下に誓いましょう。あなたの本に署名し、日付を記入してください。それは聖母マリアとあなた自身への誓いです。

私、_____は、聖母マリアに誓います。今後 5 週間、スポンサーや家族とともに、聖母マリアの聖なるロザリオの各レッスンを忠実に学び、毎日少なくとも 1 連のロザリオを声に出して祈ることを誓います。聖母マリアよ、あなたが私を愛したように、あなたを愛する方法を教えてください。あなたの助けを借りて、神と隣人を神の意志に従って愛する方法を学びたいと願っています。父と子と聖霊の御名によって祈ります。アーメン。

候補者による署名と日付: _____

スポンサー: _____

ノート:

1週目

告知

天使ガブリエルがマリアの前に現れ、
神の母となるよう求めた。

御霊の実：謙遜（10）

聖書：六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。ダビデ家のヨセフという人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんのに。」天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。あなたの親類のエリサベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。神にできないことは何一つない。」マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。（ルカによる福音書 1:26-38）

反省：神に「はい」と言いなさい！天使はそう尋ね、マリアは神の言葉を聞いて信じ、イエスを心と家に招き入れました。後年、イエスは使徒たちに教えを説きます。「あなたがたを受け入れる人は、わたしを受け入れ、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのである。」（マタイによる福音書 10:40）マリアは大天使の訪問を受け、神の言葉が語られました。すぐに、イエスがマリアの胎内に宿りました。父なる神はマリアを深く愛し、マリアは喜びをもって神を心に受け入れることで神の愛に応えました。マリアは神が導いてくださることを信じ、神はマリアとヨセフに御子イエスを託しました。私たちも神を信頼しなければなりません。堅信の旅の始まりにマリア様を心と家に招き入れると、マリア様はイエス様も一緒に連れて来られます。

なぜなら、主はいつも「マリア様と共に」おられるからです。二人はすでに心の中で一つになっています。イエス様は「神は私たちと共におられる」という意味の「インマヌエル」と呼ばれています。

マリアはヨセフと婚約していましたが、それは同棲する前の婚約期間でした。教会は、マリアが生涯処女でいるという誓いを立てていたと教えています。私たちは彼女を永遠の処女マリアと呼んでいます。(7) 教会はまた、マリアが母親の胎内に宿った日から原罪から解放されていたと教えています。ヨセフは彼女を妻として迎え、彼女と彼女の息子、そして彼らの家族を守ることに同意しました。これは非常に貞潔で神聖な結婚であり、マリアは息子のイエスとその使命に完全に身を捧げる自由がありました。マリアには他に子供がいませんでした。マリアの世話をするイエスの兄弟がいたなら、イエスは十字架の上でマリアを使徒ヨハネの保護下に置かなかったでしょう。(聖書に引用されている「イエスの兄弟」は実際には従兄弟でした。)(7) イエスはマリアの息子であるという事実にもかかわらず、それでも彼女の救い主です。

聖ヨハネ・パウロ2世は、マリアの選択がいかに驚くべきものであったかを説明しています。「神の行動は確かに驚くべきものです。マリアには、救世主の到来の告知を受けるとして人間としての権利はありません。彼女は大祭司でも、ヘブライ宗教の公式代表者でもなく、男性でもなく、当時の社会で何の影響力も持たない若い女性なのです。」(7) 聖霊の驚くべき性質は、神の愛の明らかな兆候であり、これについては次の19章の多くでお話します。

奉獻の原則: マリアをあなたの心と家に招き入れましょう。聖霊にマリアをあなたのもとに送ってくださるようお願いしましょう。

あなた自身の聖ヨセフ秘密マリアの祝福を受けられるように、聖ヨセフに祈ってもらいましょう。大天使の指示でマリアを心と家に招き入れた後、彼はすぐに驚くほど新しい方法で神に出会いました。幼い息子としてです! 神殿でも山でもなく、彼ら自身の家で。父がそうであるようにマリアを愛し、あなたの心と家庭の中で、神の子をあなたの心に明らかにしてくださることを信じてください。マリアは「私にそうなるように」と言い、神の招きに「はい」と答えました。そして、それは彼女の信じられないほど驚くべき人生の旅の始まりでした。私たちも堅信礼の準備中に神に「はい」と言わなければなりません。マリアは、私たちが「はい」と言うのを助けてくれますし、私たちがお願いすれば、パーソナルトレーナーとして、また仲間として私たちと一緒に歩いてくれます。イエスが使徒たちに約束されたことを心に留めてください。「**あなたがたを受け入れる人は、わたしを受け入れ、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのである。**」(マタイによる福音書 10:40) マリアを受け入れるとき、私たちはイエスを受け入れるのです。

聖徒の証人:

1. **聖ヨハネ・パウロ2世(1920-2005)**「誰よりも先に、永遠の父である神ご自身がナザレの聖母にご自身を託し、受肉の神秘において御子を彼女にお与えになったことを認識しなければなりません。」(9)
2. **聖フランシスコ・サレジオ(1567-1622)**「話すことは話すことで学び、学ぶことは学ぶことで、走ることは走ることで、働くことは働くことで学び、そして愛することは愛することで学ぶのです。他の方法で学ぼうと考え人はみな、自分を欺いているのです。」(11)
3. **聖ヨハネ・パウロ2世(1920-2005)**「聖なるロザリオは、私たちが信仰の核心へと導きます。私たちは、ロザリオに思いを集中して、喜びをもって神の聖母に繰り返し挨拶し、彼女の胎内の甘い果実である御子を祝福し、生きているときも死んだときも、彼女の母親としての保護を祈り求めます。」(12)

美德のハイライト: マリアは神に大きな信頼を示したため、神の恵みが彼女の信仰を強め、彼女を助けました。神は彼女の謙虚さを愛しており、それは愛と信頼に次ぐ最も重要な美德です。神の子はマリアと聖ヨセフからそれを学びます。

今週の戒律:イエスは言われた。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。」(マタイによる福音書 22:37-38)この第一戒については、第3週でさらに詳しく見ていきます。最初の3つの戒めは神への愛に焦点を当てており、最後の7つの戒めは隣人への愛に焦点を当てています。したがって、律法全体はこの2つに基づいているとイエスは教えています。(13) 子供の頃、私たちは隣人への愛をまず両親から学びます。人生の後半を迎えると、私たちは神の愛について学びます。隣人に助けを求める前に、まず神の助けを祈るべきです。そうすれば、隣人が私たちを助けることに成功したとき、私たちは隣人の中に神の手が働いていることに気づくかもしれません。**マリア様、どうかこの戒めに常に従う方法を教えてください。**

スポンサーや親と信仰を分かち合う: 聖書の中でイエスは次のように教えておられます。「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」(マタイによる福音書 7:7)人生で何かを祈った後に、この真実を経験したことがありますか?

課題: この章と一緒に読み、今後 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒に毎日少なくとも 10 回、声に出して祈ります。マリアへの積極的かつ犠牲的な贈り物として、毎日のロザリオを捧げます。マリアはそれを愛しており、あなたを祝福してくれます。伝統的な朝の捧げ物を祈りましょう。

5つの喜びの神秘のための

毎日の奉獻の祈り

朝の祈り

ああイエスよ、聖母マリアの汚れなき御心を通して、あなたの聖心のすべての意向のため、世界中でのミサの聖なる犠牲と一体となって、私の罪の償いとして、私のすべての親戚と友人の意向のため、そして特に教皇の意向のために、今日の私の祈り、働き、喜び、苦しみをあなたに捧げます。アーメン。(44) 聖母マリア様、私の信仰を守ってください！

2週目

訪問

マリアは、同じく妊娠中の従妹エリザベスを
訪問する

聖霊の実：隣人愛(10)

聖書：マリアがエリザベスを訪問する。

そのころ、マリアは出かけて山地へ急ぎ、ユダの町へ行き、ザカリアの家に入ってエリサベスに挨拶した。マリアのあいさつを聞くと、胎内の子がおどり上がった。エリサベスは聖霊に満たされ、大声で叫んで言った。「あなたは女性で最も祝福された方、あなたの胎内の子も祝福されています。私の主の母が私のところに来てくださるとは、どうしてこのようなことが起こるのでしょうか。あなたのあいさつの声が私の耳に届いたとき、私の胎内の子は喜び踊りました。主があなたに語られたことが実現すると信じたあなたは幸いです。」

マリアの賛歌。

そしてマリアは言った。*

「わたしの魂は主をあがめ、
わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。
身分の低い、この主のはしためにも
目を留めてくださったからです。
今から後、いつの世の人も
わたしを幸いな者と言うでしょう、
力ある方が、
わたしに偉大なことをなさいましたから。
その御名は尊く、
その憐れみは代々に限りなく、
主を畏れる者に及びます。
主はその腕で力を振るい、
思い上がる者を打ち散らし、
権力ある者をその座から引き降ろし、

身分の低い者を高く上げ、
飢えた人を良い物で満たし、
富める者を空腹のまま追い返されます。
その僕イスラエルを受け入れて、
憐れみをお忘れになりません、
わたしたちの先祖におっしゃったとおり、
アブラハムとその子孫に対してとこしえに。」

マリアは、三か月ほどエリサベスのところに滞在してから、自分の家に帰った。(ルカによる福音書 1:39-56)

反省: 隣人を積極的に愛しましょう！マリアはすぐに召命の旅を始め、まず聖エリザベスに息子を知らせ、分かち合いました。これは、喜びの秘跡に記されているエルサレムへの4回の旅のうち最初のもので、最終的には息子を十字架上の父に捧げることとなります。神が私たちに召すたびに、私たちを運命と永遠の報酬へと導いてくれます。マリアは、困っている年老いた従兄弟のために、約100マイルを旅して3か月間慈善活動を行うことで、犠牲的な愛を示しました。神が私たちの人生で奇跡を起こすのを見るための第一歩は、慈善活動を通じて犠牲的な愛をもって隣人を愛することです。(14) 聖書には、彼女が「急いで」行ったと書かれています。マリアは奉仕し、慈善活動を行うことに熱心でした。年老いた従兄弟の助けになりたいと思っていました。しかし、マリアはまた、自分の良い知らせや新しい愛を伝え、まだ生まれていない自分の子供を、自分が子供を愛するのと同じくらい他の人に愛してもらいたいと願っていたことは間違いありません。これは母親の自然な傾向です。

この聖書によると、エリザベスはマリアを自分の家と心の中に迎え入れ、突然、驚くほど新しい方法で神に出会いました。聖霊が彼女とヨハネの心に入ると、彼女のお腹の中でまだ生まれていない息子が喜びに躍りました。彼女は、序文で述べられているように、聖ヨセフが経験したマリアの秘密の祝福を受けたのです。

彼女は大喜びで、聖霊が心に降臨するのを感じ、聖霊の賜物を使って、まだ生まれていないイエスを自分の主であると宣言しました。洗礼者ヨハネは、今度は、母親の胎内で跳び上がることで、まだ生まれていないキリストの存在を確認しました。エリザベスの夫で大祭司のザカリアも、洗礼者ヨハネが生まれた後、聖ヨセフの秘密の祝福を経験しました。イエスがまだマリアの胎内にいる間に、ザカリアは話すことができない状態を奇跡的に治すことができました。マリアはここで、エリサベスだけでなく、まだ生まれていなかった洗礼者ヨハネと夫ザカリアのためにも**聖霊の使者**として行為しているのがわかります。**ヨハネはマリアの弟子であると考えられることもできます。なぜなら、二人とも魂に悔い**

改めを呼びかけることで主の道を備えるという使命を持っているからです。(イザヤ書 40:3)「わたしの咎をことごとく洗い罪から清めてください。」(詩編 51:2)

洗礼者ヨハネは偉大な聖人となり、イエスの殉教者となりました。イエスはヨハネについてこう言いました。「はっきり言っておく。およそ女から生まれた者のうち、洗礼者ヨハネより偉大な者は現れなかった。しかし、天の国で最も小さな者でも、彼よりは偉大である。」(マタイによる福音書 11:11) ヨハネは最終的に、イエスの使徒の多くを、残りの人生をイエスに従い、イエスのために死ぬことさえもできるように備えさせました。

この3か月の訪問の間、マリアと聖エリザベスは、天からのこれらの奇跡的な兆候について考えながら、一緒に祈りを捧げます。聖霊なる神があなたの人生に驚くほど新しい方法で入ってくるとき、神はしばしばあなたに個人的な祈りのパートナーを与えてくれます。神はあなたをそのパートナーに導きます。そしてもちろん、あなたのスポンサーと両親もあなたと一緒に、そしてあなたのために祈ります。マリアとエリザベスのような母親と一緒に集まって子供たちのために祈るとき、彼らはイエスが十字架の道で出会った泣いている女性たちに指示したことに従っているように、スピリチュアル的に強力なものです。「エルサレムの娘たちよ、わたしのために泣くな。むしろ、あなたたち自身のため、そしてあなたたちの子供たちのために泣きなさい。」

奉獻の原則: 朝一番に、毎日の祈り、仕事、喜び、苦しみをマリアを通してイエスに捧げましょう。マリアが聖エリザベスを助けたように、あなたも助けてもらえるようマリアにお願いしましょう。例: 朝の捧げ物を祈りましょう。

聖徒の証人:

1. **聖ルイ・グリニョン・ド・モンフォール(1673-1716)**「聖霊がマリアの秘密を明らかにし、彼女を知るようになる人々は幸せです。」(3)
2. **聖アルフォンソ・リグオリ(1696-1787)**「私の慈愛に注意を払い、私に倣って他の人々に対してそれを実践する人々は幸いである、と聖母は言う。隣人に対する私たちの慈愛は、神とマリアが私たちに示してくださるものの尺度となるであろう。」(3)
3. **教皇ベネディクト16世(1927-2020)**「ロザリオを通して、私たちは信仰の模範であるマリアに導かれ、キリストの神秘について瞑想します。マリアは日々、私たちが福音を吸収するのを助け、それが私たちの生活に形を与えます。」(12)

美德のハイライト: 3 か月にわたる慈悲の行為は、マリアの慈悲、愛、思いやりの好例です。また、出産時に何をすべきかについての有益な知識も教えました。神はマリアの中におり、マリアは自分の中にいる神の愛を隣人に与えています。イエスは聖マリア ファウステイナに現れ、慈悲の行為を行うよう強く勧めました。「私はあなた方に慈悲の行為を求めます。それは私への愛から生じるものです。あなたはいつでもどこでも隣人に慈悲を示すべきです。これを躊躇したり、言い訳したり、免除しようとしたりしてはいけません。」(42)

今週の戒律: 第二の[大戒律]は: 「**第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』40律法全体と預言者は、この二つの旋に基づいている。**」(マタイによる福音書 22: 39-40) 序文と第一週目にてイエスが律法と預言者の教え全体を要約した二つの「偉大な戒律」を教えたと言いました。聖人と教会はまた、マリアがこの二つの偉大な戒律を実践する最も完璧な模範であると教えています。したがって、古代の律法と預言者は、マリアの汚れなき御心の現れです。これは、私たちの信仰が古代の人間によって作られたのではなく、男性と女性の両方を創造した神によって作られたことを意味します。私たちの信仰が母親の心に基づくものであると決めたのは父なる神でした。これは信じられないような啓示ですが、マリア奉獻の自然的かつ精神的な論理の序文で論じたように、明らかに真実です。この素晴らしい計画は、生まれたすべての子供が母親の犠牲的な愛から永遠に天国に入る方法についての徹底的な訓練を受けることを確実にするための神の方法です。

スポンサーや親と信仰を共有する: マリアの胎内にいるまだ生まれていないイエスに
応えて母親の胎内で跳び上がったヨハネは、生命は受胎から始まり、罪のない
胎児はすべて真の人間であり、中絶という悪から守られる必要があることをすべて
の人に知らせるものです。生命の尊重を促進するために何ができるでしょうか。

課題: この章と一緒に読み、今後 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒に毎日少
なくとも 10 回、声に出して祈りましょう。マリアへの積極的かつ犠牲的な贈り物とし
て、毎日のロザリオを捧げましょう。マリアはそれを愛し、あなたを祝福します。朝
の捧げ物を祈りましょう。

5つの喜びの神秘のための 毎日の奉獻の祈り

朝の捧げ物

イエスよ、聖母マリアの汚れなき御心を通して、
私はあなたにこの日の私の祈り、働き、喜び、苦しみを捧げます。あなたの
聖心のすべての意向のため、
世界中のミサの聖なる犠牲と一体となって、
私の罪の償いとして、私のすべての親戚と友人の意向のため、
そして特に教皇の意向のために。
アーメン。(44)
聖母マリアよ、私の信仰を守ってください！

ノート:

3週目

イエスの誕生

御霊の実：霊の貧困(10)

聖書：人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身ごもっていた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」

羊飼いの訪問：天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。聞いた者は皆、羊飼いたちの話をも不思議に思った。しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりにだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。(ルカによる福音書 2:3-20)

***長子: 息子の社会的地位と相続権に関連する法律用語。(申命記 21:15-17)**
これはマリアがイエスの後に他の子供をもうけたことを意味するのではなく、イエスの誕生前には子供がいなかったということだけを意味します。(6,#500)

反省: 誰かを家に招き入れるときは、後ろに下がって、彼らが入るための「スペース」を作ってください (17)。神は古い契約を家族と始めました。そして今、新しい契約を新しい家族、聖家族と始めています。この家族は真の家族のモデルであり定義です。真の家族は、神の助けを得て聖人となり、永遠に神とともに生きる家族です。したがって、家族は新しい命を生み出すためだけでなく、家族内のすべての魂の救済手段としても神によって創造されました。私たちは家族の中で天国に入る方法を学ぶべきです。

この誕生は740年前に預言者イザヤによって告げられました。(イザヤ書 7:14)フルトン・シーン主教によると、他の世界の宗教指導者は誰も事前に告げられなかったそうです。(21)この出来事は神殿や山頂で起こったのではなく、ダビデ王の故郷の洞窟で起こったのです。(7)ベツレヘムという名前は「パンの家」を意味し、牛の餌箱で眠っていたこの子は命のパン、天からの新しいマナとなりました。神は常に私たちと共に、家族の中に、家庭の中におられます。一たとえその家が土の床の臭い洞窟であったとしても。ヨセフがマリアを家に迎え入れた時のように、神をあなたの心と家に招き入れてください。この夜、ヨセフは幼児として、そして息子として、そして主なる神として、驚くほど新しい方法で神に出会ったのです。羊飼いたちはマリアの心と質素な住まいに迎え入れられ、天使の言うことに耳を傾けた後、驚くほど新しい方法で神の子羊にも出会ったのです。その後、賢者たちはマリアの心と家に迎え入れられ、彼らもまた、驚くべき新しい方法で神を発見しました。それは、神の王である幼子でした。あなたが貧しくても裕福でも、賢くても無知でも、城に住んでいても、星空の下の丘の斜面に住んでいても、神は新しい予期せぬ方法であなたに会いに来ます。マリアとヨセフに聞いてみてください。この町はベツレヘム、ダビデ王(羊飼いの少年から始まった王)の故郷です。彼は統治中に契約の箱(マリアの象徴)をエルサレムに迎え入れるために、その箱の前で踊った王となりました。心にも家庭にも聖家族を受け入れる余地のない親族たちから聖家族が拒絶されるのを見るのは、ダビデ王にとってどれほど辛いことだったことでしょう。

「言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。」(ヨハネによる福音書 1:11) (41) そこで神は、聖家族を迎えるためにダビデ王の使者として謙虚な羊飼いたちに天使を遣わしたのです。この降臨節に、心と家に「空間」を作って、神がご自身で満たしてください。結局のところ、それは聖母マリアがしたことです。彼女は処女の誓いを立て、子宮に「空きスペース」を作りました。そして神は、驚くほど新しい方法でそれをご自身で満たしてくださいました。何という喜びでしょう。

奉獻の原則: マリアのもてなしの美德を真似しましょう。聖ヨセフが毎日体験した秘密のマリアの祝福は、実はマリアのもてなしのカルスマでした。主はマリアと共に、マリアの内におられ、マリアは訪れるすべての人々、特にマリアを歓迎したり受け入れたりする人々に主を常に与えます。もてなしは、訪問者の利益のために行われる愛ある人間の行為であり、神の恵みによって完成される美德です。もてなしは、アブラハムがマムレのテントにいる間に彼を訪ねてきた 3 人の天使に与えたものです。

主はマムレの樫の木の所でアブラハムに現れた。暑い真昼に、アブラハムは天幕の入り口に座っていた。目を上げて見ると、三人の人が彼に向かって立っていた。アブラハムはすぐに天幕の入り口から走り出て迎え、地にひれ伏して、言った。

「お客様、よろしければ、どうか、僕のもとを通り過ぎないでください。水を少々持って来させますから、足を洗って、木陰でどうぞひと休みなさってください。何か召し上がるものを調べますので、疲れをいやしてから、お出かけください。せっかく、僕の所の近くをお通りになったのですから。」

その人たちは言った。

「では、お言葉どおりにしましょう。」

アブラハムは急いで天幕に戻り、サラのところに来て言った。

「早く、上等の小麦粉を三セアほどこねて、パン菓子をこしらえなさい。」

アブラハムは牛の群れのところへ走って行き、柔らかくておいしそうな子牛を選び、召し使いに渡し、急いで料理させた。アブラハムは、凝乳、乳、出来立ての子牛の料理などを運び、彼らの前に並べた。そして、彼らが木陰で食事をしている間、そばに立って給仕をした。

9彼らはアブラハムに尋ねた。

「あなたの妻のサラはどこにいますか。」

「はい、天幕の中におります」とアブラハムが答えると、彼らの一人が言った。(創世記 18:1-10) その代わりに、この訪問者たちは、1年後に再訪したときに、当時90歳だったサラに奇跡的に息子が生まれると約束しました。そして、その通りになりました。私たちがマリアに献身しているなら、常にもてなしの心を示し、マリアの恵みに助けをもらうべきです。私たちがもてなしの心を示した相手は、私たちの誠実な努力のおかげで、思いがけない方法で神を見ることになるかもしれません。「旅人をもてなすことを忘れてはいけません。そうすることで、ある人たちは、気づかずに天使たちをもてなしました。」(ヘブライ人への手紙 13:2)

聖トマス・アキナスは私たちにこう教えています。「私たちはもてなしの心を持つべきです。なぜなら、それは私たちに神の恵みを他の人々に与え、福音の真理を伝え、神の心からの慈悲と優しさを他の人々に伝える機会を与えてくれるからです。そうすれば、彼らは天に神がいて、彼らを愛し、彼らの救いを切望していることを知るでしょう。」(18)あらゆる美德をなんと美しく描写したのでしょうか。イエスが後に使徒たちに教えたことを思い出してください。「あなたがたを受け入れる人は、わたしを受け入れ、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのである。づかずに天使たちをもてなしました。」(マタイによる福音書 10:40)

聖徒の証人:

1. **聖ヨハネ・パウロ2世(1920-2005)**「私たちもマリアを私たちの家に連れて帰るでしょうか。実際、私たちはマリアを私たちの生活、私たちの信仰、私たちの愛情、私たちの仕事の家という完全な称号を与えなければなりません。私たちはマリアが本来持つ母親としての役割、つまり、助言者、勧告者、あるいは沈黙の存在としての役割を認識しなければなりません...強さと勇気を鼓舞する者として。」(19)
2. **聖マクシミリアン・コルベ(1894-1941)**「ああ、無原罪の聖母、天と地の女王、罪人たちの避難所、そして私たちの最も愛しい母よ、神は慈悲の秩序全体をあなたに託すことを望まれました。」(20)
3. **ヨハネ・パウロ1世(1912-1978)**「ロザリオというシンプルで簡単な祈りは、私が子供でいられる助けになります。」(12)

美徳のハイライト: マリアと聖ヨセフは、避難所を探す際に大きな忍耐と粘り強さを示しました。ロバに乗っていたマリアがどんなに不快だったか想像してみてください。彼らは、質素な環境にもかかわらず、訪問した羊飼いと 3 人の王を歓迎しました

。

今週の戒律: モーセに与えられた最初の戒律は次のように始まります: **神はこれらすべての言葉を告げられた。「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。3あなたには、わたしをおいてほかに神があつてはならない。**(出エジプト記 20:1-3) 偽りの神とは何か? 神よりも重要だと私たちが思う人、場所、物。神に頼る代わりに隣人に頼ると、隣人を偽りの神にしてしまう危険があります。まず神に頼り、次に友人に頼りましょう。そうすれば、神が友人を通してどのようにあなたたち二人を助けてくださるかがわかります。聖トマス・アクィナスは、悪魔に仕えることで課せられる大きな重荷について警告しています。**「罪を犯す者はだれでも罪の奴隷である。」**(ヨハネによる福音書 8:34)「したがって、罪の習慣から逃れることは容易ではない。」(13)

スポンサーや親と信仰を共有する: 時を経て、カインは土の実りを主のもとに献げ物として持って来た。4アベルは羊の群れの中から肥えた初子を持って来た。主はアベルとその献げ物に目を留められたが、5カインとその献げ物には目を留められなかった。カインは激しく怒って顔を伏せた。6主はカインに言われた。「どうして怒るのか。どうして顔を伏せるのか。7もしお前が正しいのなら、顔を上げられるはずではないか。正しくないなら、罪は戸口で待ち伏せており、お前を求める。お前はそれを支配せねばならない。」(申命記 4:3-7) こうすると、神様はいつもその「空いたスペース」をもっと良いもので満たしてくれることに気づいたことがありますか？スポンサーや家族とそのような経験を分かち合い、話し合ってください。イエス様とマリア様の寛大さは誰にも負けません！

課題: この章と一緒に読み、今後 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒に毎日少なくとも 10 回祈りを唱えます。毎日ロザリオを捧げて、あなたからマリアへの積極的な犠牲的な贈り物を捧げてください。マリアはそれを愛しており、あなたを祝福します。朝の祈りを捧げます。:

5つの喜びの神秘のための毎日の 奉獻の祈り

朝の捧げ物

ああイエズスよ、聖母マリアの汚れなき御心を通して、

あなたの聖心のすべての意向のため、

世界中でのミサの聖なる犠牲と一体となって、

私の罪の償いとして、私のすべての親戚と友人の意向のため、

そして特に教皇の意向のために、

今日の私の祈り、働き、喜び、苦しみをあなたに捧げます。

アーメン。(44)

聖母マリアよ、私の信仰を守ってください！

4週目

神殿でのプレゼンテーション

御霊の実: 従順 (10)

聖書: さて、モーセの律法に定められた彼らの清めの期間が過ぎたとき、両親はその子を主に献げるため、エルサレムに連れて行った。それは主の律法に、「初めて生まれる男子は皆、主のために聖別される」と書いてあるからである。また、主の律法に言われているとおりに、山鳩一つがいか、家鳩の雛二羽をいけにえとして献げるためであった。

そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい人で信仰があつく、イスラエルの慰められるのを待ち望み、聖霊が彼にとどまっていた。そして、主が遣わすメシアに会うまでは決して死なない、とのお告げを聖霊から受けていた。シメオンが“霊”に導かれて神殿の境内に入って来たとき、両親は、幼子のために律法の規定どおりにいけにえを献げようとして、イエスを連れて来た。シメオンは幼子を腕に抱き、神をたたえて言った。

「主よ、今こそあなたは、お言葉どおり

この僕を安らかに去らせてくださいます。

わたしはこの目であなたの救いを見たからです。

これは万民のために整えてくださった救いで、

異邦人を照らす啓示の光、

あなたの民イスラエルの誉れです。」

父と母は、幼子についてこのように言われたことに驚いていた。シメオンは彼らを祝福し、母親のマリアに言った。「御覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人を倒したり立ち上がらせたりするためにと定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。——あなた自身も剣で心を刺し貫かれます——多くの人の心にある思いがあらわにされるためです。」

また、アシェル族のファヌエルの娘で、アンナという女預言者がいた。非常に年をとって、若いとき嫁いであら七年間夫と共に暮らしたが、夫に死に別れ、八十四歳になっていた。彼女は神殿を離れず、断食したり祈ったりして、夜も昼も神に仕えていたが、そのとき、近づいて来て神を賛美し、エルサレム

の救いを待ち望んでいる人々皆に幼子のことを話した。(ルカによる福音書 2:22-38)

反省: 主に献身するということは、神の神聖な目的のために身を捧げるということです。マリアとヨセフは天使の訪問を受ける前にすでに神に献身していましたが、今度は神殿でイエスを神に捧げます。ヨハネの福音書では、イエスは私たち一人一人のために自らを捧げ、私たちが真理において献身できるようにしています。「**彼らのために、わたしは自分自身をささげます。彼らも、真理によってささげられた者となるためです。**」(ヨハネによる福音書 17:9) 洗礼と堅信の結果として、私たちは聖霊を通して真理において神に奉獻されます。マリア様は私たちのパーソナルトレーナーであり、永遠の助け手ですから、この素晴らしい新しい日のためにあなたを適切に準備する許可をマリア様に与えてください。

モーセの律法に従い、マリアとヨセフは幼子イエスをシメオンとアンナの「家」、エルサレムの神殿に連れて行きます。シメオンは、自分の人生に救世主を求めていた預言者で、今日、神殿の幼子として、驚くべき新しい方法で突然イエスを見つけました。彼は預言的に、イエスがイスラエルが待ち望んでいた救世主であると宣言し、神を賛美します。また、マリアが息子の苦しみを共にすると預言します。

カルバリーの丘で、息子が十字架にかけられるのを見ていた母親は、何人いたでしょうか。母親は皆、子供と共に、また子供のために喜んで苦しみますが、この普遍的な真理は、この日、神殿で認められ、宣言されます。昔、苦しみは無益であり、個人または家族の罪に対する神の怒りのしるしであると考えられていました。マリアは、自分の苦しみを息子の十字架上の犠牲と結びつけることで自身の苦しみを神への救いと喜ばしい犠牲の贈り物としました。シメオンは、救いの業におけるマリアの協力を認め、「多くの人の心の思いが明らかになるように」と言いました。(7)

アンナは預言者であり、老年期のすべての瞬間を神殿の「家」で過ごし、シメオンとともにこの子の偉大な運命を確信しました。幼い赤ん坊として神に出会ったときの彼女の驚きを想像してみてください。女性である彼女は、男性ほど神殿の至聖所に近づくことを許されていませんでした。この日、彼女は冷たい石造りの神殿で何百人もの信者とともに遠くから神を崇拜していましたが、母親の腕に抱かれた小さな赤ん坊として神を間近で直接崇拜しました。恐れるように教えられた神の崇拜から、まったく恐れることのない神と遊ぶことへと変化しました。幼児を怖がる人がいるでしょうか？これはまさにパラダイムシフトです！彼女はこの経験にとっても感動し、出会う人すべてに救世主の到来について話します。なんという伝道者でしょう！

神は預言者、堅信式の保護者、両親を使って、私たちに教え、神と共にある私

たちの永遠の尊厳と運命に気づかせてくれます。シメオンとアンナは二人ともマリアを心と神殿の「家」に迎え入れ、この日、二人はそれぞれ予期せぬ形で神と出会いました。二人とも何年もそれを待たなければなりません。待つ時間が長ければ長いほど、実現の喜びは増します。二人とも聖ヨセフが受けた祝福を受けました。アンナの行動は、井戸のそばで主に水を飲ませたサマリア人の女性を思い出させます。(ヨハネによる福音書 4:4-42) 彼女たちのカリスマは、生活の中で神の祝福の福音を広めることに重点を置いた社会的な会話でした。彼女たちはイエスを心に受け入れ、すぐに出会った人全員にそれを伝えました。これにより多くの人々が改宗し、他の人々もキリストに従うようになりました。これらの女性たちは、聖エリザベスに福音を伝えたマリアを真似しているのです。これは、歴史を通じて何十億ものクリスチャン女性実践してきた、福音の福音を家族、地域社会、教会に伝えるという世界的な福音伝道の伝統の始まりです。

祖父母が孫の母親に見出すことができる自然な傾向は、生まれたばかりの子供について世間に伝え、みんなに自慢したいという願望です。彼らは心から、みんなが自分と同じように自分の子供を愛してくれることを望んでいます。彼らは生まれながらの伝道者です。これはまさにマリアが赤ん坊のイエスに望んだことなのです。しかし、聖ヨセフは天使から、自分の子供を殺そうとする者たちがいると警告されていたので、特にエジプトで隠れて暮らしていたときには、マリアの熱意と慎重さのバランスをとったはず。この子が本当は誰なのかについては、彼が口を閉ざしていたと結論付けるのは妥当です。**聖ヨセフよ、私たちの家族を守ってください！**

奉獻の原則: マリアとヨセフが神殿でイエスを奉獻したのに倣い、自分自身と家族を完全に神に奉獻してください。シメオンとアンナはマリアを受け入れ、主と聖霊を受け入れました。聖霊がシメオンをその出会いに導いたことは明らかです。「彼は御霊に感じて神殿に入った」。アンナも同様です。「ちょうどそのとき、彼女は進み出て神に感謝をささげ、エルサレムの救いを待ち望んでいるすべての人々にその幼子のことを語った。」二人とも主を待ち望んでいました。二人ともその偶然の出会いに導かれました。二人ともイエス様と会い、聖霊を経験しました。二人とも、自分たちの長い待ち時間がついに喜びのうちに終わったという良い知らせを広めました。「主に望みをおく人は新たな力を得驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れぬ。」(イザヤ書 40:31)

聖徒の証人:

1. **聖ベルナデッタ(1844-1879)**「おお、母よ、私にそうなるように！私に命が与えられるように！私に苦しみを与えられるように！おお、母よ、私があなたの汚れなき御心と結ばれている限り、死さえも私に与えられる

ように！」(3)

2. **聖ヨハネ・パウロ2世(1920-2005)**「喜びの神秘におけるベツレヘムの幼子の神秘を観想するとき、生命を歓迎し、守り、促進し、世界中の苦しむ子どもたちの重荷を担いたいという願いを感じずに、どうして人がいられるでしょうか？」(22)
3. **聖マクシミリアン・コルベ(1894-1941)**「私はこのロザリオの祈りを、あたかもこれが私の人生最後の祈りであるかのように、慎み深く、注意深く、そして献身的に唱えたいと願っています。」(12)

美德のハイライト: 100 マイルの距離にもかかわらず、この清めの伝統に従うには、大きな信仰と誠実さが必要でした。私たちは家族を神に捧げなければなりません。

今週の戒律: 第二の戒律 「あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。みだりにその名を唱える者を主は罰せずにはおかれぬ。」(申命記 5:11) 第二の戒律は、神の名の濫用、すなわち神、イエス・キリスト、聖母マリア、そしてすべての聖人の名を不適切に使用することを禁じています。(6、#2146) 神の名を話したり書いたりするときは、常に謙虚さと愛と敬意を持って行わなければなりません。

スポンサーや親と信仰を共有する: 他の人が神の名をみだりに唱えているのをどれくらいの頻度で耳にしますか? あなたは神の名をみだりに唱えることがどれくらいありますか? この戒めに従うために聖ヨセフに助けを求めてください。私たちは裁きの責任を問われることになるからです。

課題: この章と一緒に読み、今後 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒に毎日少なくとも 10 回は声に出して祈りましょう。毎日のロザリオを、あなたからの積極的な犠牲的な贈り物としてマリアに捧げてください。マリアはそれを愛しており、あなたを祝福します。朝の捧げ物を祈りましょう。

5つの喜びの神秘のための 毎日の奉獻の祈り

朝の捧げ物

ああイエスよ、聖母マリアの汚れなき御心を通して、
あなたの聖心のすべての意向のため、
世界中でのミサの聖なる犠牲と一体となって、
私の罪の償いとして、私のすべての親戚と友人の意向のため、
そして特に教皇の意向のために、
今日の私の祈り、働き、喜び、苦しみをあなたに捧げます。
アーメン。(44) 聖母マリアよ、私の信仰を守ってください!

5週目

神殿でイエスを見つける

御霊の果实:喜び(10)

聖書: さて、両親は過越祭には毎年エルサレムへ旅をした。イエスが十二歳になったときも、両親は祭りの慣習に従って都に上った。祭りの期間が終わって帰路についたとき、少年イエスはエルサレムに残っておられたが、両親はそれに気づかなかった。イエスが道連れの中にいるものと思い、一日分の道のりを行ってしまい、それから、親類や知人の間を捜し回ったが、見つからなかった。捜しながらエルサレムに引き返した。三日の後、イエスが神殿の境内で学者たちの真ん中に座り、話を聞いたり質問したりしておられるのを見つけた。聞いている人は皆、イエスの賢い受け答えに驚いていた。両親はイエスを見て驚き、母が言った。「なぜこんなことをしてくれたのです。御覧なさい。お父さんもわたしも心配して捜していたのです。」すると、イエスは言われた。「どうしてわたしを捜したのですか。わたしが自分の父の家にいるのは当たり前だということを、知らなかったのですか。」しかし、両親にはイエスの言葉の意味が分からなかった。それから、イエスは一緒に下って行き、ナザレに帰り、両親に仕えてお暮らしになった。母はこれらのことをすべて心に納めていた。イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人ともに愛された。(ルカによる福音書2:41-52)

反省: イエスの存在を失ったとき、私たちはイエスを見つけるまで探し、どこでイエスを見失ったかを見つけるために、自分の足跡をたどって戻るべきです。イエスは私たちを家まで連れて行ってほしいのであって、神殿に残して置いてほしいのではありません。「イエスは彼らと一緒にナザレに戻り、背丈も知恵もさらに成長していった」。エマヌエル、神は私たちと共におられます。聖書にはこうあります。「両親はイエスを見て驚いた」。両親は驚くほど新しい方法でイエス様を見たと思いますか？

イエスは聖霊の啓示を受けて、神殿に3日間とどまるよう命じられ、それに従いました。イエスは、ユダヤ教の書記官や司祭として働くよう召命を受けた若者たちが家を出て神殿に住み、宗教指導者のもとで学ぶ年齢でした。イエスは祭司階級に入るには貧しすぎたかもしれませんが、イエスの質問と答えに対する教師たちの驚きから判断すると、イエスが十分に賢明であったことは明らかでした。

イエスは教師たちに、自分がふさわしいかどうか試されていたのです。祭司長たちは驚くほど新しい方法で神と会っていましたが、彼らはそれに気づかなかつたため、神との面会の時を逃してしまいました。彼らは永遠にそのことを後悔するでしょう。目を覚ましていなさい。

父なる神には別の計画がありました。イエスは神殿ではなく、マリアとヨセフとともに家に帰り、自分の家で暮らすことを選ばれました。神を求める人々が神を見つけるために山を登ったり、キャラバンで何日も旅したりする必要はもうありません。神は私たちとともにおられます。イスラエル人やモーセとともにテントで暮らしたように、私たちの家や心の中にもおられます。神は神の民とともに、そして私たちの心の中に住みたいと願っておられます。

神はまた、マリアがイエスと共に人生の巡礼の道を歩み、イエスに精神的な支えを与え、イエスと若いキリスト教共同体の弟子全員に母親のような助けとなることを望みました。こうして、イエスがマリアと別れ、彼女抜きで神殿学校で生活するのはなく、マリアとイエスは共にこの救いの使命を果たすことになったのです。イエスのいないこの3日間は、イエスの将来の死と復活を予告するしるしです。イエスの母親は、自分がとてもよく知っていた息子を失った後、予期せぬ形で神を再発見しました。神は彼女と一緒に家に帰り、家庭教会で暮らすことを選ばれました。私たちは自分の家庭の中で聖家族に倣わなければなりません。

マリアにとって新しい章、新しい旅が始まります。神は聖霊としてマリアと共にあり、マリアの内にはいます。マリアはまもなくヨセフを失い、これまで以上にイエスを必要とするでしょう。聖ヨセフについては、これが福音書で語られる最後の出来事ですが、彼の「秘密のマリアの祝福」は永遠に生き続けます。聖ヨセフとマリアは、イエスが聖職に就くのに十分な年齢になるまで、イエスの正体を秘密にしておかなければなりません。ヘロデ王は幼少のイエスを殺そうとしましたが、その息子たちがまだ権力を握っていたことを思い出してください！

少年イエスは、マリアの奉獻の重要な原則を学んでいます。マリアはイエスと共に歩み、イエスの生涯の旅路の親密な一部になりたいと願っています。同じことが私たちに当てるはまります。私たちの母は、私たちといつまでもお付き合いを続けてくれるのでしょうか。同様に、天の母も私たちといつまでもお付き合いを続けてくれるのです。「**今後、わたしはこの神殿を選んで聖別し、そこにわたしの名をいつまでもとどめる。**」(歴代誌下 7:16)

奉獻の原則: 母親は私たちと共にいるのです! マリアとイエスは常に心の中で一つです。ですから、私たちがマリアと心をつなぐれば、自動的にイエスと一つになります。エマニュエル、神は私たちと共におられます!(23)

聖人の証人:

1. **聖トマス・アクィナス(1225-1274)**「聖母マリアはキリストに最も近い存在でした。なぜなら、キリストは彼女から人間性を授かったからです。したがって、彼女は他の誰よりもキリストから豊かな恵みを受けたに違いありません。」(3)
2. **聖ヨハネ・パウロ2世(1920-2005)**「祈りは犠牲と結びついて、人類史上最も強力な力となる。」(5)
3. **聖ヨセフ・マリア・エスクリバ(1902-1975)**「その一連の主禱文とアヴェ・マリアを唱える前に、数秒、3、4秒沈黙して瞑想し、ロザリオのそれぞれの神秘について考えてみましょう。この習慣により、記憶力が高まり、祈りの成果が増すと確信しています。」(12)

美德のハイライト: イエスが父に従うことは、両親の恐れよりも優先されます。特にイエスの年齢では、これには信頼と勇気が必要でした。イエスが成長するにつれ、両親は謙虚に洗礼者ヨハネの言葉を預言しなければなりません。「**あの方は栄え、わたしは衰えねばならない。**」(ヨハネによる福音書1:29)

今週の戒律: 第三の戒律

「安息日を守ってこれを聖別せよ。あなたの神、主が命じられたとおりに。六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。」(申命記 5:12-14)

聖トマス・アクィナスは、日曜日に何をすべきか、何を避けるべきかについて考えてほしいと言っています。私たちにできることは、ミサの犠牲を祝い、神の言葉に耳を傾け、恵まれない人たちのために慈悲の業を行うことです。(13) 卑屈な肉体労働を避け、日曜日に不必要な買い物をして他の人に働かせないようにすべきです。不必要ということは、別の日に待つことができるということです。(6, #2187-8)

スポンサーや親と信仰を共有する: 毎週末ミサに忠実に出席していますか? 学校や仕事のために家を出る時も、忠実に出席し続けますか? マリアに頼めば、マリアが助けてくれます。

課題: ロザリオは祈りであるだけでなく、犠牲でもあり、聖書、つまり神の言葉に基づいているため、力強いものです。マリア様が私たちと一緒に祈ってくださいます。この章と一緒に読み、今後 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒に毎日少なくとも 1 回、声に出して祈りましょう。朝の献金を祈ります。

5つの喜びの神秘のための

毎日の奉獻の祈り

朝の捧げ物

ああイエスよ、聖母マリアの汚れなき御心を通して、あなたの聖心のすべての意向のため、世界中でのミサの聖なる犠牲と一体となって、私の罪の償いとして、私のすべての親戚と友人の意向のため、そして特に教皇の意向のために、今日の私の祈り、働き、喜び、苦しみをあなたに捧げます。アーメン。(44) 聖母マリアよ、私の信仰を守ってください!

第二の誓約

聖母マリア様、私、_____は、今後 5 週間、スポンサーや家族とともに、各レッスンを忠実に学び、毎日少なくとも 10 回、聖なるロザリオの祈りを声に出して唱えることを誓います。

母よ、あなたが私を愛したように、私にあなたを愛する方法を教えてください。あなたの助けを借りて、神の聖なる意志に従って神と隣人を愛する方法を学びたいと願っています。父と子と聖霊の御名によって祈ります。アーメン。

候補者による署名と日付: _____
スポンサー署名 _____

ノート:

6週目

イエスの洗礼

聖霊の実：聖霊への開放（10）

聖書：イエス・キリスト(神の子)の福音の始まり。

洗礼者ヨハネの説教。預言者イザヤ書にこう記されている。：

「見よ、わたしは使者を送る。彼はわが前に道を備える。」

呼びかける声がある。主のために、荒れ野に道を備え

わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。」

洗礼者ヨハネが荒れ野に現れて、罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた。ユダヤの全地方とエルサレムの住民は皆、ヨハネのもとに来て、罪を告白し、ヨルダン川で彼から洗礼を受けた。ヨハネはらくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。彼はこう宣べ伝えた。「わたしよりも優れた方が、後から来られる。わたしは、かがんでその方の履物のひもを解く値打ちもない。わたしは水であなたたちに洗礼を授けたが、その方は聖霊で洗礼をお授けになる。(マルコによる福音書 1:1-8)

イエスの洗礼。そのころ、イエスはガリラヤのナザレから来て、ヨルダン川でヨハネから洗礼を受けられた。水の中から上がるとすぐ、天が裂けて“霊”が鳩のように御自分に降って来るのを、御覧になった。すると、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が、天から聞こえた。(マルコによる福音書 1:9-11)

洗礼者ヨハネのイエスに対する証言

その翌日、ヨハネは、自分の方へイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ。『わたしの後から一人の人が来られる。その方はわたしにまさる。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この方のことである。わたしはこの方を知らなかった。しかし、この方がイスラエルに現れるために、わたしは、水で洗礼を授けに来た。」そしてヨハネは証した。「わたしは、“霊”が鳩のように天から降って、この方の上にとどまるのを見た。わたしはこの方を知らなかった。しかし、水で洗礼を授けるためにわたしをお遣わしになった方が、『“霊”が降って、ある人にとどまるのを見たから、その人が、聖霊によって洗礼を授ける人である』とわたしに言われた。わたしはそれを見た。だから、この方こそ神の子であると証したのである。」

最初の弟子たち

その翌日、また、ヨハネは二人の弟子と一緒にいた。そして、歩いておられるイエスを見つめて、「見よ、神の小羊だ」と言った。二人の弟子はそれを聞いて、イエスに従った。(ヨハネによる福音書 1:29-37)

反省: 毎日良心を吟味するのをマリアに助けてもらいましょう。

悔い改めの重要性と、悔い改めを説く人々とその教えの驚くべき成果を理解することは不可欠です。悔い改めた心は神の慈悲と赦しの扉を開きます。洗礼では、私たちは原罪とすべての個人的な罪から清められ、聖霊が私たちに新しい命を授けてくださる準備ができます。水に潜ることは、私たちが古い生き方を自ら捨て去ることを象徴しています。呼吸するために水から上がることは、私たちが聖霊の中で新しい生き方を選ぶことを象徴しています。洗礼者ヨハネは、イエスが魂の中に入られるように奉仕する、つまり「道を備える」人の二番目に偉大な例であり、そのためイエスはヨハネを高く評価しています。「**言うておくが、およそ女から生まれた者のうち、ヨハネより偉大な者はいない。しかし、神の国で最も小さな者でも、彼よりは偉大である。**」(ルカによる福音書7:28) ヨハネは人々を故郷から砂漠へ連れ出し、断食と祈りと悔い改めを命じた。ヨルダン川の水で彼らを洗い清め、その後イエスのもとへ導いて言いました。「**あの方は栄え、わたしは衰えねばならない。**」(ヨハネによる福音書 3:30) 洗礼者ヨハネと聖母マリアはともにこの和解の働きに携わっており、私たちもそうすべきです。ヨハネはマリアがエリサベスを訪ねた時の働きを通して、胎内に聖霊に塗油されたことを思い出してください。神の王国にいる私たちは皆、魂のために「主の道を備える」よう召されています。この和解の働きはなぜそれほど重要なのでしょうか。許しはすべての魂の救済に不可欠な第一歩です

。次のことを考えてみてください。イエスが、心から罪を悔いている魂を赦すのに、どれくらいの時間がかかるのでしょうか。ほんの数秒です。では、魂が心から罪を悔い改めるのに、どれくらいの時間がかかるのでしょうか。残念ながら、一生かかることもあります。だからこそ、主は、魂に心からの悔い改めを呼びかけるために、私たち一人一人を含む牧師を必要としているのです。私たちはみな、今日から悔い改めを始めなければならず、人生の終わりまで待たなければなりません。思っているよりも早く時間がなくなるかもしれません。

ヨハネはイエスが神の子であると証言しています。では、罪のない神の子がなぜ洗礼を受ける必要があるのでしょうか。イエスはヨハネに洗礼を求めることで、私たちに模範を示しています。成人の洗礼に必要な悔い改めは、神の赦しを得るための絶対条件です。イエスの使徒たちは、宣教のために殉教したヨハネよりもさらに多くの魂に洗礼を施しました。私たちはみな洗礼を受ける必要があり、洗礼の約束を毎日実践するために良心を絶えず吟味する必要があります。聖イグナチオ・デ・ロヨラは、兄弟たちに、どんなに忙しくても毎日良心の省察を行うように教えることで、日々の悔い改めの必要性を強調しました。

就寝前にできる簡単な良心の検査を紹介します。私たちはこれを「BAR を上げる」と呼んでいます。

1. まず、B は祝福(Blessing)を意味します。マリアと聖霊とともに一日を振り返り、すべての祝福とすべての十字架に対して神に感謝します。
2. 次に、A (Ask) は尋ねることを意味します。マリアに助けを求めて過ちを特定し、イエスに許しを求めます。
3. 最後に、Rは決意(Resolve)を意味します。明日はもっと良いことをしようと決意し、良い悔悛の祈りを唱え、毎月聖餐の告解に行きます。

毎日 5 分間、この検査をきちんと行い、忠実に実行できるようマリアに助けを求めてください。この習慣により、私たちは謙虚になり、清められ、神の慈悲に完全に浸ることができます。マリアはそれを愛しておられます。

奉獻の原則: 夜寝る前に、毎日誠実に良心の省察を行いましょう。マリアに、彼女の息子が驚くほど新しい方法であなたの心に入ってくるための道を用意するのを手伝ってくれるようお願いしましょう。

聖徒の証人:

1. **聖ペテロ(1世紀)**「悔い改めて、イエス・キリストの名によって洗礼を受けなさい。そうすれば、罪の赦しが得られます。そうすれば、聖霊の賜物

を受けましょう。」(使徒行伝2:38)

2. **聖ボナヴェントウラ(1221-1274)**「私たちはマリアを通してイエスのもとに行き、イエスを通して聖霊の恵みを見いだすのです。」(3)
3. **福者アラン・ド・ラ・ロシュ(1428-1475)** マリアはこう言っています。「私のロザリオを熱心に唱えるすべての人に、私は特別な保護と非常に大きな恵みを約束します」(マリアが福者アランに与えた15のロザリオの約束の最初のもの、付録を参照)

美德のハイライト: ヨハネは砂漠での生活の中で、非常に質素で貧しい生活を送っています。これにより、彼は神はいつも与えてくださるという強い信仰を持つことができます。

今週の戒律: 第四の戒律: **「あなたの父母を敬え。あなたの神、主が命じられたとおりに。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生き、幸いを得る。」**(申命記5:16) これは祝福の約束に結びついた数少ない戒律の一つです。両親を敬うということは、幼い頃には彼らの権威を尊重し、年老いた両親を支え、さらには年老いた両親の世話をすることも含まれます。両親を敬うということは、両親を私たちに与えてくださった主を敬うということです。聖トマス・アクィナスはこう書いています。「…私たちは私たちは幼少期に両親から養いを受けるので、老後は両親を支えなければなりません。「息子よ、父の老後を支え、父の生涯を悲しませてはならない。そして父の理解力が衰えたら、忍耐しなさい…」(13)

スポンサーや親と信仰を分かち合う: あなたは毎日の良心の省察と頻繁な聖餐による和解に忠実ですか? 洗礼者ヨハネはイエスのいところでしたが、聖書の中で「私は彼を知らなかった」と2度述べています。おそらくそれは、イエスが洗礼を受けたとき、水から驚くほど新しい方法で、変容した姿で上がったからでしょう。

課題: この章と一緒に読み、今後 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒に毎日少なくとも 10 回、声に出して祈りましょう。毎朝、毎日の奉獻の祈りを繰り返しましょう。堅信式で繰り返す洗礼の誓い(導入)を復習しましょう。

5つの光の神秘のための毎日の奉獻の祈り

女王、母よ、私は自分自身をあなたに完全に捧げます。

そしてあなたへの私の忠誠を示すために、私は今日、私の目、私の耳、私の口、私の心、私の全存在を惜しみなくあなたに捧げます

私はあなたのもものなので、私の善良な母よ、あなたの所有物として私を守ってください。

アーメン。(24)

メモ:

7週目

カナでの婚宴

聖霊の実: マリアを通してイエスに (10)

聖書:「三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があって、イエスの母がそこにいた。イエスも、その弟子たちも婚礼に招かれた。ぶどう酒が足りなくなったので、母がイエスに、「ぶどう酒がなくなりました」と言った。イエスは母に言われた。「婦人よ、わたしとどんなかかわりがあるのです。わたしの時はまだ来ていません。」しかし、母は召し使いたちに、「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」と言った。そこには、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが六つ置いてあった。いずれも二ないし三メトレテス入りのものである。イエスが、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言われると、召し使いたちは、かめの縁まで水を満たした。イエスは、「さあ、それをくんで宴会の世話役のところへ持って行きなさい」と言われた。召し使いたちは運んで行った。世話役はぶどう酒に変わった水の味見をした。このぶどう酒がどこから来たのか、水をくんだ召し使いたちは知っていたが、世話役は知らなかったので、花婿を呼んで、言った。「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、酔いがまわったところに劣ったものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取って置かれました。」イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行って、その栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。(ヨハネの福音書 2:1-11)

考察: 愛の行為に積極的に取り組めば、神はあなたを支えてくれます。神は、特に結婚を認めるときの、寛大さはほかに勝るものがないほどです。序文で、結婚と家族が、救いに必要な 2 つの偉大な戒めを学ぶ鍵となることを話したことを思い出してください。

これはイエスの最初の公の奇跡です。そのため、この聖句を注意深く調べて、そこに隠された霊的な秘密を学ぶ必要があります。隣人が困っているのを見たら、どのように助けるでしょうか。まず、マリアのように神に助けを求めます。次に、神がタイミングよくどのように対応すべきかを教えてくださることを信頼しなければなりません。それには、待つことが必要になる場合がよくあります。この物語の主要人物について研究すると、彼ら全員が主を待っていることがわかります。マリアは息子である主が行動してくださるのを待っています。マリアは主が行動してくださることを信じており、給仕たちにも主を信頼するように言っています。「主がおっしゃることは何でも従いなさい。」召使いたちはマリアの指示に従って主を待っています。さらに、イエス自身も聖書の中で語っているように父を待っています。：**「はっきり言っておく。子は、父のなさることを見なければ、自分からは何事もできない。父がなさることはなんでも、子もそのとおりにする。」**（ヨハネによる福音書 5:19）主を待つことはなぜ奇跡にとってそれほど重要なのでしょうか？待つことは信頼することであり、それが私たちの人生で神の奇跡を見るために最も必要な美德だからです。イエスは聖マリア・ファウスティナに何度も祈るように言いました。「イエス様、私はあなたを信頼します。」

しばらく待った後（結婚披露宴は1週間続くこともありましたが）、父とイエスによる行動が起こります。私たちが物語の続きを知っている通りです。文字通り、何ガロンもの新しいワインです！新婚夫婦はマリアを家と心に招き入れ、聖ヨセフと同じように、驚くべき新しい方法で神を目にしました。この出来事で、私たちはイエスとマリアの**一体となった心の力**も見ることができます。二人の心は一つになっています。信頼の美德を育むために助けが必要なときは、マリアとイエスに助けを求めてください。そうすれば、あなたの心は二人の心と一つになります。二人の心には、たくさんの霊的な力が宿っているのです。（23）

この最初の奇跡に給仕人や召使が関わっていたことは重要です。受胎告知の際、マリアは大天使ガブリエルに「私は主のはしためです」と給仕の言葉で答えました。はしためは主の手を見つめ（給仕し）、主が必要としている合図をしたときだけ応じるように訓練されています。なぜマリアはイエスが気づく前に必要に気付いたのでしょくか。父なる神は、この喜ばしい結婚の行事を、二人とイエスが弟子たち全員の前で公の宣教を始める際の祝宴という二重の祝典にしたいと望んでおられるのかもしれませんが。結婚式で母親と父親が息子を花嫁に渡すのと同じように、聖母マリアと父なる神はここでまったく同じことをしています。キリストの花嫁である教会に息子を渡すのです。ですから、これはイエスの祝典でもあり、イエスは母親と父親に驚かされたのかもしれませんが。また、この行事で、父なる神が聖母マリアに宣教と教会のために息子を犠牲に

することをイエスと認めるチャンスをもう一度与えているのもわかります。この日、マリアは十字架につながることを知りながら、息子を召命に捧げるのです。

奉獻の原則: 私たちがマリアに必要なを伝えると、マリアは必ずそれをイエスに伝えます。なぜなら、二人の心は一つだからです。聖人たちはこの原則を「マリアを通してイエスに」と呼びました。私たちは毎朝の朝の祈りでこれを祈ります。マリアを通してイエスに自分自身を奉獻する精神的な力は、イエスとマリアの一致した心から直接流れ出ます。彼らの一つになった心の完全性と力は、いくつかの源から生まれています。第一に、母親と、母親が9か月間胸に抱き、30年間育てた子供との間の愛の自然な完全性から生まれます。第二に、それは罪のない聖母マリアの汚れなき御心と、神ご自身であるイエスの聖心との間の愛の完全性から生まれます。最後に、それは「わたしの名において二人以上集まるところに、わたしもいる」と約束したイエスの言葉から生まれます。(マタイによる福音書 18:20)したがって、あなたがマリアと心を合わせると、イエスも加わって3人になります。エマニュエル、神は彼女とともに、彼女の中におられます。

聖徒の証人:

1. **聖ベルナデイン(1380-1444)**「マリアのこの世での唯一の目的は、神の意志を知るために、常に神に目を向け続けることでした。そして、神が何を望んでいるのかが分かったとき、彼女はそれを実行しました。」(3)
2. **聖ルイ・グリニョン・ド・モンフォール(1673-1716)**「私たちは、マリアを通して、マリアと共に、マリアの中で、すべての行いを成し遂げなければなりません。そのようにして、私たちはまた、イエスを通して、イエスと共に、イエスの中で、すべての行いを成し遂げるのです。」(3)
3. **カルカッタの聖マザー・テレサ(1910-1997)**「私たちは、愛と献身をもってロザリオの祈りを捧げ、マリアの謙虚さ、優しさ、他者への思いやりを広めることで、マリアを敬います。」(12)

美德のハイライト: マリア、召使たち、そしてイエスは皆、この困難な時期に神の意志を待つために必要な忍耐を示しています。神は常に私たちが待たせ、それにより私たちの信仰と信頼を強めます。私たちが求めるものすべてを神が即座に与えてくれたら、私たちは傲慢になり、救いを失うでしょう。神は私たちがあまりにも愛しているので、そのような行動を許すことはできません。そのため、常に私たちが待たせ、信頼させます。その上、神はサプライズが大好きなのです!!!

今週の戒律: 第五の戒律:「殺してはならない。」(出エジプト記 20:13) 神は人間に命を与え、誰もそれを奪うことはできません。この戒律は自殺、中絶、安楽死も禁じています。私たちのカテキズムは、「…いかなる状況下でも、誰も無実の人間を直接殺す権利を主張することはできない」と教えています。(6, #2258) 私たちの主はまた、殺人としばしば結び付けられる怒りについても非難しています。「**あなたがたも聞いているとおり、昔の人は『殺すな。人を殺した者は裁きを受ける』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。兄弟に腹を立てる者はだれでも裁きを受ける。兄弟に『ばか』と言う者は、最高法院に引き渡され、『愚か者』と言う者は、火の地獄に投げ込まれる。だから、あなたが祭壇に供え物を献げようとし、兄弟が自分に反感を持っているのをそこで思い出したなら、その供え物を祭壇の前に置き、まず行って兄弟と仲直りをし、それから帰って来て、供え物を献げなさい。**」(マタイによる福音書 5:21-24)

スポンサーや親と信仰を分かち合う: サプライズギフトやサプライズパーティーを受け取ったときの驚きを分かち合います。カナの結婚式で、神は結婚の召命と独身の奉獻修道生活の召命の両方をどのように認めたのでしょうか。

課題: 次の 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒にこの章と一緒に読み、毎日少なくとも 10 回祈りましょう。毎日のロザリオを、あなたからの積極的な犠牲的な贈り物としてマリアに捧げましょう。マリアはそれを愛しており、あなたを祝福してくれます。毎朝、毎日の奉獻の祈りを繰り返しましょう。

5つの光の神秘のための毎日の奉獻の祈り

女王、母よ、私は自分自身を
あなたに完全に捧げます。

そしてあなたへの私の忠誠を示すために、
私は今日、私の目、私の耳、私の口、私の心、
私の全存在を惜しみなくあなたに捧げます。

私はあなたのものであるので、
私の善良な母よ、
あなたの所有物として私を守ってください。
アーメン。(24)

8週目

王国の宣言

聖霊の実:悔い改めと神への信頼(10)

聖書: そのときから、イエスは、「悔い改めよ。天の国は近づいた」と言って、宣べ伝え始められた。(マタイの福音書4:17)

諸国民の審判

「人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光の座に着く。そして、すべての国の民がその前に集められると、羊飼いが羊と山羊を分けるように、彼らをより分け、羊を右に、山羊を左に置く。そこで、王は右側にいる人たちに言う。『さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい。お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。』すると、正しい人たちが王に答える。『主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物差し上げ、のどが渴いておられるのを見て飲み物を差し上げたのでしょうか。いつ、旅をしておられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたのでしょうか。いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたのでしょうか。』そこで、王は答える。『はっきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』

それから、王は左側にいる人たちにも言う。『呪われた者ども、わたしから離れ去り、悪魔とその手下のために用意してある永遠の火に入れ。お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせず、のどが渴いたときに飲ませず、旅をしていたときに宿を貸さず、裸のときに着せず、病気のとき、牢にいたときに、訪ねてくれなかったからだ。』すると、彼らも答える。『主よ、いつわたしたちは、あなたが飢えたり、渴いたり、旅をしたり、裸であったり、病気があったり、牢におられたりするのを見て、お世話をしなかったのでしょうか。』そこで、王は答える。『はっきり言うておく。この最も小さい者の一人にしなかったのは、わたしにしてくれなかったことなのである。』こうして、この者どもは永遠の罰を受け、正しい人たちは永遠の命にあずかるのである。」(マタイによる福音書 25:31-46)

反省: 王国を求め、そして神の王国が私たちの中にあることを宣言してください。なぜなら、王と女王は私たちの中にいて、心が一つになっているからです。

王国とは何でしょうか。それは生命力にあふれた城壁で囲まれた都市であり、魂は神を何よりも愛し、隣人を自分自身のように愛し、あらゆる敵から守られます。そこには心をついにした王と女王がいて、慈悲と正義をもって統治します。それは終わることのない永遠の平和の楽園です。この地上の神の王国は、イエスが私たち一人一人のために天国に建てると約束した部屋の前兆です。(歴代誌上 17:10、ヨハネによる福音書14:2)

神の国を宣べ伝える前に、まず自分たちの中に「神の国」を見なければなりません。神の国を見るには、それを「求め」なければなりません。つまり、あらゆる瞬間に探し求めなければなりません。神の国を見ることを期待し、信仰をもって見れば、あなたの人生に多くの天の「偶然」や小さな奇跡が起きるのを見始めるでしょう。これらを見たら、他の人に伝えてください。他の人が自分の人生で神の国を求めるよう奨励することで、神に栄光をささげてください。絶えず神を賛美してください。

イエスは、短い言葉で、神の国を宣べ伝える方法を説明しました。**「悔い改めて福音を信じなさい。」**(マルコによる福音書1:15)まず、この神の国が現実のものであることを信じる必要があります。そして、その門の中での生活を体験しながら、喜びをもってそのすべてを世界に伝えます。マリアに身を捧げるとき、私たちはマリアの心と心を結びます。こうして「二つの心」が一つになり、私たちの心と神の心が結びつきます。マリアは、悔い改めて信仰の旅を前進させ、私たちの中に神の国を体験する方法を教えてください。

どのようにして王国を宣べ伝えるのでしょうか。イエスは弟子たちを二人ずつ遣わしました。他の人と一緒に王国を宣べ伝えることは、一人で言うよりもずっと簡単です。先ほど話した女性たちを思い出してください。神殿の女預言者アンナと、井戸でイエスに水を飲ませたサマリア人の女性です。聖書には、二人ともイエスについて聞く人すべてに語ったと書かれています。これはまた、マグダラのマリアが墓で復活の主イエスに出会った後にしたことであり、パンを割く際に復活の主イエスに出会った後にエマオへ歩いていた二人がしたことでもあります。これが、私たちが天国を宣べ伝える方法です。まず、神を経験し、次に喜びをもって神を宣べ伝えます。絶えず神を賛美してください。天国に入るには、神の言葉に従って行動しなければなりません。

上記の諸国民の裁きの聖書(マタイによる福音書 25:31-46)で、イエスは母とすべての母親、祖母が子供たちに対して示す尽きることのない慈悲の行為を称えています。毎日、このようなことをするのは誰でしょうか。飢え渴いた人に食べ物や飲み物を与えるのは誰でしょうか。見知らぬ人、特に突然見知らぬ人々の新しい世界に放り込まれた新生児を歓迎するのは誰でしょうか。裸の人に服を着せ、病人を看護し、刑務所にいる人を訪問するのは誰でしょうか？ 母親です！ 刑務所を訪れたことがあるなら、息子、孫、夫、父親に会いに待合室に並んでいる母親、祖母、妻、小さな子供たちを目にするでしょう。母親がすることと同じことをする人、または母親がこうした慈悲深い行為を行えるよう手助けする人は天国に迎え入れられるとイエスは言っています。これはまた、特に病院、老人ホーム、学校、教会、多世帯家庭にいるすべての介護者への賛辞でもあります。

この聖書の中でイエスが、母親が日々行うことをするという具体的な言葉ですべての人々に語っていることにお気づきですか。イエスはすべての人の最後の審判と救済について語っていますが、母親が日々行っていることを指摘しています。これは、母親を使ってすべての魂を訓練し、戒律を守り永遠の命に入るようにするという神の計画を再び示しています。これが、律法と預言者のすべてを要約した2つの偉大な戒律が母親の心、特に聖母の汚れなき御心に書かれている理由です。これが、サタンが全力で母性と子供を標的にしている理由です。(ヨハネの黙示録 12:4)

奉獻の原則: マリアの心は「罪人たちの避難所」です。天国への道中、私たちは入り口、玄関ホールを通ります。聖人たちはこれをマリアの心、慈悲の避難所と呼んでいます。旧約聖書における「避難所」とは、殺人などの重罪を犯した人々が逃げ込み、その罪に対する報復として殺されることから法的に保護される町のことでした。マリアの心は罪人たちの避難所です。そこでは、習慣的な大罪に囚われた人々が、罪が常にもたらす束縛から解放される方法を学ぶための平安と支援を得ることができます。これは、多くの時間と努力、断食、祈り、特にロザリオ、そして頻繁な聖餐による和解を必要とするプロセスです。魂が聖母マリアに頼ると、安全な場所、つまり家と慈悲の心に迎え入れられます。聖母マリアは私たちに愛と慈悲の心を注ぎ、すべての母親が子供にするように、私たちにも聖母マリアを愛するように教えてくれます。この愛の交換により、イエスの神の愛と慈悲が私たちの心にあふれます。「二人または三人が私の名によって集まるところに、私もそこにいる」(マタイによる福音書 18:20) マリアは全人類にとっての精神的な避難所です。「罪人たちの避難所であるマリアよ、私たちのためにお祈りください」(ロレートの連祷、1587年)

聖徒の証人:

1. **聖アウグスティヌス(354-430)**「マリアを通して、惨めな者は慈悲を得、無慈悲な者は恩恵を得、罪人は赦しを得ます。弱者は力を得、地上の者は天上のものを手に入れ、死すべき者は命を勝ち取り、巡礼者は祖国を見つけるのです！」(3)
2. **パドヴァの聖アントニオ(1195-1231)**「今や主は、故意に悪事を働く者のためにも、慈悲の避難所、マリアを設けられました。マリアは罪人に避難所と力を与えてくださいます。」(3)
3. **シエナの聖カタリナ(1347-1380)**「慈悲の母である愛するマリアに頼りなさい。マリアはあなたを御子の御前に連れ出し、あなたのために母としての執り成しをし、御子があなたに慈悲深くなるようにして下さるでしょう。」(3)

美德のハイライト: 純潔、柔和、謙虚さ、忍耐は、母親が幼い子供たちに仕えるのと同じようにイエスに仕えるときに求められる美德です。

今週の戒め: これは、元の十戒にはなかった、イエスの新しい戒めです。「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」(ヨハネによる福音書 13:34) カテキズムによれば、この新しい戒律は他の戒律すべてを要約し、神の意志を表現している。(6, #2822) これは、すべての母親や祖母の心から来るものでもあります。言い換えれば、彼女たちはイエスの新しい戒めを家族全員に真摯に伝えることができるのです。ここでも、戒めはすべて母親、特に聖母マリアの心に集約されていることがわかります。

スポンサーや親と信仰を分かち合う: 罪がどのように魂を束縛するかを分かち合います。世界ではどこでこれが起こっているのでしょうか？

課題: 次の 7 日間、毎日、スポンサーまたは家族と一緒にこの章を一緒に読み、少なくとも10 連の祈りを声に出して行ってください。毎日のロザリオを、あなたからの積極的な犠牲的な贈り物としてマリアに捧げてください。マリアはそれを愛しており、あなたを祝福してくださいます。毎朝、毎日の奉獻の祈りを繰り返してください。121 ページの「至福の教え」を読んでください。

**五つの光の神秘のための毎日の奉獻の
祈り**

**女王よ、母よ、私は自分自身をあなたに
完全に捧げます。**

**そしてあなたへの私の献身を示すため
に、私は今日、私の目、私の耳、私の口
、私の心、私の全存在を惜しみなくあなた
に捧げます。**

**私はあなたのもので、私の善良な母
よ、あなたの所有物として私を守ってくだ
さい。**

アーメン。(24)

第9週目

変容

聖霊の実：聖さへの欲求（10）

聖書：イエスの変容：六日の後、イエスは、ペトロ、それにヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。イエスの姿が彼らの目の前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。見ると、モーセとエリヤが現れ、イエスと語り合っていた。ペトロが口をはさんでイエスに言った。「主よ、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。お望みでしたら、わたしがここに仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」ペトロがこう話しているうちに、光り輝く雲が彼らを覆った。すると、「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに聞け」という声が雲の中から聞こえた。弟子たちはこれを聞いてひれ伏し、非常に恐れた。イエスは近づき、彼らに手を触れて言われた。「起きなさい。恐れることはない。」彼らが顔を上げて見ると、イエスのほかにはだれもいなかった。一同が山を下りるとき、イエスは、「人の子が死者の中から復活するまで、今見たことをだれにも話してはならない」と弟子たちに命じられた。（マタイによる福音書17:1-9）

反省：イエスが神が彼が言う人であることを信じて信頼してください。神の神の息子であり、2人の偉大な預言者、モーセとエリヤよりもはるかに重要です。

変容の奇跡は、イエスが彼の情熱と死に直面する前にイエスを強化するために起こり、3人の主要な使徒たちが本当に神の子であることを保証しました。イエスは言葉と行為を通して彼らに自分自身を明らかにしました。彼らは彼に続き、彼と一緒に住んでいて、彼は彼らの真ん中で兆候と不思議を働かせました - さえ、死者を育てました。彼らは彼と密接な個人的な関係を持っていました。しかし、それだけでは十分ではありませんでした。彼らはまだ彼をほとんど信じていませんでした。したがって、イエスが十字架上の彼の最後の犠牲に近づいたとき、彼は彼らを山に連れて行き、彼への信仰を強化しました。彼の天の父はモーセとエリヤと一緒に彼らに現れ、イエスが彼の神の息子であり、彼が喜んでいて、彼らが彼に耳を傾けるべきであることを明らかにしました。3人の主要な使徒たちが持っていたこの「山頂」の精神的な経験のように、クリスチャンとして私たちは自分の家の平和と安全の中で神を体験することができます。この同じ三使徒は、聖木曜日の聖餐のパンとワイン、復活祭の朝の復活した

主、ペンテコステの日曜日の聖霊など、驚くほど新しい方法で再び神に出会いました。これらの後の出来事は、山頂や教会や寺院ではなく、エルサレムの家の二階の部屋で起こりました。神は常に私たちと共におられるので、私たちは家で神を体験することができます。「インマヌエル」。

主を畏れること。これは聖霊の堅信の賜物 7 つのうちの 1 つであり、非常に重要です。主の恐怖は、7つの贈り物のリストで2回言及されており、それは主の喜びであると言われています。(イザヤ書11:1-3) また、混乱を招く可能性があります。

若い男性と女性はどのようにして成熟したキリスト教徒に成長する動機を得るのでしょうか。この旅は、外的な動機、内的な動機、そしてイエスとマリアの一致した心との祈りによる一致を組み合わせる歩まなければなりません。キリスト教徒としての成熟は生涯にわたって成長すべきですが、多くの方が神聖さにおいて進歩せず、イエスとマリアとの親密な個人的な関係を逃しています。

永遠に天国に行けない人もいます。これは人生のとんでもない無駄遣いです。私たちは子供の頃、成熟への道は結果への恐れとして他人(両親など)からの動機付けから始まり、神と隣人を愛したいという真の願望に成熟することを学びました。イエスが間もなく彼らから引き離される前に、イエスの3人の主要使徒は教会をうまく導くために成熟する必要がありました。そこで、この出来事を通して、父なる神とその子イエスは山頂での「通過儀礼」を通してこの3人を導きました。まず、彼らは雲の形で父なる神の声を体験し、死ぬほど怖がりません。

それから、彼らはイエスによって慰められ、彼らは彼らに「立ち上がり、恐れなくて」と言います。だから、どちらが必要なのか、恐れているか、恐れることではないのでしょうか？彼らは驚くほど新しい方法でイエスに会います。太陽のように輝く変換された形。彼らはまた、神の神を驚くほど新しい方法で聞きます：神秘的な雲の中で。彼らは聖なる恐怖に動機付けられてから聖なる愛に動機付けられるようになりました。主の恐怖のこの重要な(しかし、多くの誤解された)贈り物をどのようにしてよりよく理解できるのでしょうか？確かに、それは神聖な聖書で300回以上賞賛されています。(ルカによる福音書 1:39-56)

謙虚な停留所のサインを考えてください。自動車の運転手に、ストップサインを恐れているかどうか尋ねた場合、皆が「いいえ」と言うでしょう！ただし、単にストップサインを無視することを恐れているかどうかを尋ねた場合、すべてが「はい」と言うでしょう！私たちは、ニュースでしばしば見たり聞いたりする結果、悲劇的な結果への恐怖から停止兆候に従います。しかし、私たちが法律の贈り主を愛しているので法律を愛しているなら、私たちは恐怖ではなく、愛から兆候を止めることに従うでしょう。私たちは、私たち自身の利益のためにストップサインがあることを信頼します。したがって、私たちは彼らに感謝しています。結局のところ、彼らは毎日数十億の事故を節約します！あらゆるストップサインを介して運転することがどれほど恐ろしいのか想像してみてください。ここに重要なポイントがあります。ストップサインに従う人はそれらを恐れていません！同様に、神の戒めに従う人々は神を恐れていません。未熟さとキリスト教の成熟の違いは、私たちが自分自身を上回る神と隣人に対する私たちが持っている積極的な愛の程度です。「愛には恐れがない。」(ヨハネの手紙一 4:18)と聖書には書かれています。これは私たちのキリスト教の通過儀礼であり、人生の自由と目的を与えてくれます。使徒たちに恐れないように言うイエスは、彼が常に父に従順であるという理由で、自分自身を恐れていません。同様に、メアリーは神に完全に従順だったので、大天使ガブリエルを恐れていませんでした。

奉獻の原則: 彼が言うことは何でも行いなさい。神の命令「彼に聞き従いなさい」とカナでのマリアの教え「彼が言うことは何でも行いなさい」は似ています。これはイエスの両親からの素晴らしい聖書の知恵です。神の子であるイエスに従い従うなら、私たちは神を恐れるのではなく、罪の結果を恐れるでしょう。「あなたがたは、わたしを愛しているならば、わたしの掟を守る。わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてください。」(ヨハネによる福音書 14:15-16)この「弁護者」は、あなたがあなたの確認の日に新鮮な注ぎを得る聖霊です。

聖徒の証人:

1. **聖母マリア** そこで、マリアは言った。「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人もわたしを幸いな者と言うでしょう、力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。その御名は尊く、その憐れみは代々に限りなく、主を畏れる者に及びます。」(ルカによる福音書 1:46-50)
2. **聖マクシミリアン・コルベ(1894-1941)**「私たちの賜物は無原罪懐胎において汚れのないものとなります。イエス・キリストにおいて、それらは神聖で無限であり、父なる神の威厳にふさわしいものとなります。イエスは父なる神への唯一の仲介者であり、無原罪懐胎であり、イエスへの唯一の仲介者です。」(20、16ページ)
3. **聖ルイ・グリニオン・ド・モンフォール(1673-1716)**「聖ロザリオは、主の祈りと天使挨拶、すなわち主祷文とアヴェ・マリアから主に、また本質的に構成されているため、疑いなく信者の最初の祈りであり、最初の信心であり、使徒や弟子たちの時代から現在に至るまで、何世紀にもわたって使用されてきました。」(25)

美德のハイライト: 変容は、ペテロ、ヤコブ、ヨハネの信仰と信頼の美德を強化することを目的としていました。この山頂での経験の後、この 3 人にはイエスが本当は誰なのかを疑う理由がありませんでした。

今週の戒め: 第六の戒め:「**姦淫してはならない**」(出エジプト記 20:14) この命令が姦通のみに適用し、また、心、マインド、行動における性的不純物のすべての行為にはあてはまらないという仮定をしないでください。聖書におけるイエスの厳しい言葉を考えてみましょう:

「あなたがたも聞いているとおりに、『姦淫するな』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。みだらな思いで他人の妻を見る者はだれでも、既に心の中でその女を犯したのである。もし、右の目があなたをつまずかせるなら、えぐり出して捨ててしまいなさい。体の一部がなくなっても、全身が地獄に投げ込まれない方がましである。もし、右の手があなたをつまずかせるなら、切り取って捨ててしまいなさい。体の一部がなくなっても、全身が地獄に落ちない方がましである。」(マタイによる福音書 5:27-30) この戒めは、男性と女性の両方に、あらゆる形態の性的不純物に適用されます。世界を模倣しないでください。それは貞操の美德に欠けています。

私たちの信仰をスポンサーや親と共有する: あなたにとってイエスは誰ですか？あ

あなたのメアリーは誰ですか？

課題:この章と一緒に読んで、次の7日間のそれぞれにわたってスポンサーや家族と一緒に毎日少なくとも1連以上大声で祈ります。あなたからメアリーへの積極的で犠牲的な贈り物としてあなたの毎日のロザリオを提供してください - 私はそれを愛し、あなたを祝福します。毎朝毎日の奉獻の祈りを繰り返します：

5つの光の神秘のための毎日の奉獻の祈り

私の女王、私の母、私はあなたに完全に自分自身を与えます。

**そして、あなたに私の献身を示すために、私はこの日あなたに私の目を奉獻
します、**

私の耳、口、私の心、私の全体が予約されていません。

**私はあなたのものなので、私の良い母親、私を守って、私を守ってください、
あなたの財産と
所持。アーメン。(24)**

メモ:

第 10 週目

最後の晩食

聖霊の果実：崇拜（10）

聖書：時刻になったので、イエスは食事の席に着かれたが、使徒たちも一緒だった。イエスは言われた。「苦しみを受ける前に、あなたがたと共にこの過越の食事をしたいと、わたしは切に願っていた。言うておくが、神の国で過越が成し遂げられるまで、わたしは決してこの過越の食事をとることはない。」そして、イエスは杯を取り上げ、感謝の祈りを唱えてから言われた。「これを取り、互いに回して飲みなさい。言うておくが、神の国が来るまで、わたしは今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。」それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。（ルカによる福音書 22:14-20）

すると、イエスは言われた。「はつきり言うておく。モーセが天からのパンをあなたがたに与えたのではなく、わたしの父が天からのまことのパンをお与えになる。神のパンは、天から降って来て、世に命を与えるものである。」

そこで、彼らが、「主よ、そのパンをいつもわたしたちにください」と言うとき、イエスは言われた。「わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。しかし、前にも言ったように、あなたがたはわたしを見ているのに、信じない。父がわたしにお与えになる人は皆、わたしのところに来る。わたしのもとに来る人を、わたしは決して追い出さない。38わたしが天から降って来たのは、自分の意志を行うためではなく、わたしをお遣わしになった方の御心を行うためである。わたしをお遣わしになった方の御心とは、わたしに与えてくださった人を一人も失わないで、終わりの日に復活させることである。わたしの父の御心は、子を見て信じる者が皆永遠の命を得ることであり、わたしがその人を終わりの日に復活させることだからである。」

ユダヤ人たちは、イエスが「わたしは天から降って来たパンである」と言われたので、イエスのことをつぶやき始め、こう言った。「これはヨセフの息子のイ

エスではないか。我々はその父も母も知っている。どうして今、『わたしは天から降って来た』などと言うのか。」イエスは答えて言われた。「つぶやき合うのはやめなさい。わたしをお遣わしになった父が引き寄せてくださらなければ、だれもわたしのもとへ来ることはできない。わたしはその人を終わりの日に復活させる。預言者の書に、『彼らは皆、神によって教えられる』と書いてある。父から聞いて学んだ者は皆、わたしのもとに来る。父を見た者は一人もない。神のもとから来た者だけが父を見たのである。はっきり言っておく。信じる者は永遠の命を得ている。わたしは命のパンである。あなたたちの先祖は荒野でマンナを食べたが、死んでしまった。しかし、これは、天から降って来たパンであり、これを食べる者は死なない。わたしは、天から降って来た生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる。わたしが与えるパンとは、世を生かすためのわたしの肉のことである。」

それで、ユダヤ人たちは、「どうしてこの人は自分の肉を我々に食べさせることができるのか」と、互いに激しく議論し始めた。イエスは言われた。「はっきり言っておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物だからである。56わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる。これは天から降って来たパンである。先祖が食べたのに死んでしまったようなものとは違う。このパンを食べる者は永遠に生きる。」(ヨハネによる福音書 6:32-58)

反省: 神の愛を味わいたいなら、聖体を受けてください。驚くほど新しい方法で神を見ることができるかもしれません。

最初のミサは教会ではなく家庭で行われました。過越祭はユダヤ人にとって毎年義務的な祝祭でした。1300年以上も前に、神はモーセの指導を通してイスラエル人をエジプトの奴隷状態から解放しました。神はイスラエル人に、神の救いに感謝して、毎年この祭りを家庭で祝うように命じました。毎年儀式的食事のたびに、両親は家族の食卓で食べる子羊を犠牲にし、神が「力強い手と腕を伸ばして」奴隷状態から彼らを救い出し、「慈しみはとこしえに」なった物語を子供たちに語ります。(詩編136:12)

この食事で、私たちの新しいモーゼであるイエスは弟子たちとともに祝い、この歴史的な感謝の祭典の意味を一変させます。イエスは全身全霊をこの典礼の食事に注ぎ、数時間後には自ら犠牲の子羊となり、私たちを解放するために血を流す犠牲者となるの

です。ヨハネの福音書(上記)で、イエスは弟子たちにこう語っています。「**人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。**」(ヨハネによる福音書 6:53)

多くの人が信じられない思いで立ち去りました。イエスは私たちを奴隷状態から救い、天国に連れて行くために、自らを犠牲にして差し出しています。私たちは全身全霊でミサに参加していますか？主の言葉を信じていますか？聖体拝領のとき、私たちは驚くべき新しい方法で神と出会っていることに気づいていますか？母親は自分の体の一部を差し出して、夫と家族に子供の新しい命を与えます。イエスも同じことをして、驚くべき新しい方法で新しい命、つまり永遠の命を生み出しています。

最後の晩餐でイエスは使徒たちに聖体のパンとワインとしてご自身を捧げる前に、まず彼らの足を洗って彼らを清め、ペテロのときのように、おそらくは告解も聞きました。また、ユダを退けました。私たち一人ひとりが、しばらく食べ物と飲み物を断ち、身体、衣服、魂を清めて、聖体を受ける準備をすることが極めて重要です。そして、重大な罪を犯しているなら、聖体を受けないことです。私たちは、神と和解して悔い改める意志を示すことで、常に神を受ける準備をしなければなりません。**「もしわたしがあなたを洗わないなら、あなたはわたしと何のかかわりもないことになる」とイエスは言っています。**また、聖体を「受け取る」ということは、聖体を「取る」という意味ではありません。むしろ、司祭を待ってから謙虚に聖体を受け取ってください。

イエスは、母親が自分のすべてを赤ん坊に与えたいと願うのと同じように、私たちに自分のすべてを捧げたいと願っています。母親は自分の体と血から作った乳を赤ん坊に与えたいと願っています。赤ん坊は完全に母親の体と血から形作られました。イエスは、自分のすべてを追随者に与えたいと願っています。そして、父が砂漠で岩の水と天からのマナのパンでイスラエル人を食べさせたように、イエスは追随者を永遠に養い、精神的に養いたいと願っています。そのため、イエスは、過ぎ越しの食事で伝統的に食べられるパンとワインとして、彼らに自分自身を与えたのです。**「それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。『これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。』食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。『この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。』**(ルカによる福音書 22:19-20) 私たちキリスト教徒は、聖体は本当にイエスの体と血であると信じ、与えられたのと同じ無条件の愛をもって、イエスの贈り物を個人的に受け取らなければなりません。そうすれば、私たちは聖体を見て、驚くほど新しい方法で神に出会うでしょう。

奉獻の原則：マリアが私たちが愛したように、マリアを愛することを学びましょう。 真の愛についての最も力強い言葉の一つは、聖ヨハネ・パウロ2世の身体の神学に関する教えの中で述べられたものです。「愛の反対は憎しみではなく、欲望、つまり他人を利用することです。」(46) 誠実な愛の贈り物に答えて、自分の利己的な目的のために相手を利用するとき、私たちは愛しているのではなく、利用しているのです。母親は、子供たちに真の愛の意味を教えるために神から与えられたカリスマを持っているので、愛されることと利用されることの違いを教える霊的な直感も与えられています。マリアを愛そうとするとき、マリアが私たちが犠牲的に、無私無欲に愛してくださったように、私たちもマリアを愛することを学ぶ必要があります。主の公の宣教活動の間、有名な御子に近づく手段としてマリアとの友情を求めた人がいたことは間違いありません。神の完璧な計画として、私たち一人一人に母親が与えられ、マリアが私たちが愛したのと同じ精神で、犠牲的に彼女を愛する方法を私たちに教えるのです。母親と子どもは心が一つです。母親が子どもを愛し、その愛し方を子どもに教える様子を見てください。これが、私たちが第二の偉大な戒めを学び、天国に行けるように神によって設計された方法です。私たちは謙虚さと柔和さをもって積極的にマリアを愛するよう努め、イエスがマリアを愛したようにマリアを愛する方法をマリアから教えてもらう必要があります。イエスは最後の晩餐で、そして今日でもミサのたびに、御自身の肉体と血を捧げて、私たちが犠牲的に、謙虚に、柔和に愛しておられます。私たちがマリアに自分自身を捧げ、心から彼女を愛することを学ぶとき、私たちの心はマリアの心と一つになります。そこにマリアへの奉獻の秘密の力があります。

聖徒の証人:

1. **聖カエタノス (1480-1547)** 「聖母マリアに、栄光の息子を連れてあなたのところに来るように絶えず願いなさい。大胆になりなさい。聖体において、まさにあなたの魂の糧である息子をあなたに与えてくださるようにならねばならぬ。彼女は喜んで彼をあなたに与えてくれるでしょう。」(3)
2. **聖マザー・テレサ (1910-1997)** 「マリアの役割は、ヨハネとマグダラのマリアのように、十字架につけられたイエスの心の愛と私たちを対面させることです…聖母は騎兵隊に同行していたので、イエスがあなた方と貧しい人々に対してどれほど真実で深い思いを抱いているかを知っています。」(1)
3. **聖ヨハネ・パウロ2世 (1920-2005)** 「ロザリオの祈りでアヴェ・マリアを繰り返すことで、私たちは神の驚きと喜びにあずかることができます。歓喜

の驚きの中で、私たちは歴史上最大の奇跡を認めるのです。」(12)

美德のハイライト: イエスは使徒たちの足を洗う際に大きな謙遜さを示します。イエスは、これから宣べ伝えようとしていること、つまり驚くほど新しい方法で神を体験することにおいて、使徒たちにイエスを信頼するよう求めます。聖体のパンとワイン！

今週の戒律: 第七の戒律:「**盗んではならない**」(出エジプト記 20:15) 隣人の所有物、つまり自分の所有物ではないものを奪い、隣人を愛していると言えるでしょうか。「第七戒は、隣人の財産を不当に奪ったり、保持したり、その財産に関していかなる形でも不当に扱うことを禁じています。…私有財産権の尊重も必要です。(6, #2410) 他人の財産を奪ったり、噂話や中傷で他人の評判を傷つける行為は窃盗です。聖トマス・アキナスは、窃盗が最も危険であると教えています。「たとえこの罪を悔い改めたとしても、人は簡単には必要な償いをしません。これは、賠償の義務と、正当な所有者が被った損失を補う義務によるものです。そして、これらすべては、罪そのものを悔い改める義務を超えています。」と言います。(13, 6 #2412)

スポンサーや親と信仰を共有する: 毎年、神が私たちが救い、自由にしてくださったことに感謝し、私たちのルーツを思い出してみてください。最後の晚餐を記念するミサの典礼に、私たちの全身全霊を注いでいますか？ このパンを食べ、このワインを飲むとき、私たちはイエスの真の体と血を摂取していることを認識していますか？

課題: この章と一緒に読み、今後 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒に毎日少なくとも 10 回の祈りを捧げてください。毎日のロザリオを、あなたからの積極的な犠牲的な贈り物としてマリアに捧げてください。マリアはそれをとても喜んでいます。毎朝、毎日の奉獻の祈りを捧げてください。

5つの光の神秘のための毎日の奉獻の祈り
女王、母よ、私は自分自身をあなたに完全に捧げます。
そしてあなたへの私の忠誠を示すために、
私は今日、私の目、私の耳、私の口、私の心、
私の全存在を惜しみなくあなたに捧げます。
私はあなたのもので、私の良き母よ、
あなたの所有物として私を守ってください。
アーメン。(24)

ノート:

第三の誓約

私、_____は、聖母マリアに誓います。今後 5 週間、スポンサーおよび/または家族とともに、聖母マリアの最も聖なるロザリオの各レッスンを忠実に学び、毎日少なくとも 1 連のロザリオを声に出して祈ることを誓います。

母よ、あなたが私を愛して下さると同じように、私にあなたを愛する方法を教えてください。あなたの助けを借りて、神と隣人を神の御心に従って愛する方法を学びたいと願っています。父と子と聖霊の御名においてお祈りします。アーメン。

候補者による署名と日付: _____
スポンサーの署名 _____

第11週目

庭での苦悩

聖霊の実: 罪に対する悲しみ (10)

聖書: 園での苦悩

それから、イエスは弟子たちと一緒にゲツセマネという所に来て、「わたしが向こうへ行って祈っている間、ここに座っていなさい」と言われた。ペトロおよびゼベダイの子二人を伴われたが、そのとき、悲しみもだえ始められた。そして、彼らに言われた。「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、わたしと共に目を覚ましていなさい。」

少し進んで行って、うつ伏せになり、祈って言われた。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。」

それから、弟子たちのところへ戻って御覧になると、彼らは眠っていたので、ペトロに言われた。「あなたがたはこのように、わずか一時もわたしと共に目を覚ましていられなかったのか。誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。」更に、二度目に向こうへ行って祈られた。「父よ、わたしが飲まないかぎりこの杯が過ぎ去らないのでしたら、あなたの御心が行われますように。」

再び戻って御覧になると、弟子たちは眠っていた。ひどく眠ったのである。そこで、彼らを離れ、また向こうへ行って、三度目も同じ言葉で祈られた。それから、弟子たちのところに戻って来て言われた。「あなたがたはまだ眠っている。休んでいる。時が近づいた。人の子は罪人たちの手に引き渡される。立て、行こう。見よ、わたしを裏切る者が来た。」(マタイによる福音書 26:36-46)

反省: 試練に遭わないように、目を覚まして身の回りに注意しながら祈りなさい。次の5つのロザリオ瞑想のセットである「悲しみの神秘」は、苦しみの神秘についてです。誰の人生にも、喜びの瞬間と悲しみの瞬間があります。イエスの時代、ユダヤ人は人生で苦しむ人は皆神に罰せられていると考えていましたが、イエスはそれが真実ではないことを示しました。罪がなく父に選ばれたイエスは、非常に苦しみました。汚れなき御母も同様でした。十字架の道中、イエスは、母親が愛する子供を出産するために苦しむのと同じように、苦しみを犠牲的な愛と慈悲の美しく創造的な行為に変えるべきことを示しました。十字架の道行きでは、イエスが死に至る道中、多くの人々を助けるために立ち止まった様子が描かれています。すべての人が苦しみを体験しますが、イエスは、私たちの悲しみを神への強力な贈り物に変えるために、どのように神を信頼すべきかを教えています。

イエスは人類の罪のために犠牲にされる神の子羊となるはずでした。アダムはエデンの園でサタンに試され、神が「園を守れ」と警告したにもかかわらず、サタンと罪からイブを守ることができませんでした。(26) イエスは園でサタンに誘惑されますが、彼の「花嫁」である教会を守りに成功します。なぜサタンは最初にエバを狙ったのでしょうか。おそらくサタンは、神がエバを創造したのは、神の心と神との永遠の命への鍵である二つの偉大な戒めを家族全員が学べるようにするためだと知っていたのでしょう。

朝に死刑が予定されている囚人を想像してみてください。前夜に眠れるでしょうか。使徒たちは眠っています。彼らはこれから起こることに対して本当に準備ができていません。サタンが実在しないと考えるなら、サタンは私たちを驚かせるでしょう。しかし、私たちが目を覚まして用心深くいるなら、人生の試練に備えることができます。イエスは彼らに目を覚まして祈り、悪との戦いに負けないようにするように言います。私たちは毎日祈り、聖霊の動きを毎日見守り、待つ男女でなければなりません。これを実際にどのように行うことができるでしょうか。

素晴らしい目標は、起きている時間の10%を一日を通して何らかの祈りにあてること。これは1時間あたり約6分です。

朝の捧げ物と聖母マリアへの奉獻で一日を始め、主と静かな時間を過ごしましょう。聖母マリアが私たちに求めるように、毎日最も聖なるロザリオの一部を祈りましょう。散歩や運動をしているとき、あるいは通勤や通学のときに祈ることができます。教会では毎週のミサが義務付けられています。スケジュールが許す限り、毎日のミサは素晴らしい修行ですが、平日に教会で数分間、聖体の主を訪問するのも素晴らしいことです。聖

体の前で 1 時間礼拝を捧げることは、昼夜を問わず、素晴らしい信仰心です。正午はアンジェラスの祈りを捧げるのに良い時間であり、午後 3 時は神の慈悲のチャプレットに最適です。最後に、夕方は毎日の良心の省察と守護天使への祈りに最適です。(付録) 毎月の和解または告解を推奨しています。

マリアを通してイエスに捧げるこの祈りの贈り物は、あなたの信仰を強め、徳を高め、数え切れないほどの祝福にあなたを導きます。この祈りの訓練は、あなたのすべての祈り、働き、喜び、苦しみをマリアを通してイエスに捧げるだけで、あなたのすべての苦しみを、あなたの罪と他人の罪に対する神への甘い犠牲に変えることに役立ちます。生涯を通じて、より良い祈り手となるよう努力してください。簡単に始め、マリアに時間をかけて成長させてもらいましょう。決して祈るのをやめないでください!!!

奉獻の原則: マリアの愛の「道具」になりなさい。多くの聖人、特に聖マクシミリアン・コルベは、魂の救済のためにマリアの手の中で道具になることを望みました。(20) これは、前回の秘跡で議論したように、自分の意志に反して他人に「利用される」こととは異なります。マリアの道具となることは、私たちが毎日マリアに捧げる自由意志の贈り物であり、マリアはそれを喜んで受け入れます。マリアは私たちが何を必要としているか、私たちの祈りの意図を知っており、私たちが貧しい魂、失われた子供たちを救うのを助けたいと思っていることを知っています。これは最も美しい贈り物であり、多くの聖人によって強く推奨されています。それは私たち自身の祈りの意図を高めますが、たとえば朝の奉獻の祈りで、私たちは毎日マリアにこの許可を与える必要があります。

聖徒の証人:

1. **聖アルベルトウス大帝(1193-1280)**「イエス・キリストの次に、聖母マリアは、過去、そして未来の誰よりも祈りに関して完璧な方でした。マリアの祈りは絶え間なく、粘り強いものでした！」(3)
2. **聖ルイ・グリニョン・ド・モンフォール(1673-1716)**「マリアは地上での生活の間、絶えず祈りを捧げていました。ですから、マリアを信仰する者は皆、祈り続けなければなりません。しかも絶えず祈り続けなければなりません。」(3)
3. **聖ヨセフ・マリア・エスクリバ(1902-1975)**「聖母を愛したいですか？それなら、聖母を知りましょう。どうやって？ロザリオの祈りを捧げることによってです。」(27)

美德のハイライト: 神の子イエスは、弟子たちの足を洗うことにより、大きな謙虚さと慈悲を示しました。私たち弟子は、イエスの美德を模倣しなければなりません、それはイエスの恵みによってのみ可能です。

今週の戒律: 第八戒、「**隣人に関して偽証してはならない。**」(出エジプト記 20:16) 「第八戒は、他者との関係において真実を偽って伝えることを禁じています。この道徳的戒律は、真実であり真実を願う神に証言するという聖なる民の使命から生じています。」(6, #2464) もし私たちが思いの中で慈悲深いなら、言葉や行いにおいて慈悲深くないということはないでしょう。こうして、すべては私たちの心の内から湧き出るので、**聖ヤコブは聖書の中でこう語っています。舌を制御できる人は一人もいません。-舌は、疲れを知らない悪で、死をもたらす毒に満ちています。わたしたちは舌で、父である主を賛美し、また、舌で、神にかたどって造られた人間を呪います。同じ口から賛美と呪いが出て来るのです。わたしの兄弟たち、このようなことがあってはなりません。**”(ヤコブの手紙 3:7-10) この戒めに反する罪の多くは世代から世代へと受け継がれていくので、私たちが心の中でそれらと戦うとき、私たちの子供や孫も恩恵を受けます。

スポンサーや親と信仰を共有する: 起きている時間の 10% を主に祈りに捧げられるよう、祈りの時間を増やすにはどうすればよいでしょうか。

課題: 次の 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒にこの章と一緒に読み、毎日少なくとも 1 つの 10 連の祈りを声に出して唱えます。毎日のロザリオを、あなたからの積極的な犠牲的な贈り物としてマリアに捧げます。マリアはそれを愛しており、あなたを祝福します。毎朝、毎日の奉獻の祈りを繰り返します。

5つの悲しみの神秘のための毎日の奉獻の祈り

「マリア様、私はあなたの御手に身を委ねます。
私の体と魂、私の考えと行動、
私の命と死をあなたに捧げます。
何よりもイエスを愛せるよう私を助けてください。
マリア様、私はあなたの御手を通して、
そしてあなたの模範に従って、私自身を神に完全に捧げます。神が
私に望まれることは何でも受け入れ、
この決意を貫いてくださるようお願いいたします。」
(チャールズ・G・フェーレンバッハ神父、C.S.S.R.) (3)

ノート:

12週目

柱での鞭打ち

聖霊の実：純粹さ（10）

聖書:「それでは、ユダヤ人の王とお前たちが言っているあの者は、どうしてほしいのか」と言った。群衆はまた叫んだ。「十字架につけろ。」

ピラトは言った。「いったいどんな悪事を働いたというのか。」群衆はますます激しく、「十字架につけろ」と叫び立てた。

そこで、ピラトは改めて、「それでは、ユダヤ人の王とお前たちが言っているあの者は、どうしてほしいのか」と言った。群衆はまた叫んだ。「十字架につけろ。」ピラトは言った。「いったいどんな悪事を働いたというのか。」群衆はますます激しく、「十字架につけろ」と叫び立てた。ピラトは群衆を満足させようと思って、バラバを釈放した。（マルコによる福音書 15:12-15）

反省: 今この瞬間に留まりなさい。そこに苦しみに耐える恵みが見つかるでしょう。

ユダヤ人が過越の子羊を犠牲として祭司たちに捧げた後、最初にしたことはその子羊の皮を剥ぎ、その皮を大祭司に奉仕に対する報酬として渡すことでした。(28) イエスは、皮膚を裂いて激しい痛みを与えるためにローマ人が考案した、鋭い骨片が付いた鞭で 40 回打たれ、実質的に「皮を剥がされた」のです。これはローマ法に従って公衆の面前で行われ、鞭打ちの回数は厳密に規制されていました。鞭打ちの最中に死んだ人もいました。その痛みは耐え難いものでした。イエスは公衆の前で裸で、すべての尊厳を剥ぎ取られて鞭打ちを受けなければなりませんでした。過越の子羊は皮を剥がされたときには死んでいましたが、イエスは生きていました。イエスはあなたや私のためにこれに耐えました。罪は非常に重大であるため、非常に深刻な結果をもたらします。

私たちはイエスのために立ち上がる意思がありますか？ イエスは私たちのために軽蔑され、公衆の面前で鞭打られました。聖書の中でこう言っています。「だから、だれでも人々の前で自分をわたしの仲間であると言い表す者は、わたしも天の父の前で、その人をわたしの仲間であると言い表す。しかし、人々の前でわたしを知らないと言う者は、わたしも天の父の前で、その人を知らない

いと言う。（マタイによる福音書10: 32,33）この10年間、祈りを捧げながら心の中でこの場面を思い描くことで、いくつかの教訓を思いつくことができます。聖トマス・アキナスは、それぞれの場面でイエスが何をして、何をしていないかを自問するように教えています。イエスは逃げたり、反撃したりはしていません。父に感謝し、敵を許し、父が自分を救ってくれることを辛抱強く信じています。イエスは、私たち全員への完全な贈り物として、この犠牲を神に捧げています。(29) マリアはイエスの鞭打ちを見ながら、その瞬間ごとにイエスの苦しみに同調していました。また、イエスの殺害者を絶えず許さなければなりませんでしたが、これははるかに困難な課題でした。イエスとマリアの心を一つにすることで、この神秘を祈ったり、映画で再現されたりするのを見たりするときに、私たちは彼らの苦しみを少しだけ体験できるかもしれません。

奉獻の原則: 今この瞬間に生きる。ロザリオの祈りを捧げる間、マリア様に今この瞬間に留まるようお願いしましょう。痛みや不快な状況にあるとき、私たちは心の中で未来や過去へと向かって、今この瞬間から逃げようとする傾向があります。また、私たちは、現在の苦しい現実から逃れるために、食べ物、アルコール、薬物などの物質を使う傾向があります。そうすると、私たちがこの現在の瞬間を耐え抜くために特別に用意された神の恵みを逃してしまいます。フルトン・シーン司教はかつてビデオでこう言いました。「悪魔的なのは十字架を避けることです。」イエスは鞭打ちを受ける間、この人間の傾向に抵抗しています。イエスは父なる神からの鞭の一打一打を贈り物として受け取っておられます。イエスは今この瞬間に存在し、その瞬間の贈り物と、一瞬一瞬を耐えるために天から与えられた神の恵みを無駄にしません。イエスは今この瞬間に「はい」と言い、私たちが従うべき模範を示しておられます。

ミサや祈りを捧げているとき、私たちは心をさまよわせていませんか？ 私たちはこれらの気を散らすものと戦っていますか、それとも神の賜物を逃していますか？ それぞれの現在の瞬間は完全にユニークで、二度と繰り返されることはありません。私たちがよく生きる現在の瞬間は、私たちの永遠を作り上げるために積み重なっていきます。それぞれの瞬間に感謝する恵みをユニテッド ハーツに求めてください。謙虚な感謝は常に、それぞれの現在の瞬間に対する適切な反応です。今の瞬間の例として、マリアが赤ん坊のイエスと過ごしている様子を思い浮かべてください。家に生まれたばかりの赤ちゃんには、騒がしく無防備なこの幼児のニーズに 100% 集中しなければならないという何かがあります。私たちが空想にふけり、未来や過去に集中し始めると、その子は自分に危害を加えるようなことに巻き込まれるかもしれません。マリアは、今この瞬間、幼子イエスに 100% の注意を払っています。マリアにとって、これ以上に大切なものはありません。すべての瞬間がイエスの要求に捧げられ、マリアはイエスが瞬間ごとに何を必要としているかを正確に知るためのあらゆる識別の恵みを与えられています。この場面では、聖母マリアはイエスに自分自身を完全に捧げています。この場面では、聖母マリアはイエスに自分自身を完全に捧げています。また、私たちが必要なものを受け取れるよう、神の前で積極的に執り成しをしています。マリアはすべての人の母であり、天国では時間や空間の制限がないので、私たち一人ひとりと一度に時間を過ごすことができます。

私たちは、喜びの神秘であれ悲しみの神秘であれ、10 年ごとの終わりに「神に栄光あれ」と言います。この祈りは、人生のすべての瞬間に感謝するよう私たちに呼びかけています。マリアへの奉獻で心をつにすることで、私たちは現在の瞬間に耐えるために必要な恵みを受け、私たちが抱く十字架のそれぞれに意味を見出す知恵が与えられます。

聖徒の証人:

1. **シエナの聖カタリナ(1347-1380)**「慈悲の母である愛しいマリアに頼りなさい。マリアはあなたを御子の御前に連れ出し、あなたのために母親としての執り成しをし、御子があなたに慈悲深くなるようにしてください。」(3)
2. **聖マクシミリアン・コルベ(1894-1941)**「まず第一に、私たちは無原罪の聖母のために自分自身を捧げなければなりません。そうすれば、私たちの中に、そして私たちを通して、無原罪の聖母が他の人々の中に働くことができるでしょう。私たちは無原罪の聖母に近づき、その美德に倣いましょう。そうすれば、私たちは永遠に無原罪の聖母を見るに値するでしょう。」(20)
3. **聖ヨハネ・パウロ2世(1920-2005)**「一緒に祈る家族は、一緒にいる。聖なるロザリオは、古くからの伝統により、家族を一つにする祈りとして特に効果的であることが証明されている。家族のメンバーは、イエスに目を向けることで、互いに目を合わせ、コミュニケーションを取り、連帯を示し、互いを許し、神の精神の中で愛の契約を更新する能力も得る。」(12)

美德のハイライト: イエスは柱の上で鞭打ちに耐えながら、柔和さ、忍耐、思いやりの美德を実践しました。

今週の戒律: 第九の戒律: *「隣人の妻を一切欲してはならない。みだらな思いで他人の妻を見る者はだれでも、既に心の中でその女を犯したのである。」* (出エジプト記 20:17, マタイによる福音書 5:28, 6, #2514) 欲望は常に心から始まり、行動へと流れます。不純な罪を抑えるためには、心を改めなければなりません。聖母マリアは、私たちが求めれば助けてくれます。現代のメディアは、この戒律に反する罪に関して私たちの心に対して全面戦争を仕掛けています。私たちはまず、自分の目を制御しなければなりません。特に、不純なオンライン画像に目を向けているときはなおさらです。結婚せずに、結婚の霊的な恩恵を受けずに同棲している人は、この戒律に違反する罪から身を守る恵みを自ら奪っているのです。

スポンサーや親と信仰を共有する: 車を運転するときは、目の前の道路に集中し、先ほど通過した道路やこれから進む道路のことを考えないようにする必要があります。あなたは祈りを捧げたり、ミサに参加したりするときに、今この瞬間から気をそらされますか？ イエスは、最も力強い祈り、つまり十字架刑のときに気をそらされましたか？ もちろんです！ こうした気をそらすものから逃れながら、今この瞬間に留まり、天から与えられた恵みを活用するにはどうすればよいでしょうか？

課題: 次の 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒に、章と一緒に読み、毎日少なくとも 1 つの 10 回の祈りを声に出して行ってください。毎日の奉献の祈りを毎朝繰り返してください。

5つの悲しみの神秘のための毎日の奉獻の祈り

「ああ、マリアよ、私はあなたの手身に身を委ねます。私の体と魂、私の考えと行動、私の命と死をあなたに捧げます。何よりもイエスを愛せるよう私を助けてください。ああ、マリアよ、私はあなたの手を通して、そしてあなたの模範に従って、自分自身を完全に神に捧げます。神が私に望まれることは何でも受け入れ、この決意を忠実に守ってくださいますようお願いします。」(チャールズ・G・フェーレンバッハ神父、C.S.S.R)(3)

ノート:

13週目

茨の冠

聖霊の実: 勇気 (10)

聖書: そこで、ピラトはイエスを捕らえ、鞭で打たせた。兵士たちは茨で冠を編んでイエスの頭に載せ、紫の服をまとわせ、そばにやって来ては、「ユダヤ人の王、万歳」と言って、平手で打った。

ピラトはまた出て来て、言った。「見よ、あの男をあなたたちのところへ引き出そう。そうすれば、わたしが彼に何の罪も見いだせないわけが分かるだろう。」イエスは茨の冠をかぶり、紫の服を着けて出て来られた。ピラトは、「見よ、この男だ」と言った。

祭司長たちや下役たちは、イエスを見ると、「十字架につけろ。十字架につけろ」と叫んだ。ピラトは言った。「あなたたちが引き取って、十字架につけるがよい。わたしはこの男に罪を見いだせない。」(ヨハネによる福音書 19:1-6)

反省: すべての痛み*を罪人への贈り物としてイエスとマリアに捧げ、現在のすべての瞬間に感謝し続けましょう。*(意図的な虐待はすべて両親または正当な権限を持つ機関に報告する必要があります)

主を鞭打つという行為はローマの刑罰の一種で、厳しい規則に従って、皆が見守る公衆の面前で行われました。したがって、イエスは公衆の面前で、棒や鞭を使って、決められた回数 of 打撃を受けました。しかし、イエスに茨の冠をかぶせ、兵士たちに嘲笑されるという行為は、斬新で、イエスに特有のものでした。

この出来事は、兵士たちが何の制約もなくイエスを苦しめ、嘲笑した、まさに無差別の出来事だったと思われまふ。ローマの兵士たちはユダヤ人に何の愛も持っていなかったでしょう。この茨の冠をかぶせられたことは、十字架を意味するラテン語から派生した「耐え難い」ものだったに違ひありません。私たちの主に対して放たれた残酷さと憎しみを想像してみてください。主は私たち全員のために、この苦しみをすべて受けられました。私たちはそれに値するのに、主はそうではありませんでした。

肉体的な痛みだけでなく、精神疾患、不健全な関係、愛する人の喪失などによって、世界中の人々が経験している精神的な痛みも忘れてはなりません。主を慰め、私たちのためにこれらすべての苦しみを味わってくださったことに感謝する最善の方法は何でしょうか。主をあなたの心の王として戴冠し、主をあなたの主であり救い主として、あなたの人生を歩んでください。幼子イエスに愛することを教えた聖母マリアは、イエスがしたように私たちにも愛することを教えてください。私たちが彼らに教えを乞うなら、彼らは私たちを神の恵みの中に保ってくれるでしょう。今日彼らに尋ねてみましょう。

奉獻の原則: 肉体的、精神的、感情的を問わず、すべての痛みに身を委ねてください。不平を言うのではなく、聖母マリアを通してイエスに贈り物として捧げてください。聖母マリアはあなたの犠牲を高く評価し、哀れな魂を救ってください。病気が痛みがあるときに薬を飲んでも、それをすべて贈り物として捧げることができます。私たちは毎日の聖母マリア奉獻の祈りの中でこれを唱えます。兵士たちがキリストに冠をかぶせ、嘲笑した時、キリストがしたことはいくらだとして理解しているので、私たちはこの原則を実践しようとしてます。私たちは母親のためも含め、私たち一人一人のために不平を言わず苦しみをすべて捧げたイエスに倣います。聖書はこう語っています。イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。そのことによって、わたしたちは愛を知りました。だから、わたしたちも兄弟のために命を捨てるべきです。」(ヨハネの手紙一 3:16)

マリアはこの聖書に従う私たちの模範です。彼女は息子とともに十字架の道を歩みながら、聖書の言葉「自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。」を生きながら実践しました。(ローマの信徒への手紙 12:1)

聖徒の証人:

1. 教皇ベネディクト15世(1854-1922)「マリアは神の正義を満たすために、惜しみなく息子を犠牲として捧げました。したがって、彼女はキリス

トとともに人類の救済に協力したと真に言えるのです。」

2. **聖マクシミリアン・コルベ(1894-1941)**「十字架は愛の学校です。愛は生き続け、犠牲によって養われることを忘れてはなりません。魂を救う最短の方法は、全能の神の意志により天と地の最も慈悲深い女王となった無原罪の聖母のために、たとえほんの少しでも何かを成し遂げたり苦しんだりするように魂を鼓舞することです。」(20、108、69ページ)
3. **聖ヨハネ・パウロ2世(1920-2005)**「ロザリオの祈りは、私たちの重荷をキリストとその御母の慈悲深い御心に委ねることです。」(12)

美德のハイライト: 敵がイエスに茨の冠をかぶせて嘲笑しているときでも、イエスは敵のために祈ります。

今週の戒律: **第十戒:**「隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛、ろばなど隣人のものを一切欲してはならない。あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ。」(出エジプト記 20:17, マタイによる福音書 6:21) 第十戒は、肉欲に関する第九戒を展開し完成させるものです。それは、窃盗、強盗、詐欺の根源として他人の財産をむさぼることを禁じており、これは第七戒で禁じられています。「目の欲」は、第五戒で禁じられている暴力と不正につながります。貪欲は、淫行と同様に、律法の最初の三つの戒律で禁じられている偶像崇拜に由来します。第十戒は心の意思に関するもので、第九戒とともに律法のすべての戒律を要約しています。(6、#2534、ヨハネの手紙一 2:16、ミカ書 2:2、知恵の書 14:12) 初期のカテキズムの中には、第9戒と第10戒をまとめて、「これら2つの戒律で命じられていることは、次のようになります。先行する戒律を守るには、特に貪欲にならないように注意する必要があります。貪欲でない人は、持っているもので満足し、他人のものを欲しがらず、むしろ彼らの繁栄を喜び、神に栄光をささげます」と述べています。(13)

スポンサーや親と信仰を共有する: イエスやマリアへの贈り物として、怪我や不便、侮辱を捧げることによって、あなたは個人的にどのような価値を感じましたか？ この犠牲的な贈り物の捧げ物は、どのように私たちの祈りを高めますか？ 毎日の良心の省察をしながら、一日のすべての瞬間に感謝しましょう。

課題: 次の 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒にこの章と一緒に読み、毎日少なくとも 10 回祈りましょう。毎日のロザリオをあなたからの積極的な犠牲的な贈り物としてマリアに捧げます。マリアはそれを愛し、あなたを祝福します。毎朝、毎日の奉獻の祈りを繰り返しましょう。

5つの悲しみの神秘のための毎日の奉獻の祈り

「ああ、マリアよ、私はあなたの手身に身を委ねます。私の体と魂、私の考えと行動、私の命と死をあなたに捧げます。何よりもイエスを愛せるよう私を助けてください。

ああ、マリアよ、私はあなたの手を通して、そしてあなたの模範に従って、私自身を神に完全に捧げます。

神が私に望まれることは何でも受け入れ、

この決意を貫いてくださるようお願いいたします。」(チャールズ・G・フェーレンバッハ神父、C.S.S.R) (3)

ノート:

14週目

十字架を背負う

聖霊の実: 忍耐 (10)

聖書: イエスは、自ら十字架を背負い、いわゆる「されこうべの場所」、すなわちヘブライ語でゴルゴタという所へ向かわれた。(ヨハネによる福音書 19:17)

そして、暴動と殺人のかどで投獄されていたバラバを要求どおりに釈放し、イエスの方は彼らに引き渡して、好きなようにさせた。

人々はイエスを引いて行く途中、田舎から出て来たシモンというキレネ人を捕まえて、十字架を背負わせ、イエスの後ろから運ばせた。

民衆と嘆き悲しむ婦人たちが大きな群れを成して、イエスに従った。

イエスは婦人たちの方を振り向いて言われた。「エルサレムの娘たち、わたしのために泣くな。むしろ、自分と自分の子供たちのために泣け。人々が、『子を産めない女、産んだことのない胎、乳を飲ませたことのない乳房は幸いだ』と言う日が来る。

そのとき、人々は山に向かっては、『我々の上に崩れ落ちてくれ』と言い、丘に向かっては、『我々を覆ってくれ』と言い始める。

ほかに、二人の犯罪人が、イエスと一緒に死刑にされるために、引かれて行った。(ルカによる福音書 23:25-31)

反省:「それから、弟子たちに言われた。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」(マタイによる福音書 16:24 & ルカによる福音書 9:23) イエスは死に向かう旅路で重荷を背負って歩みます。その道中、イエスは多くの人々と出会い、苦しみながらも敵にも味方にも同じように祝福を与えます。「**大勢の群衆がイエスに従い、その中にはイエスを悼み嘆き悲しむ多くの女性もいた。**」信者の中にはイエスを祝福する者もあり、ある者はイエスの十字架を助け、他の者は慈悲と同情の涙でイエスを祝福しました。聖ヴェロニカ、聖ヨハネ、聖マグダラのマリア、善き盗賊、ロンギヌス百人隊長など、現在では聖人として信仰によって記憶されている人もいます。泣いている母親たちへの彼のアドバイスは、何世紀にもわたって母親たちの使命であり、子供たちのために祈り、家族のために神に十字架を捧げることです。イエスの十字架を運ぶのを渋々手伝ったキレネ人シモンの努力は、1世紀にキリスト教徒となり、十字架刑の真実を直接証言した彼の二人の息子、アレクサンダーとルポスに良い影響を与えました。

イエスは3度倒れます。この転倒は、私たちが倒れたとき、イエスが私たちの痛みを知っていて、何度倒れても立ち上がるのを助けてくれるという励ましを与えてくれます。私たちは、永遠の安息の地に向かう人生を通して、同じ旅をしています。私たちがどのように勇敢に自分の十字架を受け入れ、神と途中で出会う人々を祝福し、ある人から祝福され、他の人から侮辱されるかは、すべて私たちの旅の一部です。私たちの人生は楽なものではありません。私たちは聖徒たちとともに山を登っており、道のあらゆる曲がり角で助けと意味を探する必要があります。最も感動的な出会いは、イエスの誕生時に命を与え、30歳でこの世に送り出した母マリアとの出会いです。この場面は、マリア奉獻の背後にある神の力である、心をつににする力を示しています。マリアはイエスに従い、イエスと共にこの旅を歩み、慰め、支え、常に心の中でイエスと一つになっています。**インマヌエル、神は彼女とともにある。**二人が心をつにして祈るとき、神は力と恵みをもたらして二人を結びつけます。イエスが倒れるとき、彼女はイエスを捕まえようとします。イエスが十字架に釘付けにされるとき、彼女は釘を一つ一つ感じます。イエスが裸で十字架にかけられるとき、彼女はべールでイエスを覆います。イエスの遺体が降ろされて彼女に手渡されると、彼女はイエスを抱きしめて泣きます。神が世界の救世主として彼女に与えた子供は、彼女の心から引き裂かれました。彼女は、他の母親と同じように、イエスと共に苦しみ、我が子が残酷で不当な死を遂げるのを見守りました。しかし、彼女はまた、イエスが彼女の子供たちのために偉大な勝利、偉大な自由と新しい命、永遠の命を勝ち取ったことも知っています。死を通して新しい命がやって来ます。あなたの人生の旅路でマリアがあなたのそばを歩むことを許し、毎日あなたの心と家に招き入れ、彼女がどのように働き、愛するかを見てく

ださい。今日、彼女に許可を与えてください。母親は私たちと共にいることは決してありません。主イエスはクレルヴォーのベルナルド(1090-1153)の前に現れ、十字架を背負うときに主にとって大きな痛みの原因となった肩の傷について教えられました。(30)主は、私たちが祈りの中でこの傷を尊び、敬うことを望んでおられます。そうすれば罪の赦しが得られると主はベルナルドに告げられました。

祈りのヒント: 十字架の道を歩くとき、ロザリオの悲しみの神秘をユニークな方法で祈ることができます。各駅を訪れるときに、その駅の神秘について思いを巡らせながら、ロザリオの祈りを4つ唱えましょう。たとえば、最初の留では、「主の祈り」と「アヴェ・マリア」を3回祈ります。2番目では「アヴェ・マリア」を4回、3番目では「アヴェ・マリア」を3回と「栄光の賛歌」を1回祈ります。そして、14番目の留の後に、15番目の留「復活」について、もう1つ考察を加えます。これにより、悲しみの神秘に対する新たな洞察が得られ、留の祈りをより頻繁に行う習慣になります。これにより、悲しみの神秘に対する新たな洞察が得られ、聖地巡礼をより頻繁に行う習慣が生まれます。

奉獻の原則: 良い時も悪い時もイエスに従いなさい。私たちは、カルバリ山を登る主に従うマリアの姿を見ます。マリアは主とともに苦しみ、主はマリアのために、そしてマリアとともに苦しみます。心を一つにして、マリアのようにイエスに従う方法を教えてください。マリアに頼みましょう。他の弟子たちが誰も来ようとしなかったとき、マリアは十字架にかけられたキリストのそばに、聖ヨハネとマグダラのマリア、そしてクロパの妻であるマリアの姉妹を連れて行きました。マリアに頼めば、あなたをもそこに導いてくれるでしょう。カルカッタの聖マザー・テレサはマリアについてこう言っています。「彼女の役割は、ヨハネとマグダラのマリアのように、十字架にかけられたイエスの心の愛とあなたを対面させることです。」(1)

聖徒の証人:

1. **聖ヨハネ・ボスコ(1815-1888)**「十字架を背負い、それが小さくても大きくても、友人からでも敵からでも、どんな木でもできていようと、それをそのまま受け入れなさい。最も賢く幸せな魂とは、生涯十字架を背負わなければならないことを知りながら、神が送る十字架を喜んで受け入れる人である。」(31)
2. **聖マクシミリアン・コルベ(1894-1941)**「聖母は、私たちが聖母のために働くだけでなく、聖母のために苦しむことも望んでおられます。私たちは日々の小さな十字架を静かに背負い、それらが存在することを願わなければなりません！」(3)
3. **教皇ピウス11世(1857-1939)**「もしあなたがたの心、家庭、そして国に平和を望むなら、毎晩集まってロザリオを唱えなさい。どんなに多くの心配事や仕事で重荷を背負っていても、1日たりともロザリオを唱えない日があってはいけません。」(12)

美德のハイライト: イエスはカルバリーの丘に向かう途中で多くの人々とすれ違いますが、イエスは十字架刑に向かう旅の途中で、愛をもって彼らに仕えます。イエス

は死について先のことを考えすぎて気が散ることのないよう、今この瞬間に集中しなければなりません。

今週の戒律: (これは正式な戒律ではなく、主からの指示です)「それから、弟子たちに言われた。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」”(マタイによる福音書 16:24 & ルカによる福音書 9:23) 私たちは、それぞれの十字架が神の意志であると仮定し、神が私たちを助けてくれることを信じて、明るく前進します。

スポンサーや親と信仰を分かち合う: カルバリーの道でイエスが出会った人の中で、あなたが最も共感できるのは誰ですか？

課題: 次の 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒にこの章と一緒に読み、毎日少なくとも 1 回の祈りを声に出して唱えましょう。毎日のロザリオを、あなたからの積極的な犠牲的な贈り物としてマリアに捧げます。マリアはそれを愛しており、あなたを祝福しましょう。毎朝、毎日の奉獻の祈りを繰り返してください。

5つの悲しみの神秘のための毎日の奉獻の祈り

「ああ、マリアよ、私はあなたの手身に身を委ねます。私の体と魂、私の考えと行動、私の命と死をあなたに捧げます。何よりもイエスを愛せるよう私を助けてください。ああ、マリアよ、私はあなたの手を通して、そしてあなたの模範に従って、神に自分自身を完全に捧げます。神が私に望まれることは何でも受け入れ、この決意を忠実に守ってください。」(チャールズ・G・フェーレンバッハ神父、C.S.S.R) (3)

ノート:

15週目

磔刑

御霊の実: 忍耐 (10)

聖書: イエスの磔刑

イエスは、自ら十字架を背負い、いわゆる「されこうべの場所」、すなわちヘブライ語でゴルゴタという所へ向かわれた。そこで、彼らはイエスを十字架につけた。また、イエスと一緒にほかの二人をも、イエスを真ん中にして両側に、十字架につけた。ピラトは罪状書きを書いて、十字架の上に掛けた。それには、「ナザレのイエス、ユダヤ人の王」と書いてあった。イエスが十字架につけられた場所は都に近かったので、多くのユダヤ人がその罪状書きを読んだ。それは、ヘブライ語、ラテン語、ギリシア語で書かれていた。ユダヤ人の祭司長たちがピラトに、「『ユダヤ人の王』と書かず、『この男は『ユダヤ人の王』と自称した』と書いてください」と言った。しかし、ピラトは、「わたしが書いたものは、書いたままにしておけ」と答えた。

兵士たちは、イエスを十字架につけてから、その服を取り、四つに分け、各自に一つずつ渡すようにした。下着も取ってみたが、それには縫い目がなく、上から下まで一枚織りであった。そこで、「これは裂かないで、だれのものになるか、くじ引きで決めよう」と話し合った。それは、「彼らはわたしの服を分け合い、わたしの衣服のことでくじを引いた」という聖書の言葉が実現するためであった。兵士たちはこのとおりにしたのである。

イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアとマグダラのマリアとが立っていた。イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた。それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です。」そのときから、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。

この後、イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、「渴く」と言われた。こうして、聖書の言葉が実現した。そこには、酸いぶどう酒を満たした器が置いてあった。人々は、このぶどう酒をいっぱい含ませた海綿をヒソブに付け、イエスの口もとに差し出した。イエスは、このぶどう酒を受けると、「成し遂げられた」と

言い、頭を垂れて息を引き取られた。(ヨハネによる福音書 19:17-30)

反省:許しなさい!

十字架刑による死は窒息死です。したがって、この世に最初に命を吹き込んだ神の子には息がありません。しかし、大きな苦痛にもかかわらず、イエスは最後の7つの言葉と呼ばれる非常に重要な言葉を発しました。この7つの言葉のうち2つを考えてみましょう。「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」と「ヨハネよ、見なさい。あなたの母です。婦人よ、ご覧なさい。あなたの子です。」一つ目は理解するのは簡単ですが、実行するのは難しいことです。しかし、キリストは私たちに許すように命じています。「また、立って祈るとき、だれかに対して何か恨みに思うことがあれば、赦してあげなさい。そうすれば、あなたがたの天の父も、あなたがたの過ちを赦してください。」(マルコによる福音書 11:25)

最年少の使徒であるヨハネは、マリアを自分の心と家庭に迎え入れ、生涯彼女の世話をしました。マリアを迎え入れた後、ヨハネは聖ヨセフの秘密のマリアの祝福を学び、すぐに新しい方法で何度も神に出会いました。3日後、彼はイエスを、閉じたドアを通り抜けることができる栄光の体を持つ復活した主として見始めました。50日後、彼はペンテコステの日曜日に上階の部屋で聖霊として神に会いました。結局、ずっと後になって、彼は夢の中で神に出会いました。その夢はあまりにも現実的で洞察力に富んでいたため、キリスト教の聖典に黙示録として収録されています。私たちがマリアを心と家庭に招くことを毎日習慣にすれば、ヨセフの秘密のマリアの祝福も個人的に学ぶことになります。神が私たちの家庭と心にどのような形で現れてくださるかに、私たちは驚き、喜ぶでしょう。インマヌエル、神は私たちとともにあります!

先ほど述べたように、聖トマス・アクィナスは、十字架上のイエスの姿勢を研究し、イエスから学ぶように教えています。自分自身に問いかけてください。「イエスは十字架上で何をして、何をしていないのか。反撃はしていない。手は釘付けになっている。逃げてもいない。足は釘付けになっている。敵を滅ぼすために呪いをかけたり、天使を呼んだりしていない。」喉はカラカラに乾き、息もほとんど残っていません。絶望しているわけではありません。では、イエスは実際そこで何をしていますのでしょうか。この苦しみの瞬間に、勝利の詩篇 22 を祈り、父なる神を讃えています。敵を許し、主が自分を救ってくださるのを待っています。愛、希望、信頼、謙虚さ、忍耐、粘り強さに満ち、イエスは信頼して父なる神に身を委ね、自分を救ってくださるのを待っています。聖トマス・アクィナスはこう言っています。「キリストの受難は、私たちの人生を形作るのに十分です。完璧な人生を送りたいと願う人は、十字架上でキリストが軽蔑したものを軽蔑し、キリストが望んだものを望むだけでいいのです。なぜなら、十字架はあらゆる美德の例証だからです。」(29) イエスは私たちのために亡くなりました。今、私たちは十字架を背負

い、十字架上のイエスの模範に従ってイエスに従わなければなりません。これこそが、徳の高い勝利の人生なのです。

神の子は私たちが憎しみと罪から救うために天から地上に降りてくれましたが、私たちは彼を憎しみと暴力の悲劇的な行為で十字架につけました。これは良い知らせでしょうか、それとも史上最大の悲劇でしょうか。両方です。この悲劇には勝利があります。敬虔なユダヤ人は、キリストが十字架につけられたのを見て、それが何であるかを知るかもしれません。イエスの鞭打たれた体は、罪の赦しのために毎年過越祭で忠実なユダヤ人が犠牲にする皮を剥がれた子羊のように見えます。彼らは十字架に刺した火の上で子羊を焼きました。また、イエスの手は頭の上に上げられています。これはアマレク人との戦いでモーセがイスラエル人の上に手を上げていた物語を思い出させます。モーセの手が上げられている間、イスラエル人は勝っていました。アロンとフルは、勝利がもたらされるまでモーセの腕を支えて助けました。(出エジプト記 17:8-16) マリア、ヨハネ、そして女性たちも十字架の下で同じように、イエスを支えて祈りを捧げました。その日から、過越の子羊を準備する敬虔なユダヤ人は、十字架上のイエスの遺体を見たことを思い出し、洗礼者ヨハネの「見よ、世の罪を取り除く神の子羊」という言葉を思い出すでしょう。

奉獻の原則: 主を待ちなさい。私たちは、第二の光の神秘であるカナの婚礼について議論した際に、この強力な精神的原理について話しました。この婚礼では、マリア、召使たち、そしてイエスが皆主を待ちます。しばらく待つと、水がワインに変わるといふ素晴らしい奇跡が起こります。マリアとその息子を家に招いた新郎新婦は、その日、驚くべき新しい方法で神に出会ったのです。奇跡を起こす者としてです。今、十字架の上で、マリアとヨハネ、そして数人の女性が祈り、主であり救い主であるイエスが十字架上でまさに同じことをなさるのを見守り、待っているのが見えます。彼女たちの心は本当に一つなのです。彼らは、神が変貌した姿ではなく、完全に変形し、認識できない姿で神を見ているのです。悲しいことに、彼らは神をまったく新しい方法で見ているのです。神へのすべての祈りは、信頼して待つことを伴います。常にです！時には数分、時には数日、時には何年も待たなければなりません。では、待っている間、私たちは何をするのでしょうか。私たちはイエスが天でなさっていることをすべて行います。つまり、イエスの美德を実践するのです。信仰、希望、忍耐、根気、信頼、柔和、謙遜、愛、従順、そして特に許しです。これらの美德はそれぞれ互いに積み重なって成り立っています。練習を重ねれば完璧になります。美德には常に神の助けが必要であることを忘れないでください。

聖徒の証人:

1. **教皇聖ヨハネ・パウロ2世(1920-2005)**「カルバリの丘で、聖母マリアの苦しみは頂点に達した。十字架の足元に聖母マリアがおられたことは、御子の贖いの死への最も特別な参加を意味した。」(3)
2. **聖ベルナルド(1090-1153)**「マリアよ、あなたの心は槍の鋼で貫かれています。それは、すでに息を引き取ったあなたの息子の心よりもさらに深いのです。」(3)
3. **聖パウロ**「自分の体を生きた供え物として捧げなさい。」(ローマ12:1)

美德のハイライト: イエスは、父と母、そして私たち兄弟姉妹全員に対する愛の行為として、十字架刑を辛抱強く受け入れました。イエスは私たちに道を示しておられ、私たちはイエスに従わなければなりません。121 ページの「祝福」を参照してください。

今週の戒律: (これは正式な戒律ではなく、主からの指示です)

「もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。」(マタイによる福音書 6:14-15)

息子の恐ろしい磔刑を見ながら、イエスの敵とローマ兵を許したマリアのことを思い起こしてください。マリアは私たちに仕方を教えてくれます。マリア自身が通った道なのですから！**「あなたがたも気をつけなさい。もし兄弟が罪を犯したら、戒めなさい。そして、悔い改めれば、赦してやりなさい。4—日に七回あなたに対して罪を犯しても、七回、『悔い改めます』と言ってあなたのところに来るなら、赦してやりなさい。」**(ルカによる福音書 17:3-4)

スポンサーや親と信仰を分かち合う: 今日、誰を許す必要がありますか？ 家に十字架はありますか？ ない場合は、特に悲しみの神秘を唱えながら瞑想できるものを用意してください。

課題: 上記の内容を読み、今後 7 日間、毎日、スポンサーまたは家族と一緒に少なくとも 10 回の祈りを声に出して行ってください。毎日のロザリオを、あなたからの積極的な犠牲的な贈り物としてマリアに捧げてください。マリアはそれを愛しており、あなたを祝福します。以下の毎日の奉獻の祈りを毎朝繰り返してください。ロザリオの秘儀の最後のセットである栄光の秘儀を始めると、さらに隠された良い知らせが明らかになりそうです。

5つの悲しみの神秘のための毎日の奉獻の祈り

「マリア様、私はあなたの手身に身を委ねます。私の体と魂、私の考えと行動、私の命と死をあなたに捧げます。何よりもイエスを愛せるよう私を助けてください。マリア様、私はあなたの手を通して、そしてあなたの模範に従って、自分自身を完全に神に捧げます。神が私に望まれることは何でも受け入れ、この決意を貫いてください。」(チャールズ・G・フェーレンバッハ神父、C.S.S.R) (3)

ノート:

第四の誓約

聖母マリアよ、私_____は、今後 5 週間、スポンサーや家族とともに、毎日、聖なるロザリオのそれぞれのレッスンを忠実に学び、少なくとも 1 連の祈りを声に出して唱えることを誓います。あなたの息子は私たちに新しい戒律を教えてください。「私がおなた方を愛したように、あなた方も互いに愛し合いなさい。」母よ、あなたが私を愛したように、あなたを愛する方法を私に教えてください。あなたの助けを借りて、神と隣人を神の御心に従って愛する方法を学びたいと願っています。父と子と聖霊の御名によって祈ります

。
アーメン。

候補者による署名と日付: _____

スポンサーによる署名: _____

16週目

復活

聖霊の実:信仰 (10)

聖書: イエスの復活

さて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方に、マグダラのマリアともう一人のマリアが、墓を見に行った。すると、大きな地震が起こった。主の天使が天から降って近寄り、石をわきへ転がし、その上に座ったのである。その姿は稲妻のように輝き、衣は雪のように白かった。番兵たちは、恐ろしさのあまり震え上がり、死人のようになった。

天使は婦人たちに言った。「恐れることはない。十字架につけられたイエスを捜しているのだろうが、あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。さあ、遺体の置いてあった場所を見なさい。

それから、急いで行って弟子たちにこう告げなさい。『あの方は死者の中から復活された。そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかれる。』確かに、あなたがたに伝えました。」

婦人たちは、恐れながらも大いに喜び、急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走って行った。すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、婦人たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。イエスは言われた。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる。」(マタイによる福音書 28 1-10)

考察: 十字架上で息を引き取る前に、イエスは忍耐強く苦しみ、父なる神を信頼して救いを待ちました。3日後にイエスが復活したとき、弟子たちは「**主に望みをおく人は新たな力を得鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない。**」(イザヤ書 40:31) ことを実際に目の当たりにしました。イエスは以前、死から蘇ると約束していましたが、復活祭の朝にイエスが姿を現すまで、母親を除いて彼を本当に信じた人はほとんどいませんでした。イエスが本当に神であり、本当に生きていると信じる人々にとって、死は克服されました。ハレルヤ！これは素晴らしいニュースです！あなたはイエスを信じ、この良い知らせを信じますか？もしそうなら、毎日イエスを探し求め、待ち望むことでイエスを信頼してください。そうすればあなたも蘇り、イエスに会えるでしょう！ **主イエスよ、来てください。私の心と家に来てください。私たちはあなたの母によって、私たちの中に、そして私たちを通して、前もって清められています。**イエスは使徒たちに言いました。「**あなたがたを受け入れる人は、わたしを受け入れ、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのである。**」(マタイによる福音書 10:40) マリアを受け入れる者は、イエスを受け入れるのです。

イエスは洞窟で生まれ、洞窟に埋葬され、洞窟の中で死から蘇り、新たな命を得ました。(7) この象徴は、土の中の種が新たな命に生まれ、太陽の光を求めて成長し、創造された本来の姿になることを思い起こさせます。また、神が私たちの世界に来られるとき、私たちの内側から来られること、つまり、**エマニュエル、神は私たちと共にある**ことを思い出させます。

マグダラのマリアと、聖母マリアの姉妹でクロパの妻であるマリアは、聖母マリアを心から慕っていました。二人はほんの数時間前まで十字架の足元で、イエスの苦しみと死を嘆き悲しんでいました。過ぎ越しの祭りでエルサレムに滞在していた間も、二人は一緒にいたようです。この復活祭の朝、マグダラのマリアと聖母マリアの姉妹であるマリアは、使徒たちよりも先に、イエスの驚くべき新しい姿に遭遇しました。ヨハネによる復活の物語では、マグダラのマリアは主をすでに個人的に知っていたにもかかわらず、復活した主が誰であるかを知りませんでした。彼女は主を庭師だと思ったのです。(ヨハネによる福音書 20:11-18) 聖ヨセフのようにマリアを心と家に迎え入れるとき、私たちは主の存在をすぐには認識できないかもしれません。しかし、立ち止まって待ち、祈りの中で熟考するなら、私たちの生活の中で突然主を見ることができるともかもしれません。それは、私たちがまったく予想していなかった時と形で！神はサプライズが大好きなのです！

復活祭の朝、復活した息子に最初に会ったのは聖母マリアだったはずですが、天国は今のところその素敵な再会を私たちから隠しています。その代わりに、福音書の著者は、悲しみに暮れるマグダラのマリアと聖母マリアの姉妹であるマリアの再会に焦点を当てています。二人は主を愛し、主を求め、その報いを受けました。聖母マリアの助けを借りて主を求め、待ち続ければ、私たちは皆主を見つけることができます。主が姿を現してくださることを信じてください。

別の聖書には、イースターの朝にエルサレムからエマオへ向かう途中、イエスは永遠に去ってしまったと思い、落胆していた共同体の二人の弟子について書かれています。(ルカによる福音書 24:13-35)道を歩いていると、見知らぬ人に出会いました。それは変装したイエスでした。イエスは彼らと一緒に歩きながら、聖書を説明し、救世主がいかに苦しみ、死ななければならなかったかを示しました。彼らがエマオで一夜を過ごし、一緒にパンを割ったとき、イエスは彼らの前から姿を消し、その時初めて彼らはそれがイエスだと知りました。彼らはとても興奮し、使徒や弟子たちにこの良い知らせを伝えるためにエルサレムまで急いで戻りました。ここには、マリアとアツパールの共同体を知っていた弟子たちが、驚くほど新しい方法で神を体験したことを示す別の聖書があります。それは、復活した主が誰だかわからない旅人として神を体験したことです。彼らはすぐに伝道者となり、出会う人すべてにこの良い知らせを伝えました。彼らが最初に伝えようとしたのは、間違いなく、悲しみに暮れる主の母マリアだったでしょう。

マリアの亡き両親である聖アンナと聖ヨアキムも、イースターの朝、孫であるイエスが栄光の体で復活した時、驚くほど新しい方法でイエスに出会ったかもしれません。マタイによる福音書には、その朝、以前に亡くなった多くの聖人が復活し、エルサレムを歩き回っているのが見られ、おそらくマリアの両親もその中にいたでしょう。(マタイによる福音書 27:51-53)聖パウロはまた、イエスが死からよみがえった後、500人の人々が一団となって復活したイエスを目撃したとも伝えています。(コリントの信徒への手紙一 15:3-8) **新しい方法で主に会えるという希望を持ちましょう。聖体の中で常に主を探し求めてください。**

奉献の原則: 心を守りましょう! マリア奉献の最も深い原則の 1 つは、心は神への入り口であるという発見です。私たちが心の中で大切に思っているものは、そこに留まらず、私たちの善行と神の恵みを通して、私たちの周りの世界や私たちに最も近い人々に現れます。神は私たちを救うために地上に来られたとき、罪のない女性の母性的な心を意図的に私たちの世界に入るために選びました。主は彼女と共におられます。イエスは聖母マリアの心の中にいることを望みました。そこでは最も愛情深く受け入れられるだろうと知っていたからです。幼少のころから、マリアは最も熱烈な愛をもって神を心に抱いていました。マリアの心と子宮を通して、イエスは肉体を持ってこの世に現れ、マリアは聖ヨセフをはじめ、彼女が愛するすべての人に貴重な贈り物を分け与えました。私たちがマリアに心を捧げるとき、彼女的美徳を世界に広めるだけでなく、イエスの愛を私たちの周りの人々にも広めるのです。カルカッタの聖テレサは「マリアよ、あなたの心を私に貸してください」と「マリアよ、あなたの最も清らかな心に私を留めてください」と祈りました。(1) しかし、私たちは自分の心を注意深く守らなければなりません。なぜなら、同じ入り口から悪が私たちの世界に入り込む可能性があるからです。もし私たちが心の中に憎しみや許しのなさ、復讐心を抱いているなら、それは悲劇的な形で私たちの周りの世界にも現れます。これがテロリズムなどの悪が始まり広がる方法です。これについては第 18 週に詳しくお話しします。**聖ヨセフよ、私たちの心を守れるよう助けてください。**

聖徒の証人:

1. **聖グレゴリウス・ナジアンゼン (329-390)**「マリアの慈悲を私たちに向けて引き寄せる最も強力な手段は美德です。その美德とは隣人への愛です。」(3)
2. **聖ヨハネ・ユード (1601-1680)**「マリアの心の中で生き、マリアが愛するものを愛し、マリアが望むものを望みなさい。そうすれば、あなたは必ず平和と喜びと神聖さを得るでしょう。」(3)
3. **聖ヨハネ・ヴィアンネ (1786-1859)**「謙遜はさまざまな美德にとって、ロザリオの鎖のようなものである。鎖を外すと、ビーズは散らばってしまう。謙遜をなくすと、すべての美德は消えてしまう。」(12)

美德のハイライト: 女性たちは、律法の定めに従って主の遺体を適切に準備するために、勤勉、従順、粘り強さの美德を実践していますが、聖金曜日の夜にはこれを行う時間はありませんでした。また、死者を埋葬するという慈悲の肉体的奉仕も行っています。(付録)

今週の戒律: イエスの新しい戒め: 「子たちよ、いましばらく、わたしはあなたがたと共にいる。あなたがたはわたしを捜すだろう。『わたしが行く所にあなたたちは来ることができない』とユダヤ人たちに言ったように、今、あなたがたにも同じことを言っておく。あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」(ヨハネによる福音書 13:33-35) 私たちのカテキズムは、「この戒めは他の戒めをすべて要約し、神の意志全体を表現しています」と教えています。(6, #2822)

「互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」という新しい戒律は、すべての母親が自分の家族に対して抱く願いを表現していますが、特に、神の家族である私たち全員に対する聖母の汚れなき御心の願いを表現しています。

慈悲の母マリアに倣って、他者に慈悲深くありましょう。実際、母親は家族全員のために犠牲的な慈悲の行為をしながら一日を過ごします。第2週の初めに述べたように、主ご自身が聖ファウスティナに力強く語りました。「私はあなた方に、私への愛から生じる慈悲の行為を求めます。あなたはいつでもどこでも隣人に慈悲を示すべきです。あなたはこれを躊躇したり、言い訳しようとしたりしてはいけません。」(42) マリアは、自分とエリザベスが妊娠していることを知るとすぐに、聖エリザベスの家に「急いで」行き、3か月間慈悲の行為をしました。私たちも皆、隣人に奉仕するために素早く行動すべきです。慈悲深くある必要があると気づくのに時間はかかりません。それは常に神の意志です。この真実は、伝統的な賛美歌にうまくまとめられています。「慈悲と愛が行き渡るところに、神は必ずおられる」(32) (著者の3年生の音楽教師が、この歌詞をラテン語の原文から翻訳しました。これは時代を超えた知恵です!)。神の王国に入るには、神の言葉に従って行動しなければなりません。(41)

スポンサーや親と信仰を共有する: 自分の心の中に、どんな良いことや悪いことを秘めていますか?

課題: 次の 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒にこの章と一緒に読み、毎日少なくとも 1 回の祈りを声に出して唱えます。毎日のロザリオを、あなたからの積極的な犠牲的な贈り物としてマリアに捧げます。マリアはそれを愛しており、あなたを祝福します。毎朝、毎日の奉獻の祈りを繰り返します。

5つの栄光の神秘のための毎日の奉獻の祈り

汚れなき聖母マリア、神の母、教会の母、あなたはまた私たちの永遠の助けの母です。あなたへの愛に満ちた心で、私たちはあなたの汚れなき御心に身を捧げます。私たちがあなたの献身的な子供となるためです。私たちの罪に対する真の悲しみと、洗礼の約束に対する忠実さを私たちに与えてください。私たちは心と精神をあなたに捧げます。私たちが常に天の父の御心を行うためです。私たちはあなたのために人生を捧げます。神をより愛し、自分のためにではなく、あなたの御子であるキリストのために生き、他の人々の中に神を見出し、神に仕えるためです。

永遠の助けの愛する母よ、この謙虚な奉獻行為によって、私たちはあなたを、完全なキリスト教徒であるあなたを模範として生きることを誓います。そうすれば、生と死においてあなたに捧げられ、永遠にあなたの神聖な御子に属することができます。(33)

ノート:

17週目

天国への昇天

御霊の実:希望 (10)

聖書:イエスの昇天

さて、使徒たちは集まって、「主よ、イスラエルのために国を建て直してくださるのは、この時ですか」と尋ねた。イエスは言われた。「父が御自分の権威をもってお定めになった時や時期は、あなたがたの知るところではない。あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」

こう話し終わると、イエスは彼らが見ているうちに天に上げられたが、雲に覆われて彼らの目から見えなくなった。イエスが離れ去って行かれるとき、彼らは天を見つめていた。すると、白い服を着た二人の人がそばに立って、言った。「ガリラヤの人たち、なぜ天を見上げて立っているのか。あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる。」マティアの選出使徒たちは、「オリーブ畑」と呼ばれる山からエルサレムに戻って来た。この山はエルサレムに近く、安息日にも歩くことが許される距離の所にある。(使徒言行録 1 1:6-12)

イエスの昇天

主イエスは、弟子たちに話した後、天に上げられ、神の右の座に着かれた。一方、弟子たちは出かけて行って、至るところで宣教した。主は彼らと共に働き、彼らの語る言葉が真実であることを、それに伴うしんによってはっきりとお示しになった。(マルコによる福音書 16:19-20)

弟子たちの任命

さて、十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが指示しておかれた山に登った。そして、イエスに会い、ひれ伏した。しかし、疑う者もいた。イエスは、近寄って来て言われた。「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしてください。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」(マタイによる福音書 28:16-20)

反省: 行きなさい! イエスは父なる神から遣わされ、父なる神のもとに帰らなければなりません。私たちも父なる神からここに遣わされ、父なる神の愛の腕の中に帰らなければなりません。私たちはこの世界にいるのはほんの少しの間だけなので、最終目的地を念頭に置いて毎日を始めなければなりません。どうすれば最も重要な目的に集中し続けることができるでしょうか。教会は、天国に集中し続けることができるように、祈りの習慣で一日を整えるように教えています。朝は、マリアを通してイエスに一日のすべてを捧げる朝の祈りから始めましょう。伝統的な朝の祈り、またはこの本にある毎日のマリア奉獻の祈りは、素晴らしい例です。夕方には、毎日の良心の吟味が非常に重要です。眠りにつく前に、マリアと聖霊とともに一日を振り返り、キリスト教生活を改善する方法を尋ねてみましょう。イエスに罪の許しを願い、その日のすべて、良いことも悪いことも、父なる神に感謝しましょう。それはすべて天の父からの贈り物であり、あなたが安全に天国に帰れるようにと神に頼ることができます。3 つ目の祈りの重要な要素はロザリオです。毎日 10 連から始めて、マリア様がそれを伸ばしてあげてください。これはいつでも行うことができ、運動、運転、その他の日々の多くの仕事と組み合わせることで、静かに祈る時間を作ることができます。ロザリオはマリア様が私たちに求めていることであり、それを通して私たちは生涯聖霊の中で成長し続けることができます。そうすれば、私たちは新約聖書についてさらに知識が深まるでしょう。この本の付録にあるロザリオの祈りをする人々の 12 の約束を参照してください。覚えておいてください: 犠牲を伴う祈りは最も強力です!

イエスはなぜ私たちのもとを去ったのでしょうか。イエスは天に昇って以来、私たちの目には見えません。しかし、イエスの力と存在は、聖霊によって他の人々を通して私たちに与えられ「主イエスは、弟子たちに話した後、天に上げられ、神の右の座に着かれた。一方、弟子たちは出かけて行って、至るところで宣教した。主は彼らと共に働き、彼らの語る言葉が真実であることを、それに伴うしるしによってはつきりとお示しになった。」(マルコによる福音書 16:19-20) イエスが天に昇ったとき、イエスは共同体をペテロ、ヤコブ、ヨハネの手に委ねただけでなく、マリアの手にも委ねたと言えます。私たちは、神に愛を示し、神の神聖な愛を受けるために、積極的に犠牲を払って隣人を愛さなければなりません。イエスはカモフラージュされています。では、イエスが見えないときに、どうやってイエスに従うのでしょうか。次の3つの神秘でこれについてさらに説明します。

奉獻の原則: マリアにすべてを捧げましょう! 完璧な母親であるマリアは、神の手を通してあなたが必要なものをすべて確実に得られるようにします。私たちの奉獻の原則のすべてにおいて、私たちは常に家族生活と教訓に立ち返ります。神は天国をモデルにし、私たちが天国に行けるようにするために家族を創造しました。夫は妻を養うためにすべての資産を与え、妻は家族のためにすべての資産を与えます。同様に、子どもたちもすべての贈り物を母親に持って行き、保管してもらいます。家族は母親を信頼しています。家族は、彼女が家族の一人一人を愛し、それぞれが何を必要としているのかを知っていることを知っています。私たちがマリアのために同じことをします。彼女に献身している私たちは、毎日、すべての思い、言葉、行いを彼女に捧げます。彼女は私たちからの贈り物を一つ一つ受け取り、それに祈りを加え、その両方の贈り物をイエスに捧げます。この交換において、彼女は私たちの贈り物を高く評価します。イエスは十字架と聖体拝領においてマリアのためにご自身のすべてを捧げました。ですから、私たちがマリアにすべてを捧げるとき、私たちはイエスに倣っているのです。母親が新生児の生活の中心であるように、母親も私たちの生涯の旅のあらゆる側面の中心にいたいと願っています。母親は私たちとの関係を終わらせることができるのでしょうか? 決してありません!

マリアにすべてを捧げることは、神にすべてを捧げることを妨げるのかと多くの人が尋ねますが、そうではありません! イエスは、マリアと私たち一人一人に、そして同時に父なる神に、すべてを、命さえも捧げました。私たちがマリアを霊的な母であり「永遠の助け主」として愛するとき、神はその愛を受け取ります。「はつきり言うておく。わたしの兄弟の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」(マタイによる福音書 25:35-40) 母親は家族のためにすべてを捧げます。家族の誰に対しても不当な扱いをしません。「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、すべてのことが益となることを私たちは知っています。」(ローマの信徒への手紙 1 8:28) 神は、私たちが霊的な母親を持ち、その

母親を愛し、その母親に祈ることを学ぶことを望んでおられます。ちょうど、私たちの母親が私たちを愛してくれたように、私たちに母親を愛することを教えてくれたのと同じです。神は、母親の親密で犠牲的な愛なしには誰もこの世に生まれないと定めておられます。したがって、神はまた、天の母の親密で犠牲的な愛なしには誰も永遠の命に生まれないことを望んでおられます。ヨハネ・パウロ2世は、ラテン語で「完全にあなたのもの、マリア」を意味する「Totus Tuus, Maria」という教皇のモットーを採用しました。

聖徒の証人:

1. **聖メトディオス(815-885)**「イエスは言った。『あなたの父と母を敬いなさい。』それゆえ、イエスは自らの定めを守るために、御母にすべての恵みと栄誉を与えたのです！」(3)
2. **聖マリー・ド・モンフォール(1673-1716)**「聖母マリアは、私たちが自分自身を完全に捧げるのを見て、愛と寛大さにおいて決して負けることを許さず、同じ精神で私たちと会います。マリアはまた、彼女にすべてを捧げる人に、言葉では言い表せない方法で、自分自身をすべて捧げます。」(15)
3. **聖ヨハネ・ヴィアンネ(1786-1859)**「ロザリオの神秘を信仰をもって瞑想しながら罪深い生活を送ることは不可能です。」(12)

美德のハイライト: イエスは、天国の神の聖なる御前に昇り、愛する弟子たちに別れを告げながら、神の意志と一体になるという美德を実践しています。イエスは彼らに、そして間もなく私たちにも聖霊を送ってくださいます。

今週の戒律: (これは正式な戒律ではなく、主からの指示です)「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。あなたがたのだれが、パンを欲しがる自分の子供に、石を与えるだろうか。魚を欲しがるのに、蛇を与えるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして、あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」(マタイによる福音書 7:7-12)

イエスが天に昇られた今、必要なときに私たちはどのようにしてイエスとつながることができるのでしょうか。イエスを求めれば、イエスが見つかります。イエスは聖体とすべての秘跡において聖霊を通して私たちの前に現れます。イエスは世界のすべての聖櫃に現れ、あなたを待っています。イエスは今も驚くほど新しい方法で、いつも予期せぬ時に私たちの前に現れます。イエスを正しい方法で求める方法について心配する必要はありません。ただイエスを呼び、イエスの存在と知恵を求め、イエスが応えてくださるのを辛抱強く待つだけです。**イエ様、私はあなたを信頼します！** イエ様はあなたを長く待たせません。マリア様を心と家ごぞき入れれば私たちは、親くても思ひがけの方法でイエ様の存在を発見できるでしょう。イエ様は毎朝親しく、特に私たちがイエ様を信頼し、イエ様を待ち望んでいるのを見たと、私たちが驚かせるのが大好きです。「**主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる。あなたの真実はそれほど深い。**」(哀歌 3:22-23)

スポンサーや親と信仰を分かち合う: 主を求め、思いがけず主を見つけたのはいつですか？

課題: 次の 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒にこの章と一緒に読み、毎日少なくとも 10 回祈ります。毎朝、毎日の奉獻の祈りを繰り返します。

5つの栄光の神秘のための毎日の奉獻の祈り

汚れなき聖母マリア、神の母、教会の母、あなたはまた私たちの永遠の助けの母です。

あなたへの愛に満ちた心で、私たちはあなたの汚れなき御心に身を捧げます。／ 私たちがあなたの献身的な子供となるためです。／ 私たちの罪に対する真の悲しみと、洗礼の約束に対する忠実さを私たちにもたらししてください。

私たちは心と心をあなたに捧げます。／ 私たちが常に天の父の御心を行うためです。／ 私たちはあなたのために私たちの人生を捧げます。／ 私たちが神をより愛し、／ 自分のためではなく、あなたの御子であるキリストのために生き、／ 他の人々の中にキリストを見出し、彼に仕えるためです。

この謙虚な献身の行為によって、／ 永遠の助けの愛する母よ、／ 私たちはあなたの完璧なキリスト教徒を模範として生きることを誓います。／ 生

と死においてあなたに捧げられ、／私たちは永遠にあなたの神聖な御子
に属することができるのです。(33)

ノート：

18週目

聖霊の降臨

聖霊の実：神への愛 (10)

聖書：使徒行伝

聖霊の到来

彼らは都に入ると、泊まっていた家の上の部屋に上がった。それは、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、フィリポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた。(使徒言行録 1:13-14)

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

さて、エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいたが、この物音に大勢の人が集まって来た。そして、だれもかれも、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あっけにとられてしまった。人々は驚き怪しんで言った。「話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。どうしてわたしたちは、めいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのだろうか。(使徒言行録 2:1-8)

反省：堅信礼を受ける準備をしながら、聖霊を心に招き入れ、驚くほど新しい方法で聖霊が来られるのを待ちましょう。イエスは天に昇る時、弟子たちに聖霊を送ると約束されました。「ヨハネは水で洗礼を授けたが、あなたがたは間もなく聖霊による洗礼を授けられるからである。(使徒言行録 1:5)

復活祭の日曜日から 50 日後のペンテコステの日曜日、11 人の使徒と数人の男女の弟子たちが、ある家の上の部屋で聖母マリアの周りに集まっていました。そこは、イエスが彼らと最後の晚餐（最初のミサ）を執り行ったのと同じ部屋であり、イエスが死から蘇ってから何度も彼らの前に現れた場所でした。三位一体の三番目の位格である聖霊が炎と風の舌となって彼ら全員の上に降り、彼らに新たな熱意と多くの霊的賜物を与えました。これにより、彼らは、イエスの復活の福音を宣べ

伝えるために地の果てまで出向く情熱を抱くようになりました。上の部屋にいたすべての人がマリアを心に受け入れ、この瞬間、**聖ヨセフの秘密のマリアの祝福**をそれぞれが受けました。彼らはそれぞれ、非常に個人的に親密な方法で神と出会いました。聖霊は、イエスが約束されたとおり、今も彼ら一人一人と共におられることを全員に確認しました。**エマヌエル、神は私たちと共におられます！**

これは、人々が家の上の広い部屋に集まっているときに起こりました。キリスト教のコミュニティが成長するにつれて、彼らは家で集まるには人数が多すぎるようになり、最終的に教会を建てました。私たちはカトリック教徒として教会に集まり、毎週ミサを執り行い、イエスが最後の晩餐で教えてくださった聖体の犠牲を捧げて父なる神に感謝します。ペンテコステは教会の誕生日であり、今、教会は新たな成長で爆発的に成長しています。イエスは使徒たちに教えました。**「あなたがたを受け入れる人は、わたしを受け入れ、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのである。」**(マタイによる福音書 10:40) この部屋にいるすべての人はマリアを母として受け入れ、聖霊を受け入れる準備ができていました。

この教会は、聖母マリアの汚れなき御心を完璧に表す 2 つの偉大な戒律に基づいて形成されました。したがって、マリアはイエスを自分自身のように完全に愛しています。なぜなら、イエスは人間の関与なしに聖霊の力によってマリアの内に完全に形成されたからです。さらに、マリアは、自分の心をついにした息子が自分の主であり、救い主であり、自分の神であるため、全身全霊、全身精神、全身力で神である主を愛しています。重要なのは、彼女の隣人イエスと彼女の主イエスは同一人物であるため、彼女の心の中でこれら2つの戒めの間に矛盾や競合がないことです。そのため、マリアは「わたしの名のためにこのような子供の一人を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしではなくて、わたしをお遣わしになった方を受け入れるのである。」(マルコによる福音書 9:37)というイエスの教えを聞いたとき、彼女の母の心は完全に理解されています。ペンテコステはまた、聖母マリアというユニークな人物に光を当てる機会を与えてくれます。彼女は父なる神の娘であり、子なる神の母であり、聖霊なる神の配偶者です。(7) 彼女は神ではなく、聖三位一体の各メンバーとユニークで親密な個人的な関係を持つ人間です。聖母マリアは神に囲まれ、心は神と一つになっています。これをもっと簡潔にまとめると、**聖母マリアは神の子であるイエスを自分自身のように、全身全霊で愛していると言えます。**これは母親の子供への愛であり、キリスト教信仰の基盤であり、2つの偉大な戒律の反映です。堅信礼の際、皆さんはそれぞれ驚くほど新しい方法で聖霊を受けます。心を開くと、聖霊のユニークな賜物(付録)も受け、聖霊の霊的な実(付録)を体験します。それは、皆さんの人生を通じて成長し、成熟していきます。聖霊は、まず洗礼のときに私たちの上に降り、私たちをキリストの姿に形作ります。堅信式では、聖霊の新たな注ぎが与えられ、私たちは霊的に成熟し、他の人々に奉仕してキリストの体(教会)が弟子を作るのを助けることができます。毎日の10年で堅信式の準備をし、すべてを心からの贈り物としてマリアに捧げてください。毎日彼女に許可を与えてください。そうすれば、彼女は聖霊の力を通してあなたをイエスと結びつけてくれるでしょう。

ユダヤの伝統では、男性と女性は神殿で一緒に祈ることはできませんでした。今、上階の部屋では、全員が聖母マリアと同じ精神で一緒に祈っています。男性は、主を心から愛する女性、特に犠牲的な愛と苦しみを知り、模範となる女性の誠実で心からの献身に感銘を受けます。同様に、多くの女性は、主を熱烈に愛し、地の果てまで旅し、主のために命を捧げる男性の情熱と熱意に感銘を受けます。神への愛は、私たち一人ひとりがそれぞれ違った方法で表現します。やがて家を出るときには、毎週集まって祈りと歌で神を賛美し、礼拝し、感謝する人々とともに、ペンテコステのこの重要な恵みを体験するでしょう。すべてのキリスト教の集まりでマリアと聖霊を招き入れ、驚く準備をしてください。

奉獻の原則: 私たちが心に抱くものはすべて、私たちの周りの世界に溢れ出します。ペンテコステの神秘は受胎告知の神秘に非常に似ています。受胎告知のとき、マリアは神を彼女の心と家に招き入れ、神は驚くべき方法で聖霊を通して彼女のもとに來ました。彼女は、子宮の中の胎児として、9か月間も主を待ち続けた末に、それを完全に体験しました。現在、初期のキリスト教共同体は、マリアとともに祈りを捧げ、心と家庭に聖霊を招き入れており、それぞれが驚くほど新しい方法で神を受け取っています。この天からの贈り物は、同じような方法で降りてきますが、驚くほど異なる形で現れ、それぞれに異なる霊的賜物を与えています。心の一致と賜物の多様性の両方があります。イエスのこの約束が果たされるまで、皆50日間待たなければなりませんでした。待つ価値はありました。これは聖霊の恵みと霊的な実りです。エマニュエル！神は私たちと共におられます。

聖徒の証人:

1. **聖ヨハネ・パウロ2世(1920-2005)**「聖マリアはペンテコステの日に、十字架の足元で彼女の『一部』となった『新しい母性』を高殿に持ち込んだ。この母性は彼女の中に留まると同時に、彼女から教会全体への『模範』として移され、パラクレート(聖霊)降臨の日に世界に明らかにされるであらう。」(34)
2. **バチカン文書「ルメン・ゲンティウム」(1964年)**「私たちは、ペンテコステの日の前に使徒たちが『女性たちやイエスの母マリア、そしてイエスの兄弟たちとともに心をつにして祈り続けた』のを見ます。またマリアは、すでに受胎告知において彼女を覆っていた聖霊の賜物を祈りによって懇願しました。」(16)
3. **聖ルイ・マリー・ド・モンフォール(1673-1716)**「聖霊は、魂の中にマリアを見つけると、そこに飛んで行きます。聖霊はその中に入り、その魂に豊かにご自身を伝えます。」(3)

美德のハイライト: 使徒と弟子たちは、上の部屋に集まって祈りを捧げ、自分たちの上に、そして自分たちの内に聖霊が宿っていることを体験することで、イエスの命令に従うことを実践しています。インマヌエル、神は私たちと共におられます!

今週の戒律: (これは正式な戒律ではなく、主からの指示です)「**…あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。**」(使徒言行録 1:8) 突然、新しい方法で神に出会ったとき、私たちは井戸のそばの女のように、復活後のマグダラのマリアのように、エマオへ歩いていた二人のように反応しなければなりません。「彼らは友人たちに叫んだ。『私は主に会った!』これは良い知らせを知らせる真の伝道です。彼らがあなたの言うことを信じるかどうかはともかく、『私は驚くほど新しい方法で主に会った』と言ってください。信じる人もいますでしょうし、彼ら自身の方法で神を発見するかもしれません。良い知らせを分かち合いましょう! おそらくそれが、イエスの昇天後に天使が弟子たちにこう言った理由でしょう。「…なぜ天を見上げて立っているのか。」(使徒言行録1:11) 神に出会ったというあなたの個人的でユニークな経験は、あなただけが共有できるものであり、あなたがそれを共有しない限り、誰もあなたの個人的な奇跡の物語や、あなたに対する神の愛と慈悲を知ることはないでしょう。

スポンサーや親と信仰を分かち合う: 質問: 堅信式でコミュニティの信仰を高めるために使える特別な賜物として、どのようなものを与えられたいですか? スポンサーと一緒に、神にそれらの賜物を今求めてください。多くの場合、必ずではありませんが、それらはあなたの生まれながらの才能を伸ばすでしょう。

課題: 次の 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒にこの章と一緒に読み、毎日少なくとも 10 回祈ります。毎日のロザリオを、あなたからの積極的な犠牲的な贈り物としてマリアに捧げます。マリアはそれを愛しており、あなたを祝福します。毎朝、毎日の奉獻の祈りを繰り返しましょう。

5つの栄光の神秘のための毎日の奉獻の祈り

汚れなき聖母マリア、神の母、教会の母、あなたはまた、永遠の助けの母でもあります。あなたへの愛に満ちた心で、私たちはあなたの汚れなき御心に身を捧げます。そうすれば、私たちはあなたの献身的な子供とすることができます。私たちの罪に対する真の悲しみと、洗礼の約束に対する忠実さを私たちにもたらししてください。

私たちは心と精神をあなたに捧げます。そうすれば、私たちは常に天の父の御心を行うことができます。私たちは人生をあなたに捧げます。そうすれば、神をより愛し、自分のためにではなく、あなたの御子であるキリストのために生き、他の人々の中に神を見出し、神に仕えることができます。永遠の助けの愛する母よ、この謙虚な奉獻行為によって、私たちは、完璧なキリスト教徒であるあなたを模範として生きることを誓います。そうすれば、生と死においてあなたに捧げられ、永遠にあなたの神聖な御子に属することができます。(33)

ノート:

19週目

聖母マリアの被昇天

聖霊の果実: 幸福な死の恵み (10)

カトリックのカテキズム:「最後に、無原罪の聖母は、原罪の汚れから守られ、地上での生涯を終えると、肉体と魂が天の栄光に引き上げられ、主によってすべてのものの女王として高められました。それは、主の主であり、罪と死を征服した御子に、より完全に従順になるためでした。」(6,#966; 16,35)

(ビザンチン典礼) 聖母被昇天は、御子の復活への特別な参加であり、他のキリスト教徒の復活への先見です。神の母よ、あなたは出産の際、処女を守りました。神の母よ、あなたはこの世を去らず、生命の源と結びつきました。あなたは生ける神を宿し、祈りによって私たちの魂を死から救ってくださいます。(聖母被昇天祭*、8月15日)

*聖母マリアの「眠り」を意味する

考察: 天の母があなたを愛しているように、天の母を愛するよう努めなさい。そうすれば、天の母はあなたに神と隣人を愛する方法を教えてください。マリアは、おそらくエフェソスで、地上での残りの人生を福音伝道者聖ヨハネとともに過ごしました。ペンテコステの日に、各人は神の王国を築くための独自の賜物を与えられました。新しい言語を学んだ者は、通常 2 人ずつその国へ向かいました。マリアとヨハネは聖霊に導かれ、エフェソスでキリスト教のコミュニティを築きました。ヨハネはおそらく牧師だったでしょうが、マリアの役割は何だったのだろうかと疑問に思います。

どの母親も自分の子どもの話をするのが好きなので、彼女はいつも他の人、特に新しくキリスト教徒になった人たちにイエスについて話していただろうし、もちろんコミュニティの人たちと一緒に多くの慈善活動を行っていただろうと想像できます。福音伝道者聖ルカはエフェソスのマリアと聖ヨハネの両方からイエスの幼少期の詳細を学んだと考えられています。「わたしたちの間で実現した事柄について、最初から目撃して御言葉のために働いた人々がわたしたちに伝えたとおりに、物語を書き運ねようと、多くの人々が既に手を着けています。」(ルカによる福音書 1:1-2)

神をはっきりと見、神を愛し、神を知るためには、男性も女性も皆、母親の犠牲的な愛情の心から愛することを学ぶ必要があります。これが神が私たち一人一人に母親を与えた理由です。私たちが第一の偉大な戒めを学ぶ前に、母親から第二の偉大な戒めを学ぶことが神の意志なのです。私たちの母親は、犠牲的な愛の仕方を私たちに教えるという点で素晴らしい仕事をしてくれたかもしれませんが、神は愛の学校でのこの基本的な訓練が私たちの救いにとって非常に重要であると考え、私たちが生涯を通じて謙虚に学び続けるのを助けるために、ご自身の母親も与えてくださいました。私たちの精神的、感情的な成熟は、この訓練にかかっています。特に若者が家を出て大人として社会に出て行く準備をしているときには、これが重要です。

マリアは、死んだ後、あるいは眠りについた後、墓から天国に上げられました。どうしてそれがわかるのでしょうか。初期のキリスト教巡礼者たちは、マリアが死ぬとすぐに彼女の遺体を見たいと思い、墓を訪ねましたが、墓が開かれたとき、彼女はそこにいませんでした。ちょうどイースターの朝にイエスの遺体がそこになかったのと同じです。罪の汚れがまったくなかったマリアが天国に上げられるのは、私たちの主であるイエスが常にマリアと共におられるためでした。マリアは、すべての人の真の母となるために天に召されました。天から、マリアは地上のすべての人に個人的に、そして同時に奉仕することができます。マリアは天に肉体も必要とします。マリアはそれ以来、世界中のあらゆる国で、謙虚にマリアに耳を傾け、マリアを優しく愛するすべての人に、母親、預言者、教師、指導者、パーソナルトレーナーとして何度も肉体を持って現れました。今日でも、マリアは多くの人々の前に現れています。—私たちはマリアの言うことに耳を傾けるでしょうか。マリアは私たちが神の望むすべて、つまり聖人になれるよう助けたいと願っています。マリアに必要なのは、毎日の私たちの許可、つまり「はい」だけです。良い母親と同じように、マリアは私たちが心から愛し、私たちからも心からの愛を期待しています。また、マリアは私たちとの関係を終わらせることはありません。マリアとの愛で結ばれることで、驚くほど新しい方法で神が私たちの人生にもたらされます。今日、そして毎朝目覚めたときに「はい」と言いましょ。決して後悔することはありません。マリアを受け入れる

人はイエスを受け入れる、とイエスは約束されました。

奉獻の原則: 「隣人を愛することによってのみ、神の愛を知ることができるのです。」(ベネディクト16世) 第二の大戒律は、第一の大戒律を学ぶための必須の前提条件となる訓練です。母親が乳児に対して負う最初の責任は、犠牲的な愛を子供に与え、その犠牲的な愛に報いる方法を子供に教えることです。このように、マリアは隣人を自分と同じように愛し、第二の偉大な戒律を模倣する方法を子供に教えています。マリアは赤ん坊に必要なものをすべて積極的に提供し、子供も同じように積極的に自分を愛してくれることを望んでいます。若い母親が子供にキスや笑顔、歌、その他の愛情表現を求めるのをどれほどよく見かけますか。私たちが積極的にマリアを愛すると、マリアはその愛に応え、私たちの心はますます近づきます。マリアは私たちに神に話しかけ、ロザリオの祈りをするように教えてくれます。私たちは、第一の偉大な戒律をよく学ぶために、まず第二の偉大な戒律を学びます。それは、何よりも神を愛することです。私たちは、愛のうちに最も小さい者に対して行うことは、主に対して行うことだと知っています。マリアが愛、謙遜、従順、信頼の美德を私たちに教えてくれたので、最終的に私たちはイエス・キリストを愛する者となるでしょう。

聖徒の証人:

1. **聖ヨハネ・パウロ2世(1920-2005)**「マリアは、すべての人に救い主である御子を与える母として、父から人類へと向かう道歩んでいます。同時に、マリアは、聖霊においてキリストを通して父のもとへ向かうために人々が通らなければならない道歩んでいます。」(エフェソ2:18) (36)
2. **聖ルイ・マリー・ド・モンフォール(1673-1716)**「聖母マリアへの真の信仰は神聖です。それは私たちを罪から遠ざけ、マリアの美德、すなわち深い謙遜、生き生きとした信仰、素早い従順、絶え間ない祈り、普遍的な苦行、神聖な清浄さ、熱烈な慈愛、英雄的な忍耐、天使のような優しさ、そして天の知恵に倣うように導きます。」(3)
3. **聖ヨハネ・パウロ2世(1920-2005)**「あなた方は、マリアの祝日を祝い、マリアに敬意を表して毎日祈り、特にロザリオを唱え、マリアの生き方に倣うことによって、マリアへの信仰を示します。その信仰が日々強くなりますように。」(12)

美德のハイライト: マリアは肉体と魂を天国に召されました。そこから、彼女は他の誰からも何も奪うことなく、すべての人にとって母親でありパーソナルトレーナーとされました。彼女は同時に天と地の女王であり、息子のイエスと共に統治しています。二人は常に心で一つになっています。この二人の心の一致が、聖母マリア

への奉献とすべての美德の力の源です。私たちも彼らの心と一つになりましょう。

今週の戒律: (これは正式な戒律ではなく、主からの指示です)「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」(マタイによる福音書 28:19-20)

スポンサーや親と信仰を共有する: この 18 週間に学んだことについて、友人と何か共有しましたか? どのように受け止められましたか? 肯定されましたか? それとも迫害されましたか?

課題: 次の 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒に、章と一緒に読み、毎日少なくとも 1 つの 10 回の祈りを声に出して行ってください。毎日の奉献の祈りを毎朝繰り返してください。

5つの栄光の神秘のための毎日の奉獻の祈り

汚れなき聖母マリア、神の母、教会の母、あなたはまた、私たちの永遠の助けの母でもあります。あなたへの愛に満ちた心で、私たちはあなたの汚れなき御心に身を捧げます。そうすれば、私たちはあなたの献身的な子供となることができます。私たちの罪に対する真の悲しみと、洗礼の約束に対する忠実さを私たちにもたらししてください。私たちは、私たちの心と精神をあなたに捧げます。そうすれば、私たちは常に天の父の御心を行うことができます。私たちは、私たちの人生をあなたに捧げます。そうすれば、私たちは神をより愛し、自分のためにではなく、あなたの御子であるキリストのために生き、他の人々の中に神を見出し、神に仕えることができます。この謙虚な献身の行為によって、永遠の助けの母よ、私たちは、完璧なキリスト教徒であるあなたを模範として生きることを誓います。そうすれば、生と死においてあなたに捧げられ、私たちは永遠にあなたの神聖な御子に属することができます。(33)

ノート:

20週目

天の女王マリアの戴冠

聖霊の実: マリアの執り成しを信頼する (10)

聖書: 「そして、天にある神の神殿が開かれて、その神殿の中にある契約の箱が見え、稲妻、さまざまな音、雷、地震が起こり、大粒の雹が降った。また、天に大きなしるしが現れた。一人の女が身に太陽をまとい、月を足の下にし、頭には十二の星の冠をかぶっていた。

女は身ごもっていたが、子を産む痛みと苦しみのため叫んでいた。

また、もう一つのしるしが天に現れた。見よ、火のように赤い大きな竜である。これには七つの頭と十本の角があって、その頭に七つの冠をかぶっていた。

竜の尾は、天の星の三分の一を掃き寄せて、地上に投げつけた。そして、竜は子を産もうとしている女の前に立ちはだかり、産んだら、その子を食べてしまおうとしていた。

女は男の子を産んだ。この子は、鉄の杖ですべての国民を治めることになっていた。子は神のもとへ、その玉座へ引き上げられた。」(ヨハネの黙示録 11:19-12:5)

考察: では、なぜ福音書記者聖ヨハネはマリアに関するこの箇所では契約の箱について言及しているのでしょうか。歴史上の契約の箱は、3つの非常に尊ばれた品々を収めた聖別された幕屋でした。大祭司アロンの杖、砂漠でイスラエル人に与えたマナのパンの容器、そして神からモーセに与えられた十戒の石板です。神学者たちはマリアを新しい箱と見ています。なぜなら、マリアは妊娠していたとき、永遠の命の糧であり神の永遠の言葉である救世主であり新しい大祭司であるイエスを自分の中に宿していたからです。私たちは、律法と預言者を要約した大いなる戒律が母親の心、最も完璧に聖母マリアの心に見られることを指摘してきました。これはまた、十戒が箱にあったことからマリアが新しい箱であるという象徴とも一致しています。「**それゆえ、わたしの主が御自らあなたたちにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって、男の子を産みその名を**

インマヌエルと呼ぶ。」(イザヤ書 7:14)

歴史的に、聖櫃はイスラエル人とともに旅をし、イスラエルの敵に勝利するために戦いに持ち込まれたとき以外は、常に彼らとともにありました。同じように、16 世紀のキリスト教徒が 1571 年のレパントの海戦で行ったように、私たちがキリスト教の敵に勝利するためにマリアを心と家庭に抱きかかえています。

マリアは生涯を通じて、永遠の運命、すなわち天と地の女王、永遠の新しいイブとなるための準備をしていました。あなたもまた、永遠の運命のために準備されています。神があなたのために用意している偉大なことを知っているのは神だけです。その輝かしい運命に到達する唯一の方法は、神と隣人を愛し、神の戒めに従うことを絶えず求めることです。罪のない完璧なキリスト教徒である聖母マリアがあなたを助けます。彼女に頼れば、彼女はあなたを導いてくれるでしょう。マリアに自分を捧げることで、あなたもマリアがそうであったように、神聖な目的のために特別に扱われるでしょう。積極的にマリアを愛すれば、マリアはあなたを愛し、残りのことは彼女の恵みで行います。マリアはあなたのパーソナルトレーナーおよび仲間となり、あなたが聖人になるのを助け、あなたは永遠にマリアを愛する母とみなすでしょう。

奉獻の原則: 祈りと賛美に忠実であること。マザー・テレサは慈悲の姉妹たちに、各人が聖母マリアのためにしなければならない義務のリストと、それに対応する聖母マリアが私たちのためにしてくださる義務のリストを与えました。私たちの義務の 1 つは「祈りに忠実であること」です。(8) 聖母マリアの主な義務の 1 つは、祈りと賛美の経験を私たちと共有することです。これらの義務の残りは、この本の付録に記載されています。あなたが聖母マリアに奉獻され、堅信礼で聖霊を授かったなら、あなたは祈り方、特にロザリオの祈り方を聖母マリアから学ぶでしょう。これは聖母マリアにとって非常に喜ばしいことです。すべての母親は自分の子供に自分の言語の話し方を教えますが、私たちがロザリオの祈りをするとき、私たちは聖母マリアから天国の言語の話し方を学んでいるのです。聖母マリアのロザリオの祈りに積極的に取り組みましょう。

聖徒の証人:

1. **教皇聖ヨハネ23世(1881-1963)**「無原罪懐胎は、マリアの犠牲をも伴います。したがって、私たちの生活が犠牲を知らないのであれば、私たちは自分たちを主とその母の愛する子供だと考えることはできません。」(3)
2. **ハンガリーの聖エリザベト(1207-1231)**「聖母はかつて私にこうおっしゃいました。『あなたは私が努力なしに恩寵と美德を得たと思っているでしょう。しかし、私は多大な労働、絶え間ない祈り、熱烈な願い、そして多くの涙と苦行なしには神から恩寵を得られなかったことを知ってください。』」(3)
3. **リジューの聖テレサ(1873-1897)**「私はロザリオの祈りが下手だと感じています。ロザリオの神秘について瞑想しようと集中して努力していますが、集中力が途切れてしまいます。長い間、私は自分の信心深さに落胆していました。聖母マリアをとっても愛しているので、聖母マリアをとっても喜ばせた彼女のために祈りを唱えるのは簡単なはずなのに、そのことには驚きました。しかし、今はそれほど悲しくありません。私の母でもある天の女王が私の善意を見て、喜んでくださるはずだと思っているからです。」(12)

美德のハイライト: 天と地の女王であるマリアは、神からのすべての恵みを魂に与えます。マリアはすべての美德の母であり、あなたの「はい」、つまりあなたの心の中に侍女として来るようにというあなたの招待を待っています。マリアは、人生のあらゆる段階で必要なすべてのことを教えてくれます。マリアは永遠の助けの聖母です。マリアから、マリアを愛し、神を愛する方法を学びましょう。

今週の戒律: (これは正式な戒律ではなく、主からの指示です)「**自らを清く保ち、聖なる者となりなさい。わたしはあなたたちの神、主だからである。わたしの掟を忠実に守りなさい。わたしは主であって、あなたたちを聖なる者とする。**」(レビ記 20:7-8) ここでは二つの命令が与えられています。二つ目は、堅信礼への道程で話し合ってきた戒律に従うことです。一つ目は、自分を聖別せよという呼びかけです。この文脈では、それは神聖な目的のために自分を捧げることを意味します。聖別とは、神聖にすること、またはより高次の目的に捧げることを意味します。聖別するという言葉の「secr」の部分は、ラテン語の「sacer」(神聖な)から来ています。主は最後の晩餐で、私たちが聖別されることについて語られました。

「真理によって、彼らを聖なる者としてください。あなたの御言葉は真理です。18わたしを世にお遣わしになったように、わたしも彼らを世に遣わしました。19彼らのために、わたしは自分自身をささげます。彼らも、真理によってささげられた者となるためです。

20また、彼らのためだけでなく、彼らの言葉によってわたしを信じる人々のためにも、お願いします。21父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。」(ヨハネによる福音書 17: 17-21)

聖パウロは聖テモテへの手紙の中で、奉献の意味について次のように語っています。「だから、今述べた諸悪から自分を清める人は、貴いことに用いられる器になり、聖なるもの、主人に役立つもの、あらゆる善い業のために備えられたものとなるのです。若いころの情欲から遠ざかり、清い心で主を呼び求める人々と共に、正義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。」(テモテへの手紙二 2:21-22)

マリアの手を通してイエスに献身する私たちは、付録にあるような短い奉献の祈りを使って毎日自分自身を再び奉献します。覚えておいてください！これは毎朝聖母マリアを抱きしめるものであり、私たちがマリアに基準を上げ続け、私たちを彼女の息子イエスのもとに連れて行く許可を与えていることを自分自身に思い出させるものです。私たちはまた、マリアの手を通して一日のすべてをイエスに捧げています。私たちはまた、マリアへの奉仕に再び身を捧げる方法として、通常は記念日に毎年自分自身を再び奉献します。

スポンサーや親と信仰を共有する: 質問: 家族や隣人のために慈悲の行為をするために使える、あなたにはどんな特別な天性の才能がありますか? 神にその才能に感謝し、それを他の人に提供する方法を示してくださいようお願いしてください。堅信式と聖母マリアへの奉獻をどのように祝うかを一緒に計画してください(アイデアについては付録を参照してください)。

課題: 次の 7 日間、スポンサーまたは家族と一緒にこの章と一緒に読み、毎日少なくとも 1 つの 10 回の祈りを声に出して唱えましょう。毎日のロザリオを、あなたからの積極的な犠牲的な贈り物としてマリアに捧げましょう。マリアはそれを好んでおり、あなたを祝福します。毎朝、毎日の奉獻の祈りを繰り返しましょう。

5つの栄光の神秘のための毎日の奉獻の祈り

汚れなき聖母マリア、神の母、教会の母、

あなたはまた、私たちの永遠の助けの母でもあります。あなたへの愛に満ちた心で、私たちはあなたの汚れなき御心に身を捧げます。そうすれば、私たちはあなたの献身的な子供となることができます。私たちの罪に対する真の悲しみと、洗礼の約束に対する忠実さを私たちにもたらししてください。私たちは、私たちの心と精神をあなたに捧げます。そうすれば、私たちは常に天の父の御心を行うことができます。私たちは、私たちの人生をあなたに捧げます。そうすれば、私たちは神をより愛し、自分のためにではなく、あなたの御子であるキリストのために生き、他の人々の中に神を見出し、神に仕えることができます。

永遠の助けの愛する母よ、この謙虚な奉獻行為によって、私たちは、完璧なキリスト教徒であるあなたを模範として生きることを誓います。そうすれば、生と死においてあなたに捧げられ、永遠にあなたの神聖な御子に属することができます。(33)

最後の誓約

聖母マリアよ、私、_____は、毎朝あなたを私の心の中に忠実に招き入れ、あなたの最も聖なるロザリオの一部を毎日祈ることをはあなたに誓います。

あなたの息子は私たちに新しい戒めを教えてください。「私があなた方を愛したように、あなた方も互いに愛し合いなさい。」母よ、あなたが私を愛したように、あなたを愛する方法を教えてください。あなたの助けを借りて、神と隣人を神の御心に従って愛し、神の戒めに完全に従う方法を学びたいと願っています。

生涯を通じて私のパーソナルトレーナーでいてくれてありがとう。

父と子と聖霊の御名によって祈ります。アーメン。

候補者による署名と日付: _____

スポンサーの署名: _____

彼の驚くべき愛

ペンテコステの日に使徒たちは“驚き怪しんで言った。”(使徒言行録 2:7) (救世主ホミニス、神を驚くほど新しい方法で体験するとき、私たちの反応は驚きです。聖ヨハネ・パウロ2世はこう書いています。「実際、人間の価値と尊厳に対するその深い驚きの名前は福音、つまり良い知らせです。それはキリスト教とも呼ばれます。」(救世主ホミニス、1979年)

奉献の日

20 週間の準備期間を終えたら、聖母マリアに正式に献身する日を設けてください。これは家族や後見人と一緒に行くこともできますし、堅信式のクラスと一緒にすることもできます。この儀式は長くする必要はありません。堅信式の直後、または聖母マリアにとって特別な他の日に行ってください。聖母マリアの祝日はいつでもよい候補であり、付録に記載されています。

彼女のために花を持って行き、あなたのスポンサーや家族、クラスメートと一緒に、20 週目の上記の永遠の助けの聖母奉献の祈りを唱えてください。この祈りは全員で唱えることができます。奉献の日付を本に記入し、署名してください。この本を生涯の祈禱書として保管してください。この本には、聖母マリアから経験する将来の特別な恵みをすべて記録することができます。この本はあなたの生涯の記念品となるでしょう。

候補者による署名と日付: _____

スポンサーによる署名: _____

奉献の日の後

聖徒たちは、毎日マリアに許可を与えるという決意を思い出すために、毎朝マリアに短い奉献の祈りを捧げる習慣を選びました。これは、毎日聖母マリアに抱擁を与えることに似ています。付録にあるいくつかの奉献の祈りの中から 1 つを選ぶことができます。

さらに、聖徒たちは毎年同じ記念日に、マイケル・ゲイトリー神父が提唱する「モーニング・グローリーへの33日間」(1) のような素晴らしい33日間の奉献プログラムを通して、マリアに再び奉献します。

別れ

候補者とスポンサーの皆様、堅信の旅の間、聖母マリアと聖霊に近づく時間を割いてくださりありがとうございました。モーゼ、聖パウロ、私たちの主、聖マクシミリアン・コルベによる別れの瞬間を皆さんと共有したいと思います。これらは、高校や大学を卒業するグループに通常行われる卒業式のスピーチを彷彿とさせます。毎日マリアへの奉獻生活を続けながら、これらのスピーチを楽しんで熟考してください。さようなら。天国でお会いできることを願っています。

キリストにあって、ポール・クランリー

モーゼの別れ

「見よ、わたしは今日、命と幸い、死と災いをあなたの前に置く。

わたしが今日命じるとおり、あなたの神、主を愛し、その道に従って歩み、その戒めと掟と法を守るならば、あなたは命を得、かつ増える。あなたの神、主は、あなたが入って行って得る土地で、あなたを祝福される。

もしあなたが心変わりして聞き従わず、惑わされて他の神々にひれ伏し仕えるならば、わたしは今日、あなたたちに宣言する。あなたたちは必ず滅びる。ヨルダン川を渡り、入って行って得る土地で、長く生きることはない。

わたしは今日、天と地をあなたたちに対する証人として呼び出し、生と死、祝福と呪いをあなたの前に置く。

あなたは命を選び、あなたもあなたの子孫も命を得るようにし、あなたの神、主を愛し、御声を聞き、主につき従いなさい。それが、まさしくあなたの命であり、あなたは長く生きて、主があなたの先祖アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた土地に住むことができる。」(申命記 30:15-20)

イエスの弟子たちへの別れ(聖ヨハネ)

「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい。わたしが父の掟を守り、その愛にとどまっているように、あなたがたも、わたしの掟を守るなら、わたしの愛にとどまっていることになる。

これらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたの内にあり、あなたがたの喜びが満たされるためである。わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。わたしの命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。

もはや、わたしはあなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人が何をしているか知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼ぶ。父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである。

あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである。

互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。」(ヨハネによる福音15:9-17)

祝福の言葉(マタイによる福音書 5:3-12)

「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる。柔和な人々は、幸いである、その人たちは地を受け継ぐ。義に飢え渴く人々は、幸いである、その人たちは満たされる。憐れみ深い人々は、幸いである、その人たちは憐れみを受ける。心の清い人々は、幸いである、その人たちは神を見る。平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。義のために迫害される人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。わたしのためにののしられ、迫害され、身に覚えのないことであらゆる悪口を浴びせられるとき、あなたがたは幸いである。喜びなさい。大いに喜びなさい。天には大きな報いがある。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。」

“わたしのゆえに、人々があなたたちをののしり、迫害し、あらゆる悪口をあなたたちに言うとき、あなたたちは幸いである。喜び楽しみなさい。あなたたちの報いは天において大きいからである。”あなたたちより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。

エフェソス4:1-6における聖パウロの別れの言葉

「そこで、主に結ばれて囚人となっているわたしはあなたがたに勧めます。神から招かれたのですから、その招きにふさわしく歩み、一切高ぶることなく、柔和で、寛容の心を持ちなさい。愛をもって互いに忍耐し、平和のきずなで結ばれて、

霊による一致を保つように努めなさい。

体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです。

主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つ、すべてのものの父である神は唯一であって、すべてのものの上であり、すべてのものを通して働き、すべてのものの内におられます。」

聖マクシミリアン・コルベの私たち一人一人への別れ

「マリアの名において、私は皆さん一人一人にこう言います。マリアは皆さん一人一人を愛しています。マリアは皆さんをととも愛しています。マリアはどんな時も、どんな例外もなく、皆さんを愛しています。」(1)

付録

聖マリアの祝福を受けるために聖ヨセフに祈る

聖ヨセフよ、あなたは大天使ガブリエルの命により、マリアをあなたの心と家に招き入れました。あなたはすぐに、生まれたばかりの息子イエスという、驚くほど新しい方法で神を発見しました。私はマリアを私の心と家に招き入れたいのです。あなたがしたようにマリアを愛する方法を教えてください。そうすれば、私も人生で神を新たに体験することができます。最後に、あなたがあなたの聖家族を守ったように、私と私の家族をすべての悪から守ってください。アーメン。

マリアに花を贈る

母親は誰でも、愛する人が積極的に花を贈ってくると喜びます。特に母の日、バレンタインデー、誕生日などの特別な機会には。マリアも、この心のこもった贈り物が大好きです。花がどんなに地味でシンプルなものであっても、たとえ花の咲いた雑草であってもです。マリアはこの贈り物を喜んで、喜んでいることをあなたに伝えます。花は、長持ちせずすぐに枯れてしまうという点で特に重要です。これは、彼女の子供たちに、彼女の心への献身には頻繁にリフレッシュすることが必要であること、毎日彼女に祈り、許可を与えることを思い出させるものです。

マリアの絵画と像を称える

家の中にマリアや聖家族の絵や像を置くことは、毎日天の家族を思い起こさせるものです。像の前に頻繁に花を置き、イエス、マリア、ヨセフとの関係を新鮮に保つことを思い出してください。我が家では、4人の子供たちの家族に12か月間マリア像を回覧しています。

毎年クリスマスになると、私たちは像を次の家族に贈り、前年に受けた多くの祝福を分かち合います。

グループロザリオの特別な価値

ロザリオの祈りは、ミサに次いで最も強力な祈りです。グループで祈ることで、その重要性和効果を高めることができます。伝統的に、各祈りの前半を 1 人または 1 つのグループが唱え、後半を別の人または別のグループが唱えるという形で行われます。

この訓練は、私たちが秘跡にもっと集中するのを助け、聖なるロザリオへの信仰を広めることもできます。

永遠の助けの聖母への祈り (45)

永遠の助けの母よ、あなたは神に祝福され、愛されています。あなたは救い主の母であるだけでなく、救われた者の母にもなりました。私たちは今日、あなたの愛する子供としてあなたのもとにやって来ました。私たちを見守り、世話をしてください。あなたが幼子イエスをあなたの愛の腕に抱いたように、私たちをあなたの腕に抱いてください。いつでも私たちを助ける準備ができている母親になってください。全能の神はあなたのために偉大なことを成し遂げました。そして、神の慈悲は神を愛する人々の上に代々続きます。愛する母よ、私たちの罪の赦し、イエスへの愛、最後の忍耐、そして永遠の助けの母であるあなたをいつでも呼び求める恵みを得るために、私たちのために執り成してください。(45)

伝統的な毎日の奉獻の祈り (24)

女王、母よ、私は自分自身をあなたに完全に捧げます。そしてあなたへの私の献身を示すために、私は今日、私の目、私の耳、私の口、私の心、私の全存在を惜しみなくあなたに捧げます。

わたしはあなたのものでありますから、よい母よ、あなたの所有物として、わたしを守り、守ってください。アーメン。

永遠の助けの聖母奉献の祈り (33)

汚れなき聖母マリア、神の母、教会の母、あなたはまた、永遠の助けの母でもあります。あなたへの愛に満ちた心で、私たちはあなたの汚れなき御心に身を捧げます。そうすれば、私たちはあなたの献身的な子供となることができます。私たちの罪に対する真の悲しみと、洗礼の約束に対する忠実さを私たちにもたらしてください。

私たちは心と精神をあなたに捧げます。そうすれば、私たちは常に天の父の御心を行うことができます。

私たちは人生をあなたに捧げます。そうすれば、神をより愛し、自分のためではなく、あなたの御子であるキリストのために生き、他の人々の中に神を見出し、神に仕えることができます。

永遠の助けの愛する母よ、この謙虚な奉献行為によって、私たちは、完璧なキリスト教徒であるあなたを模範として生きることを誓います。そうすれば、生と死においてあなたに捧げられ、永遠にあなたの神聖な御子に属することができます。

朝の奉納の祈り (44)

ああ、イエスよ、聖母マリアの汚れなき御心を通して、あなたの聖心のすべての意向のために、世界中のミサの聖なる犠牲と一体となって、私の罪の償いとして、私たちのすべての仲間の意向のために、そして特に教皇の意向のために、今日の私の祈り、働き、喜び、苦しみをあなたに捧げます。アーメン。

神父フェーレンバッハ奉献の祈り (3)

「マリア様、私はあなたの手身に身を委ねます。私の体と魂、私の考えと行動、私の命と死をあなたに捧げます。

何よりもイエスを愛せるよう私を助けてください。マリア様、私はあなたの手を通して、そしてあなたの模範に従って、自分自身を完全に神に捧げます。神が私に望まれることは何でも受け入れ、この決意を貫いてください。」(チャールズ・G・フェーレンバッハ神父、C.S.S.R)

聖ドン・ボスコのマリアへの祈り (37)

最も聖なる聖母マリア、キリスト教徒の助けよ、あなたの足元に近づき、あなたの永遠の助けを懇願することは、

なんと甘美なことでしょう。地上の母親が自分の子供を忘れないのなら、すべての母親の中で最も愛情深いあなたが、どうして私を忘れることができるのでしょうか？

ですから、私が必要とするとき、悲しみのとき、特に誘惑のときに、あなたの永遠の助けを私に与えてください。

今苦しんでいるすべての人々のために、あなたの絶え間ない助けをお願いします。

弱い人を助け、病人を癒し、罪人を改心させてください。

あなたの執り成しを通して、修道生活への多くの召命を与えてください。

キリスト教徒の助けよ、マリアよ、私たちのために、

地上であなたに祈った私たちが、天国であなたを愛し、永遠に感謝することができるようにしてください。

十戒

1. わたしはあなたの神、主である。
あなたはわたしの前に他の神々を置いてはならない。
2. あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない
3. 主の日を聖なる日として守ることを忘れてはならない
4. あなたの父と母を敬いなさい。
 5. 汝は殺してはならない。
 6. 姦淫してはならない。
 7. 盗んではならない。
 8. 隣人に対して偽証してはならない。

9. 隣人の妻を欲しがってはならない。
10. 隣人の財産を欲しがってはならない。

悔悛の行為(37)

ああ、神よ、
私はあなたを怒らせたことを心から後悔しています。
そして、私は自分のすべての罪を憎んでいます。
天国を失うことや地獄の苦しみを恐れているからですが、
何よりもそれらが、すべて善であり、¥私のすべての愛に値する私の神である
あなたを怒らせているからです。
あなたの恵みの助けを借りて、
私は自分の罪を告白し、悔い改め、
自分の人生を改めることを固く決意します。
アーメン。

慈善活動(6)

飢えた人に食事を与え、
渴いた人に飲み物を与え、
ホームレスに避難所を提供し、
病人を訪問し、
囚人を訪問し、
死者を埋葬する

精神的な慈悲の行為(6)

疑い深い人に助言を与える
無知な人に教える 罪人を戒める
悲しむ人を慰める
傷を許す
辛抱強く過ちに耐える
生きている人や死んでいる人のために祈る

聖母マリアの祝日を祝う(1)

聖母マリアには一年を通して多くの祝日があります。聖母マリアに献身する人々は、これらの祝日をさまざまな特別な方法で祝うことを忘れないでください。聖母マリアの最も有名な祝日のリストは次のとおりです。

1月1日 神の母

2月2日 主の奉呈

2月11日 ルルドの聖母

3月25日 受胎告知

5月13日 ファティマの聖母

5月31日 訪問

聖体拝領後の土曜日の無原罪の御心

7月16日 カルメル山の聖母

8月15日 聖母被昇天、聖母

8月22日 マリアの女王位

9月8日 聖母マリアの降誕

9月12日 聖母マリアの聖名

9月15日 悲しみの聖母

10月7日 ロザリオの聖母

11月21日 聖母マリア奉獻

12月8日 無原罪懐胎の祝日

12月12日 グアダルーペの聖母

12月25日 クリスマスの日

「あなた方はマリアへの信仰を、マリアの祝日を祝うこと、マリアに敬意を表して毎日祈ること、特にロザリオの祈りを捧げること、そしてマリアの生き方に倣うことで示します。その信仰が日々強くなりますように。」

(聖ヨハネ・パウロ2世)(12)

思い出(44)

慈悲深い聖母マリアよ、あなたの保護に逃げ、あなたの助けを懇願し、あなたの執り成しを求めた人が助けられなかったことは一度もなかったことを思い出してください。この確信に動かされて、私はあなたのもとへ飛び立ちます、おお、処女の中の処女、母よ。あなたのもとへやって来ます。あなたの前に、罪深く、悲しみながら、私は立っています。おお、受肉した御言葉の母よ、私の願いを軽蔑せず、慈悲深く、私の願いを聞いて、答えてください。アーメン。

マニフィカト(44)

私の魂は主を崇め、私の霊は私の救い主である神を喜びます。

主は、そのはしのための卑しさを顧みてくださったからです。

見よ、これからはすべての世代が私を祝福するでしょう。

力ある主が私のために大いなることをなさり、

その名は聖なるものです。

そして、主を畏れる者には、代々にわたって慈悲があります。

主は腕をもって力を発揮し、心の高慢さを散らされました。

主は権力者をその座から引き降ろし、卑しい者を高められました。

主は飢えた者を良い物で満たし、
富める者を空腹のまま去らせました。

主は、その慈悲を心に留め、ご自分の僕イスラエルに助けを与えられました。
それは、私たちの父アブラハムとその子孫に永遠に語られたとおりです。

アンジェラス(1)

主の天使はマリアに告げた。
そして彼女は聖霊を身ごもった。

アヴェ・マリア。

主のはしためを見よ。

あなたの言葉どおりに私に成りますように。

アヴェ・マリア。

そして言葉は肉となり、

私たちの間に住まわれた。

アヴェ・マリア。

神の聖母よ、私たちのためにお祈りください。

私たちがキリストの約束にふさわしい者とされますように。

祈りましょう。

主よ、あなたの恵みを私たちの心に注いでください。

あなたの御子キリストの受肉が天使のメッセージによって知らされた私たちが、その受難と十字架によって、私たちの主である同じキリストを通して、復活の栄光に導かれますように。アーメン。(聖ポナヴェントウラ)

「アンジェラスの祈りは、ロザリオのように、すべてのキリスト教徒にとって、そしてさらにキリスト教徒の家族にとって、一日の途中で勇気と自信を見つけるための精神的なオアシスであるべきです。」(ヨハネ2世)(12)

主の召使いを見よ。

あなたの言葉どおりに私になさってください。

アヴェ・マリア。

そして言葉は肉となり、

私たちの間に住まわれた。アヴェ・マリア。

神の聖母よ、私たちのためにお祈りください。

私たちがキリストの約束にふさわしい者とされますように。

祈りましょう。

主よ、あなたの恵みを私たちの心に注いでください。天使のメッセージによってあなたの子キリストの受肉を知らされた私たちが、同じ私たちの主キリストを通して、キリストの受難と十字架によって復活の栄光に導かれますように。アーメン。

(聖ボナヴェントウラ)

「アンジェラスの祈りは、ロザリオのように、すべてのキリスト教徒にとって、そして特にキリスト教徒の家族にとって、一日の中で勇気と自信を見つけるための精神的なオアシスであるべきです。」(ヨハネ・パウロ2世)(12)

守護天使の祈り (37)

神の天使、私の愛する守護者よ、
神の愛によって私をここに
託されたあなたよ、
今日(夜)も私のそばにいて、
光と守り、支配と導きを与えてください。
アーメン。

大天使ミカエルの祈り(37)

大天使聖ミカエルよ、戦いで我々を守り、
悪魔の邪悪と罠から我々を守ってください。
神が悪魔を叱責してくださいますように。
私たちは謙虚に祈ります。そして、天の軍勢の君主よ、
神の力によって、魂の破滅を求めて世界を徘徊するサタンと
すべての悪霊を地獄に投げ込んでください。
アーメン。

「BARを上げる」良心の検査

1. まず、B は祝福(Blessing)を意味します。
マリアと聖霊とともにその日を振り返り、
すべての祝福とすべての十字架に対して神に感謝します。
2. 次に、A は尋ねること(Ask)を意味します。
マリアに助けを求めて過ちを特定し、イエスに許しを求めます。
3. 最後に、R (Resolve)は決意を意味します。
明日はもっとうまくやろうと決意し、良い悔悛の祈りを捧げます。毎月、聖餐式の告解に行ってください。

毎日 5 分間、この検査をうまく、そして忠実に出来るようマリアに助けを
求めてください。この習慣により、私たちは謙虚になり、清められ、神の慈
悲に完全に浸ることができます。

聖霊の十二の果実(39)

1. 慈愛。聖霊は愛であり、すべての人やすべてのものよりも神を優先するという慈愛という神学的美徳を私たちに与えてくれます。私たちは神とのこの愛の結合を望みます。そしてそれは、神のために私たち自身と隣人に対する愛にあふれています。
2. 喜び。神のために生き、いつの日か今も永遠に天国で神と共にいることを知るとき、幸福が実現します。
3. 平和。聖霊は私たちの魂に秩序と清い良心を与えてくれます。また、家族、友人関係、そして人生の義務にも秩序を与えてくれます。
4. 忍耐。人が神に近づくと、他のすべてが整い、忍耐と平穏が得られます。愛は忍耐強いものです。
5. 慈悲深さ。これは他人に対する優しさの美徳です。
6. 善良さ。私たちは悪を捨て、善を求めます。私たちは罪を悔い改め、神の意志を行うよう努めます。
7. 長きにわたる忍耐力。神が私たちに与えてくださった使命を忍耐強く遂行し、長期間にわたって忠実であり続ける能力。
8. 温和さ。これは、荒々しく怒るという自然な傾向を克服するのに役立つ道徳的美徳である節制を与えてくれます。
9. 信仰。これは、洗礼で私たちに与えられた神学的美徳です。これは、神の啓示された真理に昇ることができる神の恵みを与えてくれます。私たちは神を絶対的な権威とみなします。
10. 慎み深さ。これには、私たちの行動や服装が含まれます。これらは、私たちの内面の慎み深さの外的な兆候です。これは、性的な事柄において、心と精神の純粋さを優先することを与えてくれます。
11. 節制。これは、結婚生活において、片方の配偶者が病気のために性交ができない場合など、性欲やその他の欲求を神聖な方法で制御する美徳です。
12. 貞潔。これは司祭、修道者、または奉献生活を送る一般信徒として、神に完全に身を捧げることです。すべての召命は、生活において貞潔を保つよう求められています。これには、結婚した人が配偶者に忠実であることも含まれます。また、結婚を待つすべての人に、性的に純潔である恵みを与えます。

聖霊の七つの賜物 (39)

- 1) 知恵。これによって私たちは神を知ることができ、この世のものより神聖なものを尊重することができるようになります。
- 2) 理解。カトリックの信仰、聖書、聖人を理解するのに役立ちます。
- 3) 助言。これは、自分自身と他の人を神の意志を行うように導くために必要な知識です。他の人が霊的および物質的な問題を乗り越えるのを助けるのに役立ちます。
- 4) 不屈の精神。これは、耐え忍び、勇気を持つために必要な力です。善のために迫害や逆境に耐えるのに役立ちます。
- 5) 知識。これは、私たちが神、自分自身、そして他の人々を神が知っているように知るのに役立ちます。
- 6) 信心深さ。この賜物は、神に仕え、聖なる祈りの生活を通してすべての出来事において神を見る愛を私たちに吹き込みます。
- 7) 主を畏れること。「主を畏れることは知恵の始まりである。」私たちは、私たちの罪に対する主の永遠の罰を恐れますが、主を不快にさせたり怒らせたりすることをさらに恐れます。

ロザリオの祈りをする人々への15の約束 (38)

1. ロザリオの祈りによって私に忠実に仕える者は誰でも、特別な恵みを受け
るでしょう。
2. ロザリオを唱えるすべての人に、私は特別な保護と最大の恵みを約束します
。

3. ロザリオは地獄に対する強力な鎧となり、悪徳を滅ぼし、罪を減らし、異端を打ち負かすでしょう。

4. それは善行を繁栄させ、魂に神の豊かな慈悲をもたらし、人々の心を世俗への愛とその虚栄から引き離し、永遠のものへの欲求へと高めるでしょう。ああ、魂がこの手段によって自らを聖化すれば良いのに。

5. ロザリオの祈りによって私に自らを推薦する魂は滅びません。

6. 信心深くロザリオを唱え、その神聖な神秘の考察に専念する者は、決して不幸に打ち負かされることはない。神は正義において彼を罰することはなく、彼は理由もなく死に滅ぼされることはない。彼が正義であれば、彼は神の恩寵の中に留まり、永遠の命にふさわしい者となる。

7. ロザリオに真の信仰を持つ人は、教会の秘跡を受けずに死ぬことはありません。

8. ロザリオの祈りを忠実に続ける人々は、生きている間も死ぬときも神の光と神の恵みの豊かさを享受し、死の瞬間には天国の聖人の功德にあずかるでしょう。

9. 私はロザリオに献身してきた人々を煉獄から救い出します。

10. ロザリオの忠実な子供たちは天国で高い栄光に値するでしょう。

11. ロザリオの祈りを唱えれば、あなたが私に求めるものはすべて得られるでしょう。

12. 聖なるロザリオを広めるすべての人々は、必要に応じて私から援助を受けます。

13. 私は私の神聖な息子から、ロザリオの擁護者全員が、生きている間も死ぬときも、天の宮廷全体を執り成しの者として持つことを得ました。

14. ロザリオを唱える者は皆、私の息子であり、私の唯一の息子であるイエスキリストの兄弟です。

15. ロザリオへの信仰は運命の大きなしるしである。

聖マザー・テレサの義務リスト(8)

| マリアの義務 | 私の任務 |
|--|---|
| 1.彼女の精神と心を捧げるため。 | 1.私が持っているもの、私が存在しているものすべてを、完全に贈り物として与えてくれること。 |
| 2.私を所有し、守り、そして変えるため。 | 2.彼女に全面的に依存していること。 |
| 3.私にインスピレーションを与え、導き、そして啓発するため。 | 3.彼女の精神に対する応答性。 |
| 4.祈りと賛美の経験を分かち合うため。 | 4.祈りに対する忠実さ。 |
| 5.私の聖化に対する責任。 | 5.祈りに対する忠実さ。 |
| 6.私に降りかかるすべてのことに対する責任。 | 6.彼女の精神を真似すること。 |
| 7.私の精神的および物質的なニーズを満たすため。 | 7.彼女にいつも頼ること。 |
| 8.私と私の行為を浄化するため。 | 8.意図の純粹さ、自己否定。 |
| 9.私、私の祈り、執り成し、恩寵を処分する権利。 | 9.王国のために彼女と彼女のエネルギーを利用する権利。 |
| 10.私の中で、そして私の周りで、彼女はすべてのことを好きなように、完全な自由を持つること。 | 10.彼女の心に入り、彼女の内なる生活を共有する権利。王国。 |

ロザリオの20の神秘

| 神秘 | 喜ばしい | 輝かしい | 悲しい | 栄光的 |
|----|---------------------|--------------|-------------|---------------------|
| 第1 | 受胎告知 | イエスの洗礼 | 庭の苦惱 | 復活 |
| 第2 | 訪問 | カナの 結婚披露宴 | 柱での 鞭打ち | 天国への昇 天 |
| 第3 | イエスの 誕生 | 王国の宣言 | とげの冠 | 聖霊の降臨 |
| 第4 | 神殿でのプレ ゼンテーション | 変容 | 十字架を 背負う | 聖母マリアの 被昇天 |
| 第5 | 神殿で イエスを見 つける | 聖餐の制定 | 磔刑 | 天国の女王マ リアの 戴冠 |

世界の奉獻？

聖マクシミリアン・コルベは、世界を汚れなき御心に奉獻し、できるだけ早くそれ
を実行しなければならないと教えました。では、それはどのくらい早く実行できる
でしょうか。わずか 33 年で達成できるのです。

もし今年、堅信候補者 1 人と後見人 1 人が聖心の聖化を行い、両者とも毎年も
う 1 人をこのプロセスに導くことを約束すると仮定すると、33 年で 85 億人の魂が
聖化されることとなります。つまり、全員です！

ですから、イエス様がこの地上を歩いたのと同じ年数で、私たちは完成するでしょ
う。今日から始めましょう。皆さん一人一人が、毎年このプロセスを通して魂を一
つずつ導いてください。私たち全員がそれを行えば、この素晴らしい目標を達成で
きるでしょう。マリア様も、そして彼女の息子イエス様も、それを喜ぶでしょう。

(この答えは、計算機に数字の 2 を入力し、その数字を 33 回倍にすることで自
分で計算できます。)

主イエスよ、来てください！

洗礼の約束の更新

あなたはサタンとそのすべての行為、そしてすべての空約束を拒否しますか？

候補者: はい。

あなたは天地の創造主である全能の父なる神を信じますか？

候補者: 信じます。

あなたは、聖母マリアから生まれ、十字架にかけられ、亡くなり、埋葬され、死から蘇り、今は父の右に座っている、神の唯一の息子であり私たちの主であるイエス・キリストを信じますか？

候補者: 信じます。

あなたは、ペンテコステの日に使徒たちに降り、今日、堅信礼としてあなたに与えられた、命を与える主である聖霊を信じますか？

候補者: 信じます。

あなたは聖なるカトリック教会、聖徒の交わり、罪の赦し、肉体の復活、永遠の命を信じますか？

候補者: 信じます。

これが私たちの信仰です。これが教会の信仰です。私たちは主キリスト・イエスにおいてこれを公言することを誇りに思います。アーメン。

参考文献

1. マイケル・イー・ゲイトリー神父、MIC、『33 Days to Morning Glory』(マリアン・プレス、マサチューセッツ州ストックブリッジ)2011年。
2. USCCB ウェブサイトから引用した聖書の一節。
3. チャールズ・ジー・フェーレンバッハ神父、CSSR、『マリア、日々』(カトリック・ブック・パブリッシング・コーポレーション、ニュージャージー州)1987年。
4. 教皇ピウス12世、マニラ大司教への手紙「フィリッピナス・インスラス」:AAS 38(1946年)。419ページ
5. ヨハネ・パウロ2世からの希望とインスピレーションの言葉(E・P・ダットン編、1995年)。
6. USCCBウェブサイトwww.usccb.org、「カトリック教会のカテキズム」、2021年。
7. ヨハネ・パウロ2世、『神の母、女性、母、弟子』、2000年。
8. ジョセフ・ラングフォード牧師、MC、「聖母の影の中で」、2007年、78ページ。
9. 聖ヨハネ・パウロ2世、「レデンプトリス・マーテル」、1987年3月。
10. 無原罪懐胎のマリア神父会『毎日ロザリオの祈りを』マリアン・プレス、2015年。
11. [www.https://www.goodreads.com/quotes](https://www.goodreads.com/quotes).
12. ドン・エイチ・キャロウェイ神父、MIC、「ロザリオの宝石、聖ロザリオに関する日々の知恵」(マリアン・プレス)2015年。
13. 聖トマス・アキナス、「十戒の説明」、www.ewtn.com/library。
14. 聖アルフォンソ・リグオリ『マリアの栄光』、リグオリ出版、2000年、401ページ。

15. セントルイス・マリー・ド・モンフォール著『聖母マリアへの真の信仰』(TAN Books、イリノイ州)1985年。
16. 第2バチカン公会議文書「教会憲章」、1964年。
17. アンリ・J・エム・ナウエン『ミニストリーとスピリチュアリティ』1996年。
18. 聖トマス・アキナス『もてなしの法』、1225年生まれ-1274年没。
19. 聖ヨハネ・パウロ2世、説教、1982年4月30日。
20. 聖マクシミリアン・コルベ著『Aim Higher』(メアリータウン出版)、2007年、134ページ。
21. フルトン・J・シーン枢機卿、『世界初の恋』、2010年。
22. 聖ヨハネ・パウロ2世、『ロザリオと処女のマリア』、2002年。
23. A.B.カルキンス神父、「二つの心の同盟と奉獻」、マイルズ・インマキュラータ、1995年12月、389ページ。
24. ラコルタ、#340。1957
25. 聖ルイ・マリー・ド・モンフォール著『ロザリオの秘密』、タン・ブックス、1993年。
26. スコット・ハーン『エデンの園へ戻る、神と人類の契約の発掘』2015年
27. [www.https://www.catholiccyyc.ca/blog](http://www.catholiccyyc.ca/blog).
28. ブラント・ペトリー『イエスと聖餐のユダヤ的ルーツ』DVD、2016年。
29. 聖トマス・アキナスの説教「十字架はあらゆる美德を例証する」、b1225-d1274。
30. [www.https://aleteia.org/2016/02/26](http://aleteia.org/2016/02/26).
31. 聖ヨハネ・ボスコ、処方箋#6、www.americaneedsfatima.org、2021
32. オメル・ヴェステンドルフ訳、Ubi Caritas、1961年。
33. 永遠の助けの聖母の奉獻、
http://www.olphcc.org/OLPH_Novena.pdf

34. 聖ヨハネ・パウロ2世、使徒書簡、1988年。
35. ブラッド・クーパー『聖ロザリオの巡礼』2017年。
36. 聖ヨハネ・パウロ2世、一般謁見演説、2000年1月12日。
37. [www.https://www.ewtn.com/catholicism/devotions](https://www.ewtn.com/catholicism/devotions).
38. 聖ドミニコと福者アラン・デ・ラ・ロッシュwww.americaneedsfatima.org.2021.
39. [www.http://www.traditionalcatholicpriest.com](http://www.traditionalcatholicpriest.com), 2021.
40. [www.https://stmarymiddletown.com/ministries-1](https://stmarymiddletown.com/ministries-1).
41. リチャード・ルーニー神父、エス・ジェー、「ロザリオを唱えるのではなく、祈りましょう」(Liguori 出版、MO)2007年。
42. 聖ファウスティナ、『聖マリア・ファウスティナ・コヴァルスカの日記』742ページ。マリアン・プレス、2006年。
43. アーサー・ビー・カルキンス『Totus Tuus』2017年。
44. チャレンジ、ロヨラ大学出版局、シカゴ、1958年。
45. [www.https://www.catholic.org/prayers](https://www.catholic.org/prayers).
46. エドワード・スリ『男性、女性、そして愛の神秘』フランシスコ会メディア、シンシナティ、2015年。
47. スティーブン・アール・コヴィー著『7つの習慣』、サイモン・アンド・シュスター、ニューヨーク、1989年。

謝辞

私の編集者であるジョセフ・ホー神父、C.S.S.R.、マリウス・ウィルコウスキー神父、レオ・ヴレチック大司教、ブライアン・克蘭リー、リン・ラムゼイ、グレッグ・ブラウン、ジョー・テルコ、サンドラ・ウィシinger、そして私を励ましてくれたアート・ヴァンダビア、ダン・ナジバー、ジョン・ホワイト、マイク・ラティーノ、ジョージ・ヘイル、スティーブ・ソリス、トニ・ストッツ、ジム・シーベンター、アル・バリンスキー、ジーン・オシナ、バーブ・クラウス、テレサ・モラレス、パット・ヒメネス、ブルネラ・ウーレンドルフ、デイヴィッド・ダムール、マティアス・シブニエフスキー、アポロニア・アナコル、アン・ベッティンガー、デリア・クレシーニ、トミーとジーナ・アラカル、アン・ラヴァンジュ、ディックとジェイ・グリスウォールドに心から感謝します。表紙デザインを担当してくれたマリー・フラニガンとオーディオブックの録音を担当してくれたマット・克蘭リーに特に感謝いたします。私の人生で多くのことを教えてくれたすべてのお母さんたち、特に父が毎日祈っていた最初のロザリオをくれた母ヘレン・テレサ・克蘭リー、そして宣教のために何百ものロザリオを作り、作り方を教えてくれた義母マーガレット・メアリー・サムに感謝します。私はこの本を、素晴らしい母であり祖母でもある妻のナンシーと、私たちの子供たちであるクリスティン、ブライアン、マリー、マシュー、そして6人の美しい孫たちに捧げます。

*私はまた、この祈りをポーランドの偉大な聖人3人に捧げます。
聖マクシミリアン・コルベ、聖マリア・ファウスティナ、聖ヨハネ・パウロ2世。*

イエスとマリアの心をつなげて、勝利と統治を！

著者について

ポール・イー・克蘭リー

ポールは、1971年にザビエル大学で化学の学士号を取得したのち、1974年にケンタッキー大学で化学とビジネスの修士号を取得。40年以上にわたり、ボーイスカウト、初聖体拝領、堅信礼、高校 CCD、RCIA、ヤングアダルト ミニストリー、ライフ イン ザ スピリット、キリスト更新教区、ACTS、カイロス刑務所ミニストリーなどの成人リトリート ミニストリーを含む教区宗教教育のさまざまな側面でボランティア教師を務める。ポールは、この間 7 回堅信式のスポンサーを務める。過去 30 年間、毎年個人的に聖母マリアに献身し、33 日間の献身プログラムを通じて 300 人以上を指導。ポールとナンシーは結婚して 48 年になり、4 人の子供と 6 人の孫がいる。

ノート

ノート

ノート

ロザリオの祈り

使徒信条

私は、天地の創造主である全能の父なる神と、神の唯一の子であり私たちの主であるイエス・キリストを信じます。
イエスは聖霊によって宿り、処女マリアから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架にかけられ、

死んで葬られ、陰府に下り、三日目に死からよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座し、そこから生者と死者を裁くために来られます。
私は聖霊、聖なるカトリック教会、聖徒の交わり、罪の赦し、肉体の復活、永遠の命を信じます。
。アーメン。

私達の父

天におられるわれらの父よ、御名が崇められ、
御国が来ますように。御心が天で行われるとおりに、
地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日も与え、
わたしたちの罪を赦してください。

わたしたちもわたしたちに罪を犯す者を赦しますように。
わたしたちを誘惑に陥れず、悪からお救いください。アーメン。

アヴェ・マリア

アヴェ・マリア、恵みに満ちた方、
主はあなたと共におられます。あなたは女の中で祝福され、
あなたの胎内の子イエスは祝福されています。
神の母聖マリアよ、罪人である私たちのために、今も死の時に
お祈り下さい。アーメン。

栄光あれ

栄光あれは父と子と聖霊に。

初めにあったように、

今も、そして永遠に、世々限りなく。アーメン。

ファティマの祈り

ああ、私のイエスよ、私たちの罪を赦し、

地獄の業火から私たちを救い、

すべての魂を天国に導いてください。

特にあなたの慈悲を最も必要としている魂を。

アヴェ、アヴェ、アヴェ・マリア。

アヴェ、アヴェ、アヴェ・マリア。

結びの祈り

万歳、聖なる女王、慈悲の母、私たちの命、

私たちの優しさ、そして私たちの希望、

私たちはあなたに叫びます、

エバの哀れな追放された子供たちよ。

私たちはあなたにため息をつき、

この涙の谷で嘆き、泣きます。

それでは、最も慈悲深い弁護者よ、

あなたの慈悲の目を私たちに向けてください。

そしてこの追放の後、あなたの胎内の祝福された実、

イエスを私たちに示してください。

ファティマの祈り

ああ、イエス様、私たちの罪をお許してください。私たちを地獄の業火からお救いください。

そしてすべての魂を天国へお導きください。特にあなたの慈悲を最も必要としている魂を。
アヴェ、アヴェ、アヴェ・マリア。アヴェ、アヴェ、アヴェ・マリア。

結びの祈り

聖なる女王、慈悲の母、私たちの命、私たちの優しさ、そして私たちの希望よ、私たちはあなたに叫びます、エバの追放された哀れな子供たちよ。私たちはあなたにため息をつき、この涙の谷で嘆き、泣きます。最も慈悲深い弁護者よ、あなたの慈悲の目を私たちに向けてください。そしてこの追放の後、あなたの子宮の祝福された果実、

イエスを私たちに示してください。

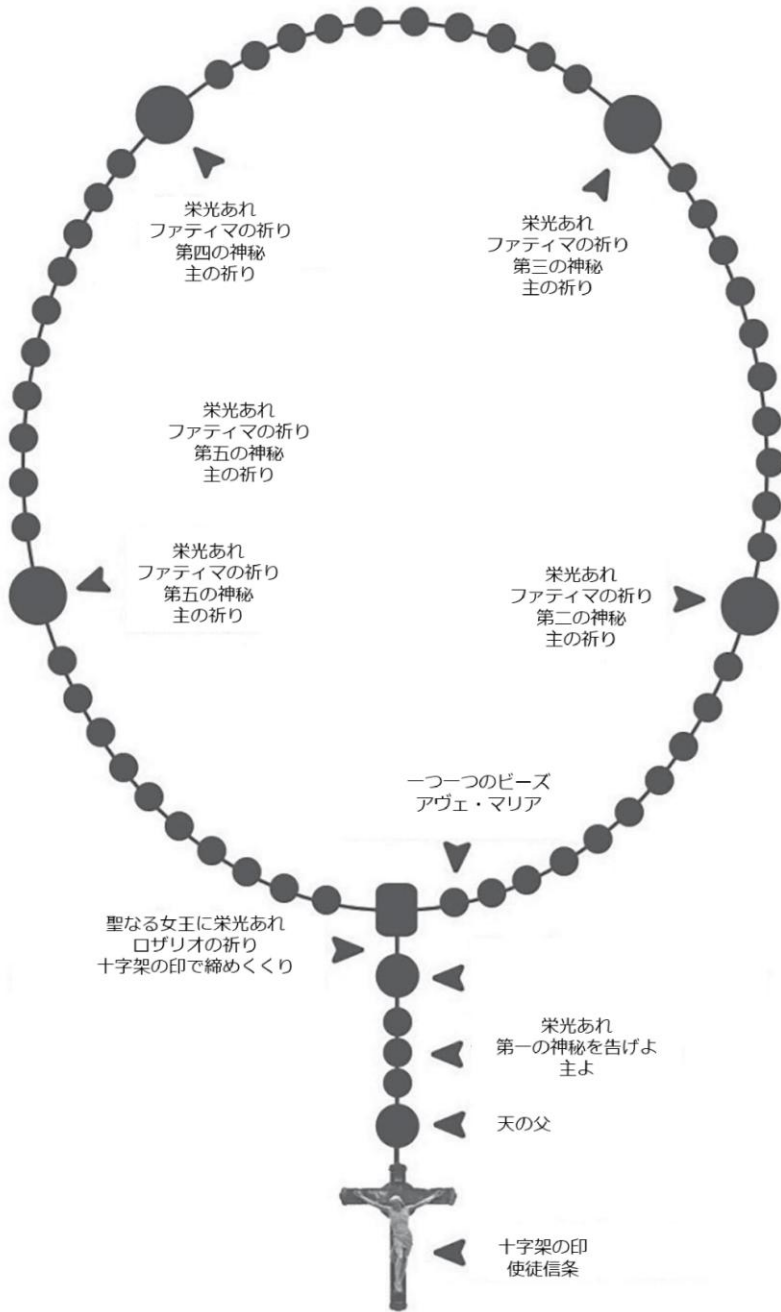
ああ慈悲深く、ああ愛深く、ああ優しい聖母マリア！

ああ、最も聖なる神の母よ、私たちのためにお祈りください。

私たちがキリストの約束にふさわしい者とされますように。

ああ、神よ、その独り子は、その生と死と復活によって、永遠の命という報酬を私たちのために買い取ってくださいました。聖母マリアの最も聖なるロザリオのこれらの秘跡を黙想しながら、私たちがその秘跡に書かれていることを真似し、同じ私たちの主キリストを通してその秘跡に約束されているものを得ることができますように、私たちはあなたに懇願します。アーメン。

父と子と聖霊の御名によって。アーメン。



参照 (40)

